

FMV

DESKPOWER

H70RW/C

さあ、はじめましょう)))

パソコンの準備



1 各部名称

2 使い始める前に

3 接続する

4 パソコンを準備する

5 Media Center
を使うための準備をする

6 周辺機器の
設置/設定/増設

7 仕様一覧

知りたいことを調べるには

さあ、
はじめましょう

パソコンの準備

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ。



パソコンの準備
の後は

FMV活用ガイド

基本や活用、セキュリティからトラブル解決までこれ一冊。



テレビチューナー
内蔵の機種なら

FMVで見る・録る・残すガイド

テレビや音楽を、見たり聴いたり録ったりして楽しむには、これ! [注1]

注1: テレビチューナー内蔵機種のみ添付
(ただし、Microsoft®Windows®XP Media Center Edition2005搭載機種には非添付)



サポートに
ついては...

サポート&サービスのご案内

どうしても問い合わせないとわからない…。
そんなときはこれ!



ちょっと確認!

基本操作クイックシート

手元にあると便利、文字入力の早見表! [注2]
(二つ折りになっています)

注2: FMV-BIBLO LOOKシリーズには添付されておりません



マニュアルは「本」だけではありません!



パソコン画面にも
マニュアルがあります

起動方法

「スタート」ボタン

すべてのプログラム

富士通サービスアシスタント
(マニュアル&サポート)

パソコンが初めての方でも安心!
パソコン入門

パソコンの基本操作や
文字入力を楽しく学習
したいならこれ!



FMVの使い方を知るには
画面で見るマニュアル

ソフトウェア、ハードウ
ェア、インターネットな
どの説明からトラブル
シューティングまで、
幅広い情報を集結!



※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。



テクニカルコミュニケーター協会が定める
「画面で見るマニュアル標準マーク」です。

※この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず機種名や添付品の確認をします

第2章 使い始める前に (●▶P.25)



必要な機器を接続します

第3章 接続する (●▶P.37)



電源を入れてパソコンを使う準備をします

第4章 パソコンを準備する

2 初めて電源を入れる (●▶P.56)

第5章 Media Center を使うための準備をする

1 Media Center の準備 (●▶P.112)

目的に合わせてお読みください

■メモリを増やしたい (●▶P.172)

■仕様を確認したい (●▶P.188)

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクやCD/DVDなどの媒体にバックアップをお取りください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアが別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 1. 本ソフトウェアの使用および著作権**
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- 2. バックアップ**
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み**
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 4. 複製**
 - (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないで行ってください。
- 5. 第三者への譲渡**
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
- 6. 改造等**
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 7. 壁紙の使用条件**
お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
- 8. 保証の範囲**
 - (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
 - (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
 - (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
- 9. ハイセイフティ**
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（<http://www.microsoft.com/japan/>）。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの「Readme.txt」を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM/DVD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品一覧>

CRT、LCD、ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、
光磁気ディスクドライブ、スマートカードリーダー/ライター、キーボード、マウス、ACアダプタ、
電源ユニット、ファン

消耗品について

- バッテリーパックや乾電池等の消耗品は、その性能/機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

24 時間以上の連続使用について

- 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品の使用環境は、温度 10 ～ 35 ℃/湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃/湿度 20 ～ 90%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



本製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

現在一部のプログレッシブ対応テレビは、本製品と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合には、本製品の出力をインターレースに切り換えてください。また、プログレッシブ対応テレビと本製品との互換性についてご質問のある場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお問い合わせください。

ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVDドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

- ・ キーボードのキートップ（ワンタッチボタンを除く）には、抗菌樹脂を使用しております。
 - ・ 抗菌樹脂は、通常の樹脂に比べ、付着した各種雑菌の繁殖を低減するものですが、完全に抑止するものではありません。
 - ・ 抗菌樹脂には殺菌作用はありません。
 - ・ 試験機関：(財)化学技術戦略推進機構 高分子試験・評価センター
 - ・ 試験方法：JIS Z 2801
 - ・ 抗菌の方法：抗菌剤の部品材料への練り込み
- 注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分（キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く）

2.4DS1

上記表示のある無線機器は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。この機器の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- ・ この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
- ・ 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
- ・ 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお申しつけください。

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

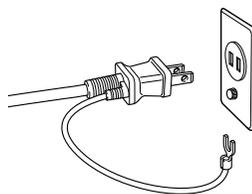
表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

電源プラグとコンセント形状の表記について

このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行2極接地用口出線付プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。

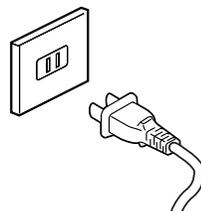
接続先のコンセントには「平行2極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。

※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアースネジのことです。



20.1 型ワイド液晶ディスプレイに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行2極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行2極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。通常は、ご家庭のコンセントをご利用になります。本書では「コンセント」と表記しています。



本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 <ul style="list-style-type: none">・キーボードの「サポート」ボタンを押す・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル&サポート）」の順にクリック
	CD-ROM / DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 Update Rollup 2	Windows XP Media Center Edition または Media Center Windows
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ
高画質化機能搭載MPEG2リアルタイムエンコーダ付TVチューナーカード	高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード
抗菌キーボード〔注〕 注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分 (キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く)	キーボードまたはワイヤレスキーボード
ワイヤレスマウス (光学式)	マウスまたはワイヤレスマウス
Microsoft® Windows Media® Player	Windows Media Player
富士通サービスアシスタント V3.4	サービスアシスタント
Norton AntiVirus™ 2006	Norton AntiVirus
外部デジタルチューナー、BS/CS/CATVチューナー、ケーブルテレビ会社用のホームターミナル	セットトップボックス
xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™	xD-ピクチャーカード

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Pentium およびインテル® ViiV™ テクノロジーは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標または商標です。

SD カードおよび SD ロゴは、SD ASSOCIATION の商標です。

「メモリースティック」、「マジックゲート」は、ソニー株式会社の商標です。

xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™ は、富士写真フイルム株式会社の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

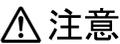
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2006

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。

また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

異常や故障のとき

警告



パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

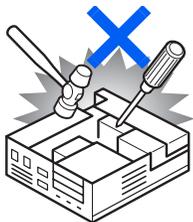
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

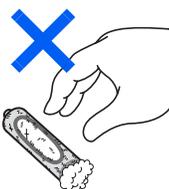
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。



長時間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。

万一乾電池が液漏れ

し、漏れ出した液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。

皮膚に障害を起こす原因となります。

⚠ 注意



液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、

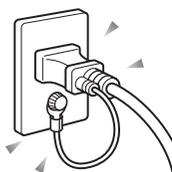
目に入った場合は、流水で15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

中毒を起こすおそれがあります。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

設置されるとき

⚠ 警告



電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

電源コードを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



アース線はガス管には絶対に接続しないでください。

火災の原因となります。

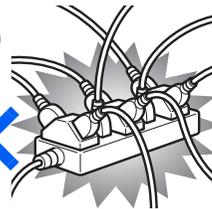


本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



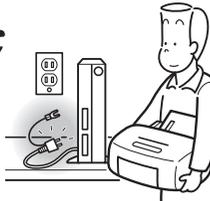
電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしてください。

感電・火災の原因となります。



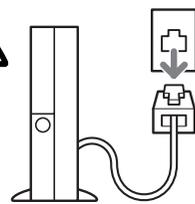
添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。



メモリの取り付けや取り外しを行うときなど、本体カバーをあける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、しばらく経ってから本体カバーを開けてください。また、電話回線からモジュラーケーブルが接続されている場合、モジュラーケーブルも取り外してください。

電話回線から着信があった場合、または落雷が起きた場合に感電の原因となります。



周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。



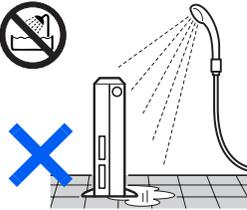
取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



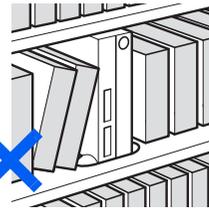
梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。



振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

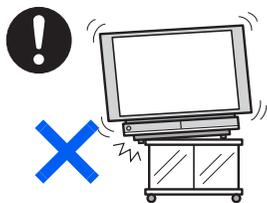


転倒防止の処置をしてください。

地震が発生した場合などに、パソコンが倒れてけがや故障の原因となります。

ラックや床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。

特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



パソコン台やテレビ台を使う場合は、パソコンが台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。

パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 注意



指定外の機器をパソコン本体に接続して電源を取らないでください。

火災・故障の原因となることがあります。



周辺機器などの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがをすることがあります。また、故障の原因となることがあります。



本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。



本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

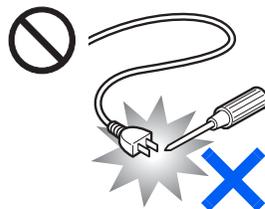


本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

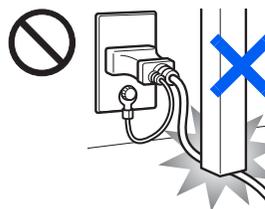
ご使用になるとき

⚠ 警告



ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

火災・感電の原因となります。

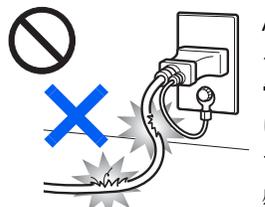


電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ね

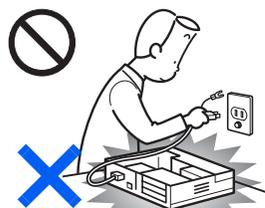
じったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。

修理は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

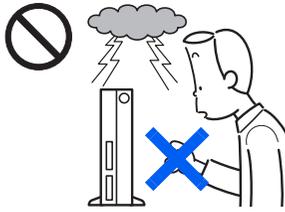


ACアダプタの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



本体カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。感電・火災の原因となります。

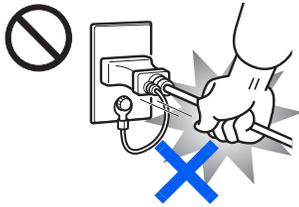


雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続

作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

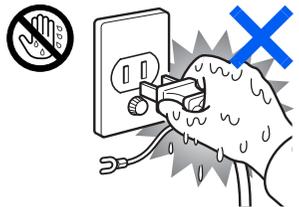
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電・火災の原因となります。

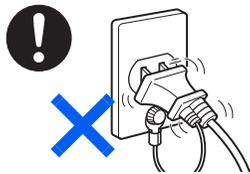


電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



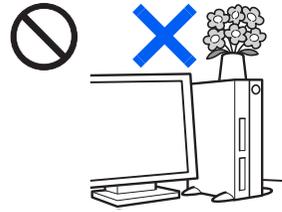
ACアダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。

火災・故障の原因となることがあります。



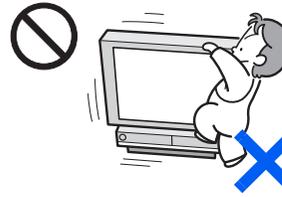
開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



本製品の上や周りに、花瓶・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

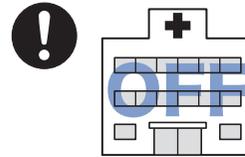
水などの液体が本製品の内部に入ると、感電・火災の原因となります。



パソコンやパソコン台、テレビ台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。

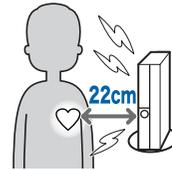
パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



ワイヤレス LAN（無線 LAN）の注意

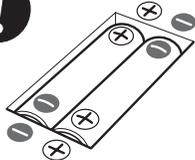
次の場所では、パソコン本体の電源を切るか、無線通信機能をオフにしてください。



無線通信機能からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・ 病院内や医療用電子機器のある場所。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
 - ・ 航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
 - ・ 自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
 - ・ 満員電車の中など付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所
- 心臓ペースメーカーの装着部位からは 22cm 以上離してください。

電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。



乾電池を機器に入れる場合は、+ (プラス) と - (マイナス) の向きに注意し、表示どおりに入れてください。

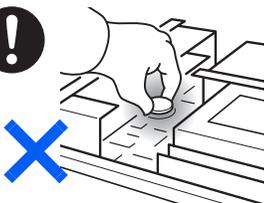
間違えると電池の破裂・

液漏れ・発火の原因となります。



指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

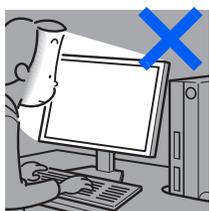


本パソコンの内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、

人体に影響を及ぼすおそれがあります。

リチウム電池はご自身で交換せずに、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご相談ください。



本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の

体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



パソコン本体やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。

低温やけどの原因となります。

⚠ 注意



電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。



本製品の上に重いものを置かないでください。

故障・けがの原因となります。



パソコン台やテレビ台の扉は、開けたままにしないでください。

扉に指をはさんだり、ひっかけたりして、

けがの原因となります。

特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



CD/DVD、PC カードなどのトレイやスロット、モデムやLANのコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。

けが・感電の原因となることがあります。



パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。

けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



「PCカード」、「SDカード」、「メモリスティック」、「xD-ピクチャーカード」の使用終了直後は、「PCカード」、「SD

カード」、「メモリスティック」、「xD-ピクチャーカード」が高温になっていることがあります。「PCカード」、「SDカード」、「メモリスティック」、「xD-ピクチャーカード」を取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。

火傷の原因となることがあります。

(使用できるメディアは、機種により異なります)



使用中のパソコン本体やACアダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はパソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけ、通気孔などの開口部をふさがないようにください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



ヘッドホンやイヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



乾電池には以下のことをしないでください。

破裂・液漏れ・火災・けが・周囲を汚す原因となります。

- ・ショートさせる
- ・加熱したり、火の中に入れる
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れる
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与える
- ・充電する
- ・ハンダ付けをする



本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止を取るようになしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上になるように使用する。



本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。乾電池を取り外せる場合は、乾電池も取り外してください。

火災の原因となることがあります。

お手入れについて

警告



ACアダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取

てください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。

レーザーの安全性について

■CD/DVDドライブの注意

本製品に搭載されているCD/DVDドライブは、レーザーを使用しています。

■クラス1レーザー製品

CD/DVDドライブは、クラス1レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter Jに準拠しています。

また、クラス1レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC規格（EN 60825-1）および、JIS規格（JISC6802）に準拠しています。

警告



本製品は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

・光源部を見ないでください

CD/DVDドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。

また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線を覗きこまないでください。

レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因となります。

・お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。

レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因となります。

その他

注意



本製品（付属品を含む）の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投げられると乾電池が破裂するおそれがあります。

使用済み乾電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→

「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

目次

このマニュアルの表記について	5
安全にお使いいただくための絵記号について	7
安全上のご注意	7

第1章 各部名称

1 パソコン本体前面	20
2 パソコン本体背面	21
3 パソコン本体内部	22
4 ワンタッチボタン	23

第2章 使い始める前に

1 確認してください	26
機種名を確認してください	26
添付品がすべて揃っているか確認してください	26
2 使用上のお願い	27
使用および設置に適した場所	27
使用および設置に適さない場所	28
パソコン本体取り扱い上の注意	29
雷についての注意	29
液晶ディスプレイのお手入れ	30
パソコン本体内部のお手入れ	30
パソコンの疲れにくい使い方	32
3 必要なものを揃える	34
パソコン本体の箱に入っています	34
ディスプレイの箱に入っています	35
テレビを見る場合に必要です	35

第3章 接続する

1 フット（縦置き用設置台）を取り付ける	38
縦置きでお使いになる場合のみ	
2 キーボード／マウスを準備する	41
3 ディスプレイを接続する	43
4 アンテナケーブルを接続する	44
このパソコンで視聴できる放送について	44
必要なものを用意する	45
接続例	46
アンテナケーブルをパソコン本体に接続する	47
5 リモコンを準備する	48
リモコン受光器を接続する	48
リモコンに乾電池を入れる	49
6 電源ケーブルを接続する	50
液晶ディスプレイの電源ケーブルを接続する	50
パソコン本体用電源ケーブルを接続する	51

第4章 パソコンを準備する

1 この章でやること	54
2 初めて電源を入れる	56
接続を確認する	56
初めて電源を入れる～Windowsのセットアップ	57
3 サービスアシスタント（画面で見るマニュアル）の準備をする	72

4 電源の切り方と入れ方	74
電源を切る	74
電源を入れる	77
5 インターネットを始めるための準備をする	80
初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策	80
インターネット接続の設定	80
6 Windows を最新の状態にする	82
「Windows Update」を実行する	82
7 ウイルス対策ソフトの初期設定をする	90
「Norton AntiVirus」の初期設定	90
8 FMV を最新の状態にする	100
「アップデートナビ」を実行する	100
9 パソコンの状態を保存する（マイリカバリ）	103
10 ユーザー登録をする	104
ユーザー登録をするとご利用になれるサービス	104
パソコンの画面上でユーザー登録する	105
11 使いたい機能の準備をする	106
Media Center をお使いになる場合	106
退席中モードをお使いになる場合	106
CPU の動作モードを設定したい場合	107
12 準備が完了したら	108
パソコンの準備はすべて完了していますか？	108
パソコンの準備が完了したら  『FMV 活用ガイド』へ	109
このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合	110

第5章 Media Center を使うための準備をする

1 Media Center の準備	112
リモコンの基本機能	112
テレビを見る準備をする	113
Media Center のセットアップ	117
2 Media Center の起動／終了方法	143
Media Center を起動する	143
Media Center を終了する	143
3 Media Center の画面	144
Media Center のトップ画面	144
Media Center のメインメニュー	145
4 各メニューの説明	146
マイテレビ	146
マイミュージック	151
マイビクチャ	153
マイビデオ	155
DVD の再生	156
設定	158
他のプログラム	158
メディアオンライン	161

第6章 周辺機器の設置／設定／増設

1 周辺機器をお使いになる前に	164
周辺機器とは？	164
周辺機器を取り付けると	164
周辺機器を取り付けるには	164
周辺機器の取り扱い上の注意	165
2 本体カバーを取り外す／取り付ける	168
本体カバーを取り外す	169
本体カバーを取り付ける	171

3	メモリの増設／交換	172
	メモリの取り付け場所	172
	取り付けられるメモリ	173
	メモリの取り扱い上の注意	174
	メモリを増やす	175
	メモリ容量を確認する	177
4	ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定	179
	使用に適した配置	179
	乾電池について	181
	乾電池を交換する	182
	ID 設定をする	182
5	リモコンについて	185
	乾電池を交換する	185
	リモコンをお使いになる場合の注意	185

第7章 仕様一覧

1	パソコン本体の仕様	188
	仕様一覧の注記について	190
2	その他の仕様	192
	LCD 内蔵スピーカー	192
	LAN 機能	192
	高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード	193
	リモコン	193
	ワイヤレスキーボード（ワンタッチボタン付、105 キー、無線方式、抗菌） ...	193
	ワイヤレスマウス（光学式）	194

索引	195
-----------------	-----

Memo

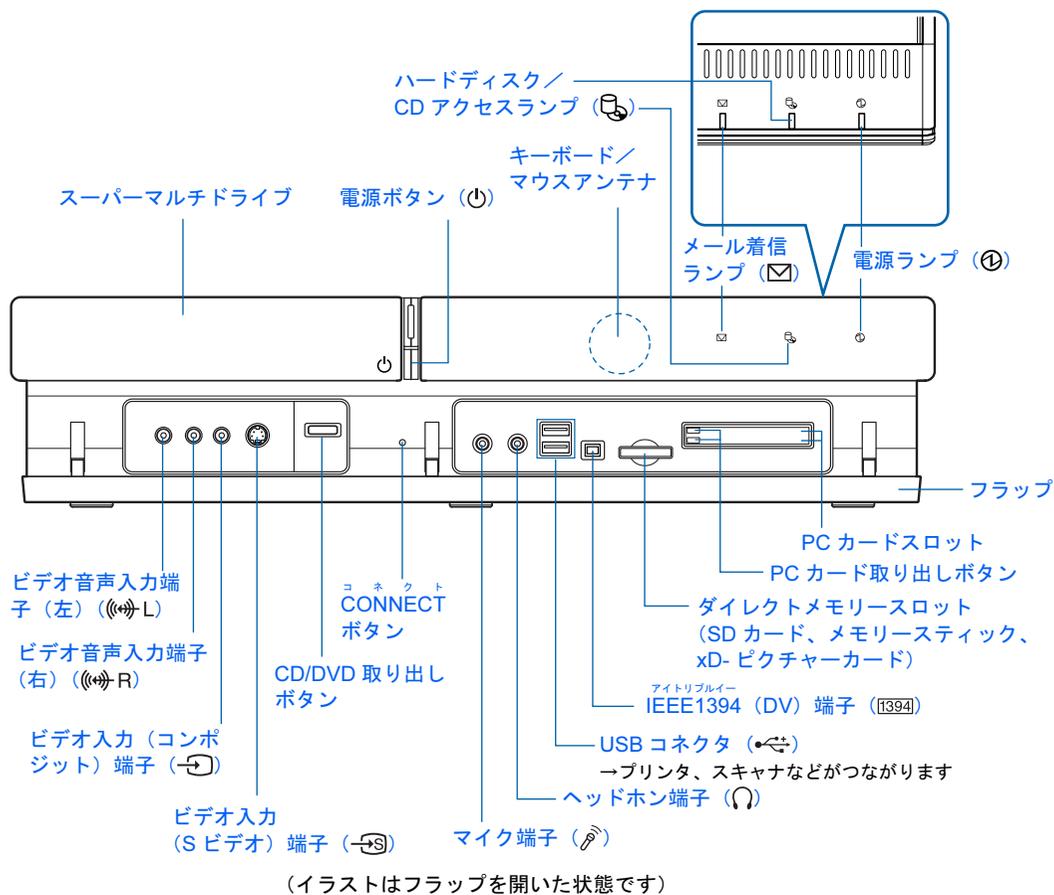
1

第 1 章 各部名称

パソコンの各部の名称について説明しています。
ディスプレイの各部名称については、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「10. 関連するマニュアル」 → 「液晶ディスプレイ」をご覧ください。

1	パソコン本体前面	20
2	パソコン本体背面	21
3	パソコン本体内部	22
4	ワンタッチボタン	23

1 パソコン本体前面



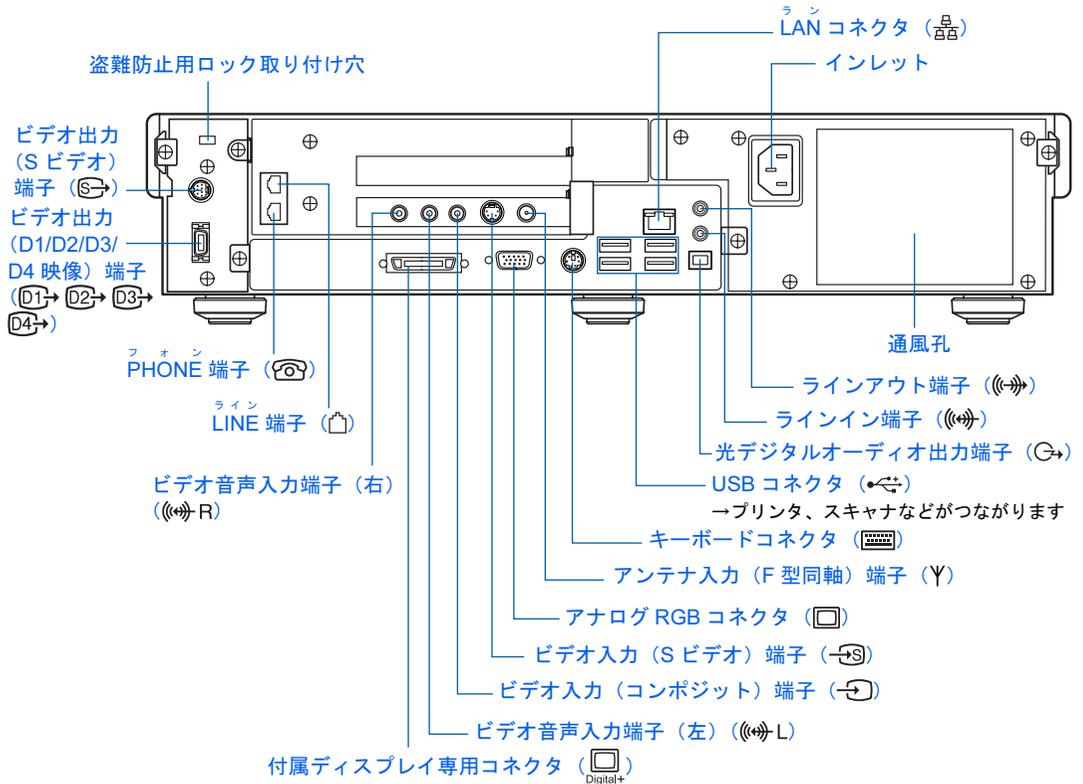
👉 重要

メモリーカードを取り出すときの注意

- ダイレクトメモリスロット (SD カード、メモリスティック、xD-ピクチャーカード) からメモリーカードを取り出す場合は、メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。また、メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
- メモリーカードを取り出すときは、ダイレクトメモリスロット (SD カード、メモリスティック、xD-ピクチャーカード) を人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出すとき、思わぬけがをすることがあります。

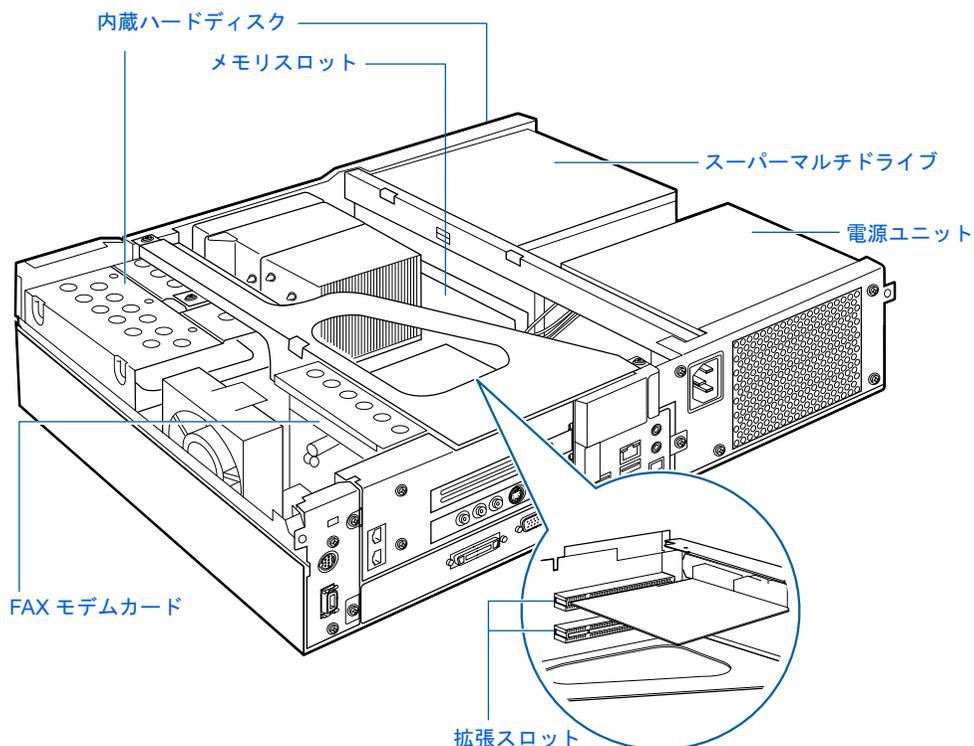
詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「5. パソコン本体の取り扱い」 → 「各部の名称と働き」 → 「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(▶▶P.108) までの作業が終わってからご利用ください。

2 パソコン本体背面



詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(▶P.108) までの作業が終わってからご利用ください。

3 パソコン本体内部

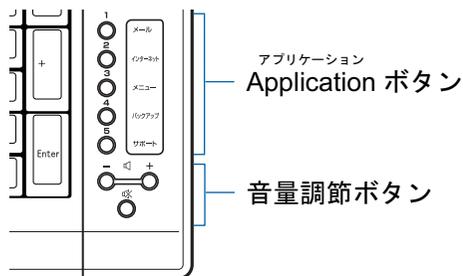


詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体内部」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(☞▶P.108) までの作業が終わってからご利用ください。

本体カバーの取り外し／取り付け方法については、「本体カバーを取り外す／取り付ける」(☞▶P.168) または☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6. 周辺機器の接続」→「本体カバーを取り外す／取り付ける」をご覧ください。

4 ワンタッチボタン

キーボードの右側には、ワンタッチボタンがあります。
ワンタッチボタンは、Windows が起動しているときにお使いになれます。



■ 音量調節ボタン



■ Application ボタン



詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：ワンタッチボタン」をご覧ください。

キーボードについては、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：キーボード」をご覧ください。

なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(●▶P.108) までの作業が終わってからご利用ください。

Memo

2

第 2 章

使い始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

1 確認してください	26
2 使用上のお願い	27
3 必要なものを揃える	34

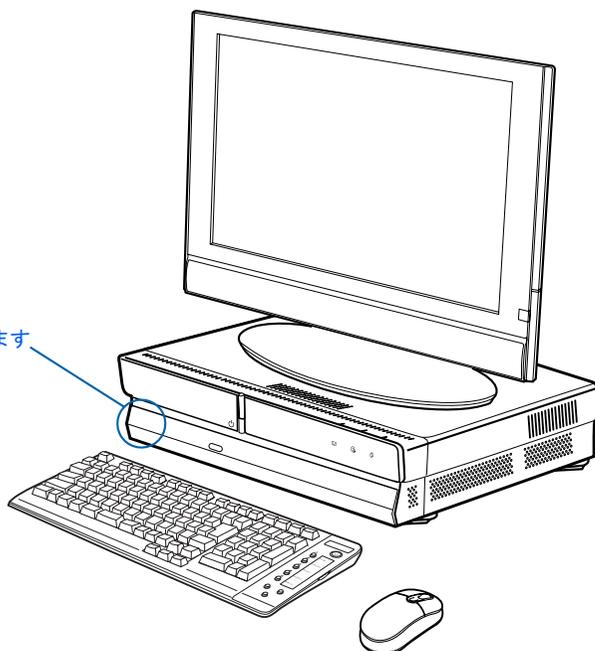
1 確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

機種名を確認してください

お使いの機種によって、マニュアルを読む箇所が異なります。お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。

機種名（品名）は
この部分に書いてあります



注：液晶ディスプレイをパソコン本体の上に置く際は、パソコン本体上面の通風孔（穴）をふさがないでください。通風孔をふさぐと、CPU の能力を低下させるおそれがあります。

添付品がすべて揃っているか確認してください

「箱の中身を確認してください」をご覧になり、添付品をもう一度ご確認ください。

ご購入後 1ヶ月以内のハードウェアトラブルや添付品の不足に関するお問い合わせは、「富士通パソコン診断センター」にご連絡ください。1ヶ月を過ぎると、有料となる場合やご提供できないものもありますのであらかじめご了承ください。富士通パソコン診断センターについては、「箱の中身を確認してください」裏面をご覧ください。



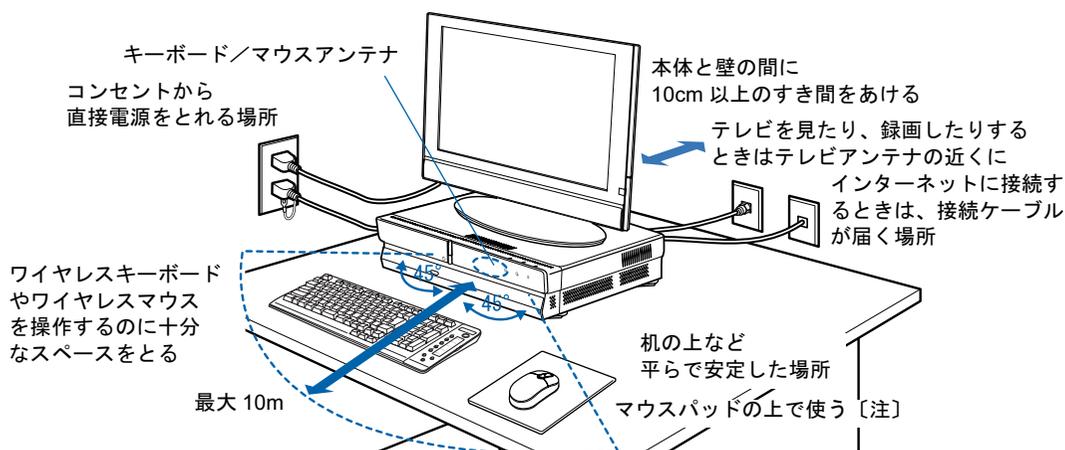
2 使用上のお願い

設置するのに適した場所や適さない場所、パソコン本体の取り扱い上の注意について説明します。

使用および設置に適した場所

パソコンは、次のような場所でお使いください。

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号を受けるキーボード/マウスアンテナはパソコン本体に内蔵されています。

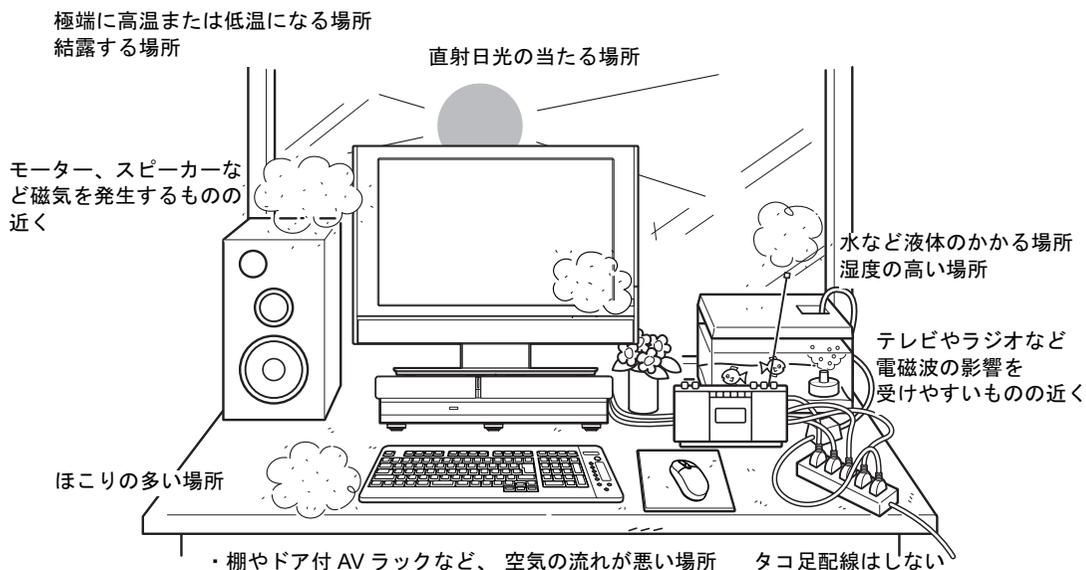


ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスはパソコン本体から最大 10m (3m 以内を推奨)、左右約 45 度の範囲で使う
ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスはパソコン本体と同じくらいの高さで使う

注：光学式マウスに関しては「光学式マウスをお使いになる上での注意事項」(●▶P.63) もご覧ください。

使用および設置に適さない場所

誤動作や故障の原因となるため、次のような場所ではお使いにならないでください。



POINT

- ・ 本製品の使用環境は温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90% RH (非動作時) です。
- ・ 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。
温度の低い場所 (クーラーの効いた場所、寒い屋外など) から、温度の高い場所 (暖かい室内、炎天下の屋外など) へ移動したときに起こります。
結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ・ 本製品を腐食性ガス (温泉から出る硫黄ガスなど) が存在する場所で使用すると、本製品が腐食する可能性がありますので、ご注意ください。
- ・ 本製品のそばで喫煙をすると、タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性がありますので、ご注意ください。
- ・ 本製品の通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPU ファンの冷却効果を低下させる可能性がありますので、掃除機などで定期的に通風孔のほこりを取ってください。

電波の影響を受ける環境でお使いになる場合

次のような環境でお使いになると、周囲からの電波の影響を受けて、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。

- ・ パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている
- ・ パソコン本体と、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの間に電気・電子機器や金属製のものを置いている
- ・ 周囲でノイズ源となる電気・電子機器 (無線機器を含む) を使用している
- ・ 周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある (このパソコンを複数台でお使いの場合、無線局の近隣でお使いの場合、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合など)
- ・ パソコン本体を電子レンジの近くに置いている

このような場合には、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの ID を設定し直すと、動作する場合があります。詳しくは、「ID 設定をする」(▶▶P.182) をご覧ください。

パソコン本体取り扱い上の注意

- ・衝撃を与えたり強い力で押ししたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ・画面をひっかいたり、先のとがったもので押さないでください。画面に傷がつく原因になります。
- ・スピーカー前面を強い力で押ししたりしないでください。スピーカーが破損する原因となることがあります。
- ・画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・本製品の近くで携帯電話や PHS などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてお使いください。
- ・本製品に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
- ・パソコン本体内部から聞こえる音や、パソコン本体が発する熱について
本製品をご使用中には、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音や、ハードディスクドライブがデータを書き込む音、CD/DVD が回転する音などが聞こえます。また、本製品の使用中に、パソコン本体が熱を持つために熱く感じられることがあります。これらは故障ではありません。
- ・パソコン本体を縦置きでお使いになる場合は、必ずフット（縦置き用設置台）を取り付けてください。フット（縦置き用設置台）を取り付けないと、バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- ・周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- ・本製品は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

雷についての注意

雷が鳴り出した時は、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。

また、安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、テレビのアンテナ線、外部機器との接続ケーブル、電話線（モジュラーケーブル）、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本製品を保護できないことがありますので、ご了承ください。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- ・液晶ディスプレイの汚れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・液晶ディスプレイの画面部分は、水および中性洗剤を使わないでください。
- ・化学ぞうきんや市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
 - アルカリ性成分を含んだもの
 - 界面活性剤を含んだもの
 - アルコール成分を含んだもの
 - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - 研磨剤を含むもの

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「10. 関連するマニュアル」→「液晶ディスプレイ」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(▶P.108) までの作業が終わってからご利用ください。

パソコン本体内部のお手入れ

パソコン本体内部にほこりがたまると、故障の原因となります。定期的に清掃してください。

必要なものを用意する

- ・掃除機

清掃方法

警告



- ・パソコン本体内部を清掃するときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

重要

十分に換気してください

清掃時には、ほこりなどを口や鼻から吸い込まないように、窓を開けたり、換気扇を回したりするなどして、十分に換気してください。

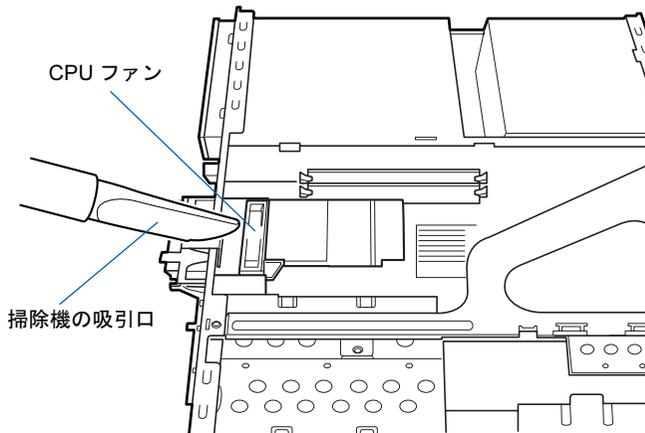
パソコン本体内部の部品には触れないでください

故障の原因となりますので、CPU ファン羽根およびその他のパソコン本体内部の部品には極力手を触れないでください。

また、掃除機の吸引口をパソコン本体内部の部品に当てないでください。

- 1 「本体カバーを取り外す」(▶P.169) をご覧になり、本体カバーを取り外します。
- 2 掃除機の吸引口にノズル等を取り付け、CPU ファンやヒートシンクのほこりを直接吸い取ります。

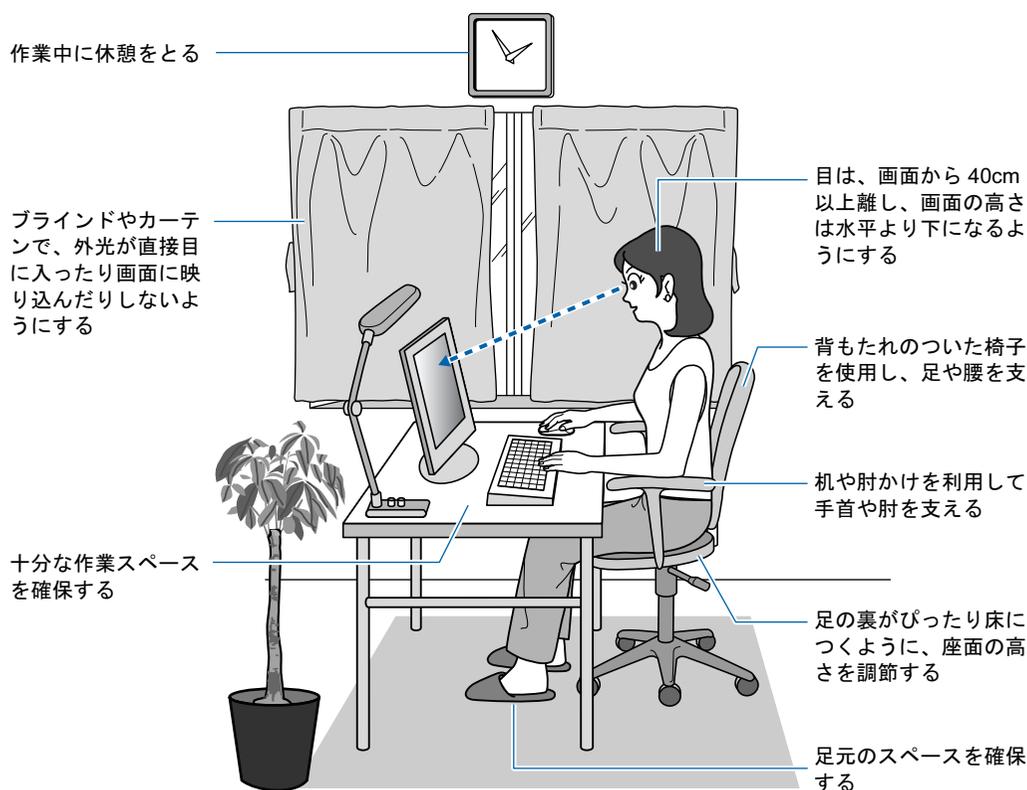
■ 掃除機での清掃例



- 3 CPU ファンの清掃後、CPU ファン周辺のほこりも、掃除機で同様に清掃してください。
- 4 「本体カバーを取り付ける」(▶P.171) をご覧になり、本体カバーを取り付けます。

パソコンの疲れにくい使い方

パソコンを長い時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩が痛くなり、腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。



POINT

富士通では、独立行政法人産業医学総合研究所の研究に協力し、その成果が「パソコン利用のアクション・チェックポイント」としてまとめられています。詳しくは、富士通ホームページ (<http://design.fujitsu.com/jp/universal/ergo/vdt/>) の解説をご覧ください。

ディスプレイ

- ・ 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンを取り付けたり、画面の向きや角度を調整しましょう。
- ・ 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ・ ディスプレイの上端が目と同じかやや低くなるように設定しましょう。
- ・ ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- ・ 目と画面の距離は、40cm以上離すようにしましょう。

使用時間

- ・ 1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間を取りましょう。また、休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。

入力機器

- ・ キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるようにして使い、手首や肘は机、椅子の肘かけなどで支えるようにしましょう。

机と椅子

- ・ 高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。
 - 机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
 - 椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- ・ 椅子は、背もたれ、肘かけ付きを使用しましょう。

作業スペース

- ・ 机上のパソコンの配置スペースと作業領域は、十分確保しましょう。
- ・ スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子の肘かけなどを利用して腕を支えましょう。

3 必要なものを揃える

必要なものをあらかじめ揃えてから、第3章へ進みましょう。

重要

ケーブル類をお使いになる時の注意

電源ケーブル等を束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。

パソコン本体の箱に入っています

注：イラストは実際と若干異なる場合があります。

■ パソコン本体



■ ワイヤレスキーボード

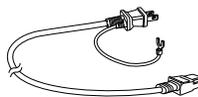
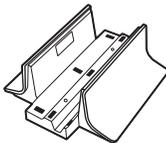


■ ワイヤレスマウス（光学式）



■ フット（縦置き用設置台） ■ パソコン本体用電源ケーブル

注：シールが同梱されています。



■ 単3 アルカリ乾電池×4



ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス用です。

パソコン本体を縦置きでお使いになる場合のみ用意してください。パソコン本体を横置きでお使いになる場合は必要ありません。

■ リモコン



■ 単3 マンガン乾電池×2 ■ 保証書



リモコン用です。



梱包箱に貼り付けられています。

■ リモコン受光器 (REMOTE CONTROL RECEIVER)



■ 赤外線制御ケーブル

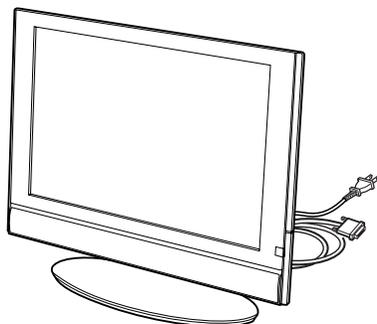


セットトップボックスをお使いになる場合のみ用意してください。セットトップボックスをお使いにならない場合は必要ありません。

ディスプレイの箱に入っています

注：イラストは実際と若干異なる場合があります。

■ 20.1 型ワイド液晶ディスプレイ



テレビを見る場合に必要です

アンテナケーブル、同軸ケーブル、変換コネクタ、V/U 混合器などは添付されていません。お客様で用意してください。

必要なものは、アンテナ線の形状などによって異なります。詳しくは、「アンテナケーブルを接続する」(●▶P.44)をご覧ください。アンテナ設置については、最寄りの電気店にお問い合わせください。

続いて、パソコンの接続をしましょう (●▶P.37)。

Memo

3

第 3 章 接続する

パソコンの接続について説明しています。

1	フット（縦置き用設置台）を取り付ける 縦置きでお使いになる場合のみ	38
2	キーボード／マウスを準備する	41
3	ディスプレイを接続する	43
4	アンテナケーブルを接続する	44
5	リモコンを準備する	48
6	電源ケーブルを接続する	50

警告



- ・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

注意



- ・使用中のパソコン本体や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はパソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあげ、通気孔などの開口部をふさがらないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にはほりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

1 フット（縦置き用設置台）を取り付ける

縦置きでお使いになる場合のみ

このパソコンは、縦置きでも使えます。パソコン本体を縦置きでお使いになる場合、次の手順で必ずフット（縦置き用設置台）を取り付けてください。パソコン本体を横置きでお使いになる場合は、フット（縦置き用設置台）を取り付ける必要はありません。

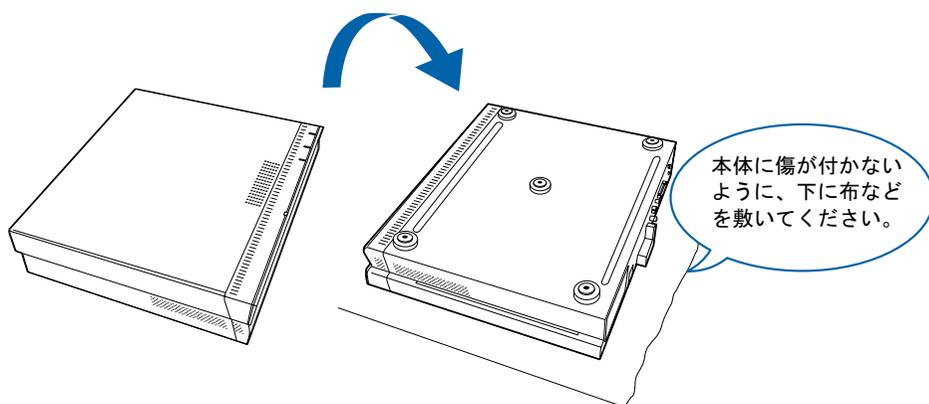
重要

必ず添付のフット（縦置き用設置台）を取り付けてください

フット（縦置き用設置台）を取り付けないと、転倒して故障の原因となることがあります。

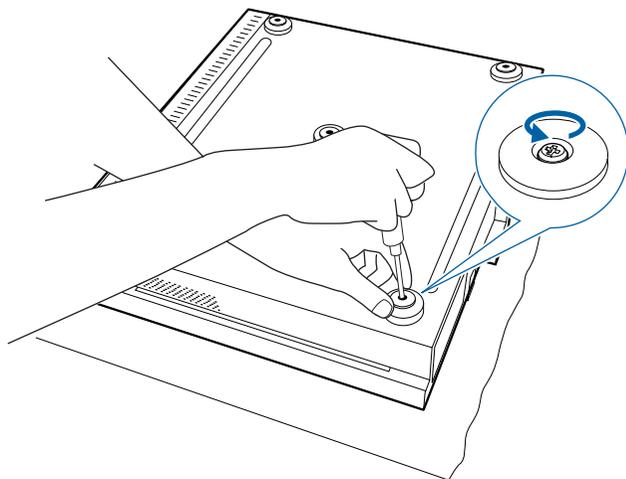
1 パソコン本体を上下さかさまにします。

テーブルなどの平らな面に置いてください。パソコン本体は重量があります。パソコン本体を動かすときは注意してください。



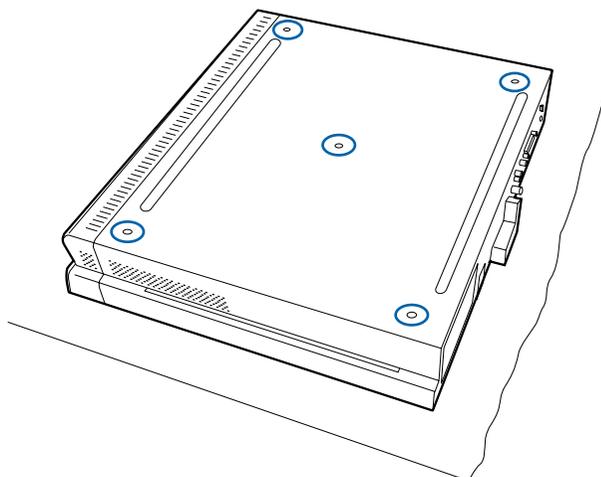
2 パソコン本体下面にあるフット（横置き用）を外します。

フット（横置き用）のネジ（5ヶ所）をプラスドライバーで回して外します。取り外したフット（横置き用）は大切に保管しておいてください。



3 添付のシールを貼ります (5ヶ所)。

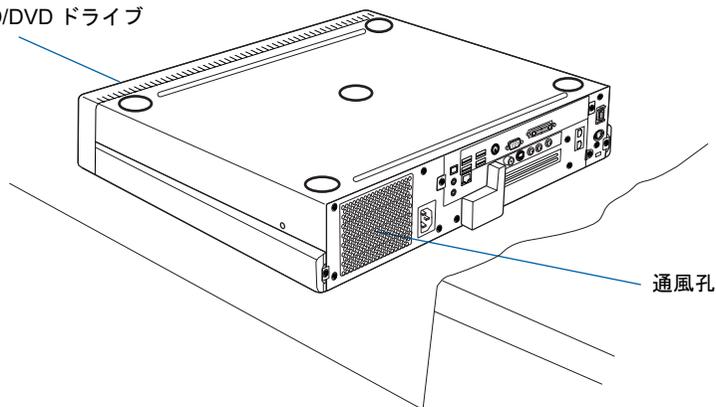
シールは、フット (縦置き用設置台) に同梱されています。



4 テーブルなどの平らな面に、パソコン本体左側面が少しはみ出るように置きます。

パソコン本体を縦置きでお使いになるときは、CD/DVD ドライブが下になるように設置します。

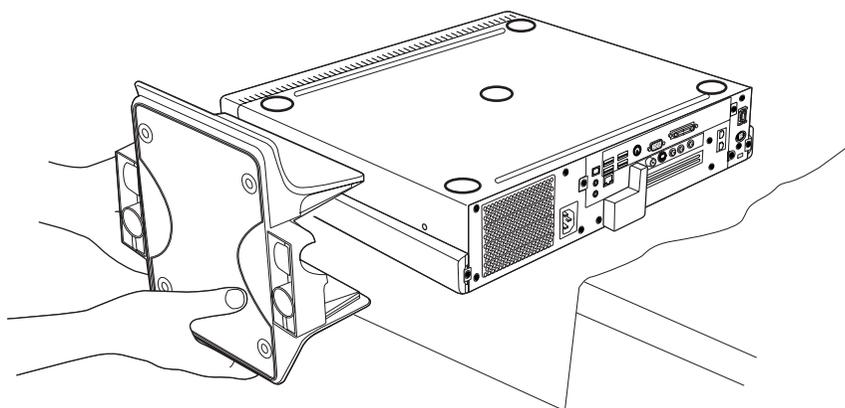
CD/DVD ドライブ



次のページへ

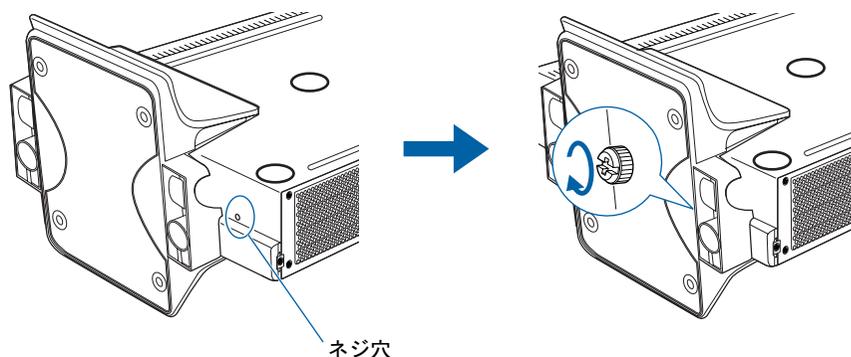
5 パソコン本体にフット（縦置き用設置台）を取り付けます。

フット（縦置き用設置台）の内側に溝がある方を上にして取り付けます。



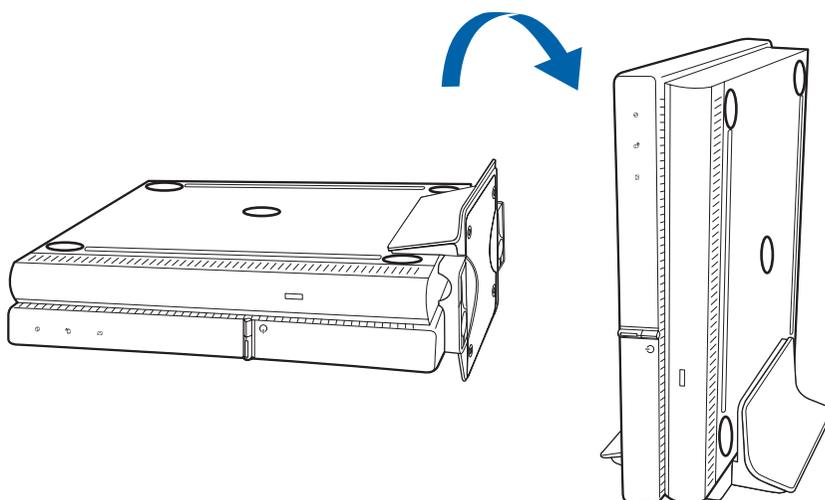
6 フット（縦置き用設置台）のネジを締めます。

フット（縦置き用設置台）の裏側に付いているネジで左右2ヶ所に取り付けます。パソコン本体のネジ穴とフット（縦置き用設置台）のネジツマミをあわせませす。ネジツマミを手で回して取り付け、プラスのドライバーでネジをしっかりと締めます。



7 パソコン本体を縦置きにします。

パソコン本体は重量があります。パソコン本体を動かすときは注意してください。



続いて、キーボード／マウスを準備しましょう（…▶P.41）。

2 キーボード／マウスを準備する

ここでは、キーボード／マウスを使用するための準備について説明しています。ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに添付のアルカリ乾電池を入れます。

⚠ 警告



- ・乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

👉 重要

ご購入時はワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID は設定されていません

「初めて電源を入れる～Windows のセットアップ」(●▶P.57) の手順に従って、必ずワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID 設定をしてください。設定を行わないと、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用できません。

また、このパソコンを複数台お使いの場合で混信や誤動作をするときは、一度乾電池を出し入れし、再度 ID 設定を行ってください。

必ずアルカリ乾電池を使用してください

アルカリ乾電池をお使いにならないと、電池寿命が極端に短くなります。添付のアルカリ乾電池には「アルカリ」などと書いてありますので、間違えないようにしてください。

ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。詳しくは、「乾電池について」(●▶P.181) をご覧ください。

ワイヤレスマウスに乾電池を入れても光学センサーが光らない場合は

何度か乾電池を入れ直してください。

ワイヤレスマウスを振るとカラカラという音がしますが、故障ではありません

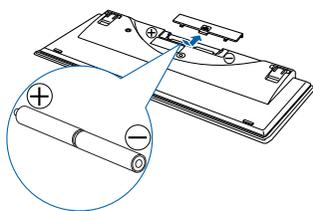
詳しくは「使用に適した配置」の「重要」(●▶P.180) をご覧ください。

1 ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウス（光学式）の電池ボックスのふたを開け、添付のアルカリ乾電池（4本セット）を2本ずつ入れます。

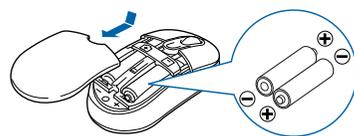
ワイヤレスキーボードは、裏返して電池ボックスのふたを開けます。

電池を入れるときには、キーボードのキーやマウスのボタンを押さないように注意してください。正常に動作しなくなる場合があります。

■ ワイヤレスキーボード

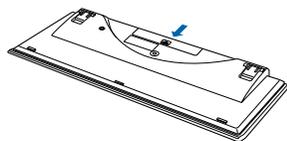


■ ワイヤレスマウス（光学式）



2 電池ボックスのふたを閉めます。

■ ワイヤレスキーボード



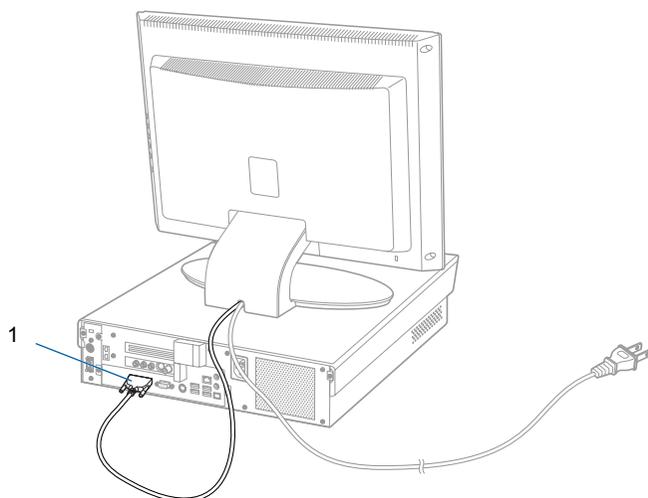
■ ワイヤレスマウス（光学式）



続いて、ディスプレイを接続しましょう（●▶P.43）。

3 ディスプレイを接続する

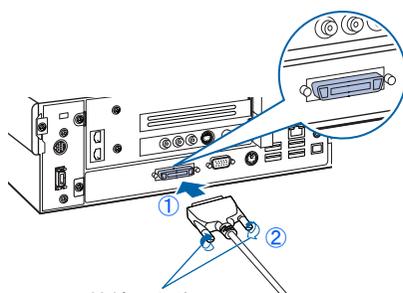
ここでは、ディスプレイの接続方法について説明します。



1 ディスプレイ背面から出ている液晶ディスプレイ専用ケーブルを、パソコン本体背面の付属ディスプレイ専用コネクタに接続します。

①コネクタと差し込み口の形状を確認して奥までしっかりと差し込み、②ネジを締めます。

■パソコン本体背面



接続した後に
ネジを締めます。

続いて、アンテナケーブルを接続しましょう (●▶P.44)。

4 アンテナケーブルを接続する

ここでは、アンテナケーブルを接続する方法について説明します。
アンテナケーブルは後からでも接続できます。アンテナケーブルを用意していない場合やこのパソコンですぐにテレビを見ない場合は、アンテナケーブルを接続する必要はありません。「リモコンを準備する」(▶P.48)へ進んでください。

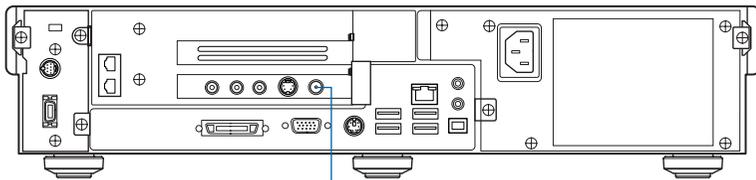
⚠ 警告



- ・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性のある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。

このパソコンで視聴できる放送について

ここでは、このパソコンで視聴できる放送について説明します。



アンテナ入力 (F 型同軸) 端子

アンテナケーブルをアンテナ入力 (F 型同軸) 端子に接続すると、地上アナログ放送 (VHF と UHF 放送) を視聴できます。

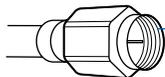
必要なものを用意する

必ず用意してください

- ・ アンテナケーブル



F型コネクタプラグ付きアンテナケーブルをご購入ください。
アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルのご使用をお勧めします。
なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。



プラグの内側がネジ状になっている

ネジ式F型コネクタ

重要

ネジ式でない F 型コネクタプラグ付きアンテナケーブルをお使いになる場合は、次の点にご注意ください

- ・ コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。また、Sビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
- ・ ネジ式でない F 型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、ネジ式に比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

必要に応じて用意してください

アンテナ線の形状などによって、必要なものが異なります。ここでは、代表的なものを説明します。「接続例」(●▶P.46)を参考に、必要なものをご購入ください。

- ・ 分波器
1本の線に混合されている電波を分ける機器です。
- ・ 分配器
1本のアンテナ線を、複数の端子で使うために分配する機器です。
- ・ 混合器
VHFとUHFが別々のアンテナ線で供給されている場合に、1本の線に混合するための機器です。また、VHF/UHFのアンテナ線とBS/CSのアンテナ線を混合できるものや、分波器として使えるものがあります。
用途に合った製品をご購入ください。

接続例

アンテナケーブルの接続方法は、アンテナの設置形態、壁のアンテナコネクタの形、お使いになるケーブルによって異なります。

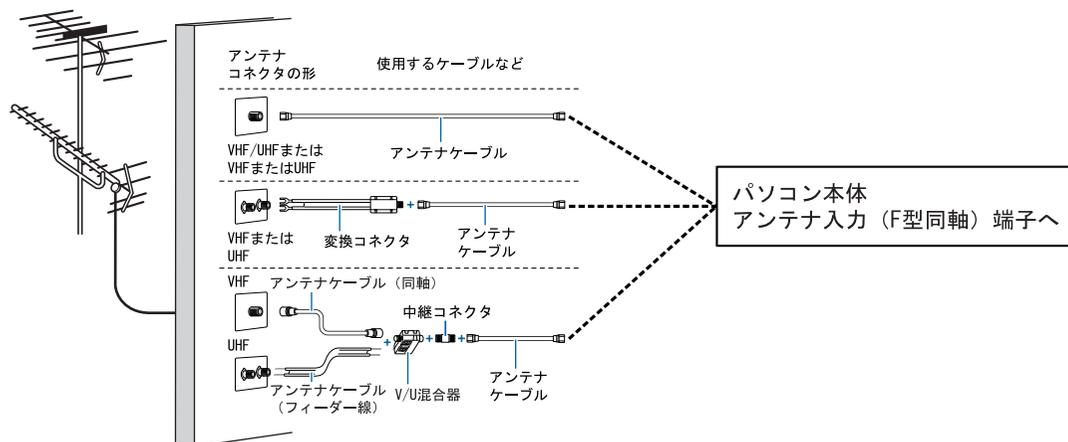
POINT

ケーブルテレビをご利用になっている場合

ケーブルテレビをご利用になっている場合は、受信契約をしているケーブルテレビ放送会社によって接続方法が異なります。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

地上アナログ放送を視聴する場合は、VHF/UHF アンテナが必要です。

VHF/UHFアンテナ



アンテナの確認・準備が完了したら、アンテナケーブルをパソコン本体に接続しましょう (▶P.47)。

アンテナケーブルをパソコン本体に接続する

視聴するテレビ放送のアンテナケーブルを接続してください。ケーブル類などを用意していない場合や、視聴しないテレビ放送のアンテナケーブルは接続する必要はありません。また、アンテナケーブルは、後から接続することもできます。

重要

アンテナケーブルを接続するときの注意

アンテナケーブルを接続するときは、次のことに注意してください。

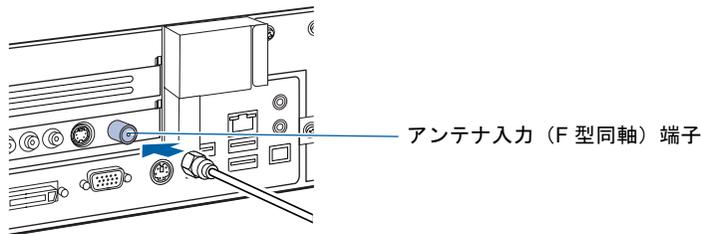
- ・アンテナケーブルを接続するときは、パソコンの電源を切ってください。
- ・アンテナケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないでください。

1 パソコンや接続されている機器の電源が入っている場合は、すべての電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。

電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

2 地上アナログ放送用のアンテナケーブルは、アンテナ入力（F型同軸）端子に接続します。

■ パソコン本体背面



続いて、リモコンを準備しましょう（●▶P.48）。

5 リモコンを準備する

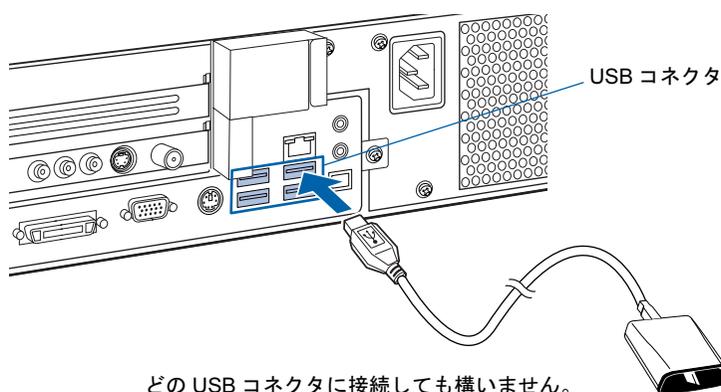
ここでは、リモコンを使用するための準備について説明します。

リモコン受光器を接続する

ここでは、リモコン受光器をパソコン本体に接続する方法について説明します。

1 リモコン受光器をパソコン本体背面の USB コネクタに接続します。

■パソコン本体背面



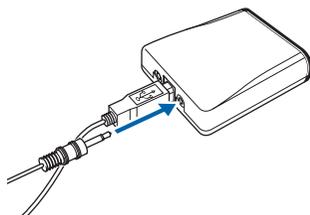
POINT

他の機器ではお使いになれません

リモコン受光器は、このパソコンおよび添付のリモコン専用です。他の機器ではお使いになれません。

セットトップボックスをお使いの方のみ、続けて赤外線制御ケーブルを接続してください。

2 リモコン受光器背面のジャックに、赤外線制御ケーブルを接続します。



注：赤外線制御ケーブルは、左右どちらのジャックに差ししても構いません。

3 赤外線制御ケーブルに貼られている両面テープを使い、赤外線制御ケーブルの発光部側を、お使いのセットトップボックスのリモコン受光部のすぐ近くに貼り付けます。

リモコンに乾電池を入れる

⚠ 警告



- ・乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

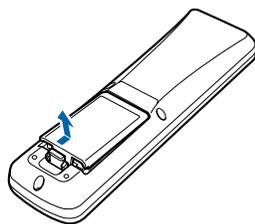
👉 重要

ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

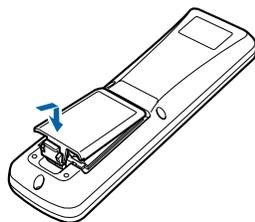
ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

3

1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。



2 乾電池の+（プラス）と-（マイナス）の向きを確かめてから添付のマンガン乾電池（2本セット）を入れて、電池ボックスのふたを閉めます。



続いて、電源ケーブルを接続しましょう（☞▶P.50）。

6 電源ケーブルを接続する

ここでは、パソコン本体や液晶ディスプレイの電源ケーブルなどを接続する方法について説明します。

⚠ 警告



・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電、火災の原因となります。



・電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

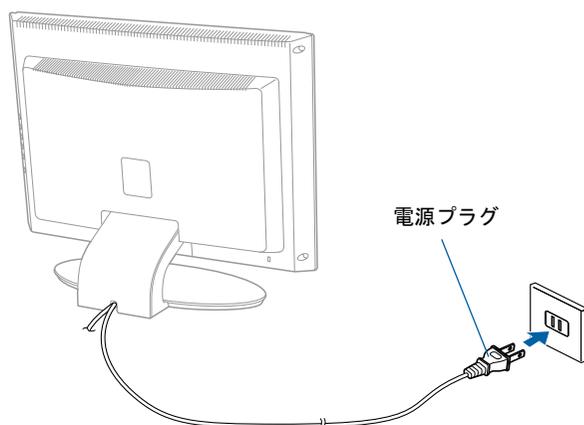
👉 重要

確認してください

ここまでに接続したすべてのケーブルが、正しく接続されているか確認してください。

液晶ディスプレイの電源ケーブルを接続する

- 1 ディスプレイ背面から出ている電源ケーブルの電源プラグを、コンセントに接続します。



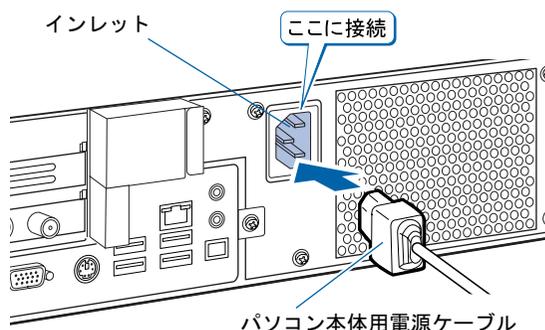
(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

続いて、パソコン本体用電源ケーブルを接続しましょう (…▶P.51)。

パソコン本体用電源ケーブルを接続する

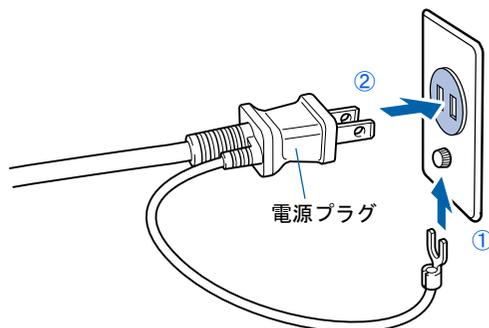
1 パソコン本体用電源ケーブルを、パソコン本体背面のインレットに接続します。

■ パソコン本体背面



2 パソコン本体用電源ケーブルを、コンセントに接続します。

①アース線をコンセントのアースネジに差し込んで、②電源プラグをコンセントに差し込んでください。



重要

コンセントに接続すると

電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

続いて、電源を入れましょう (…▶P.56)。

Memo

4

第 4 章

パソコンを準備する

初めてパソコンの電源を入れるときに行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

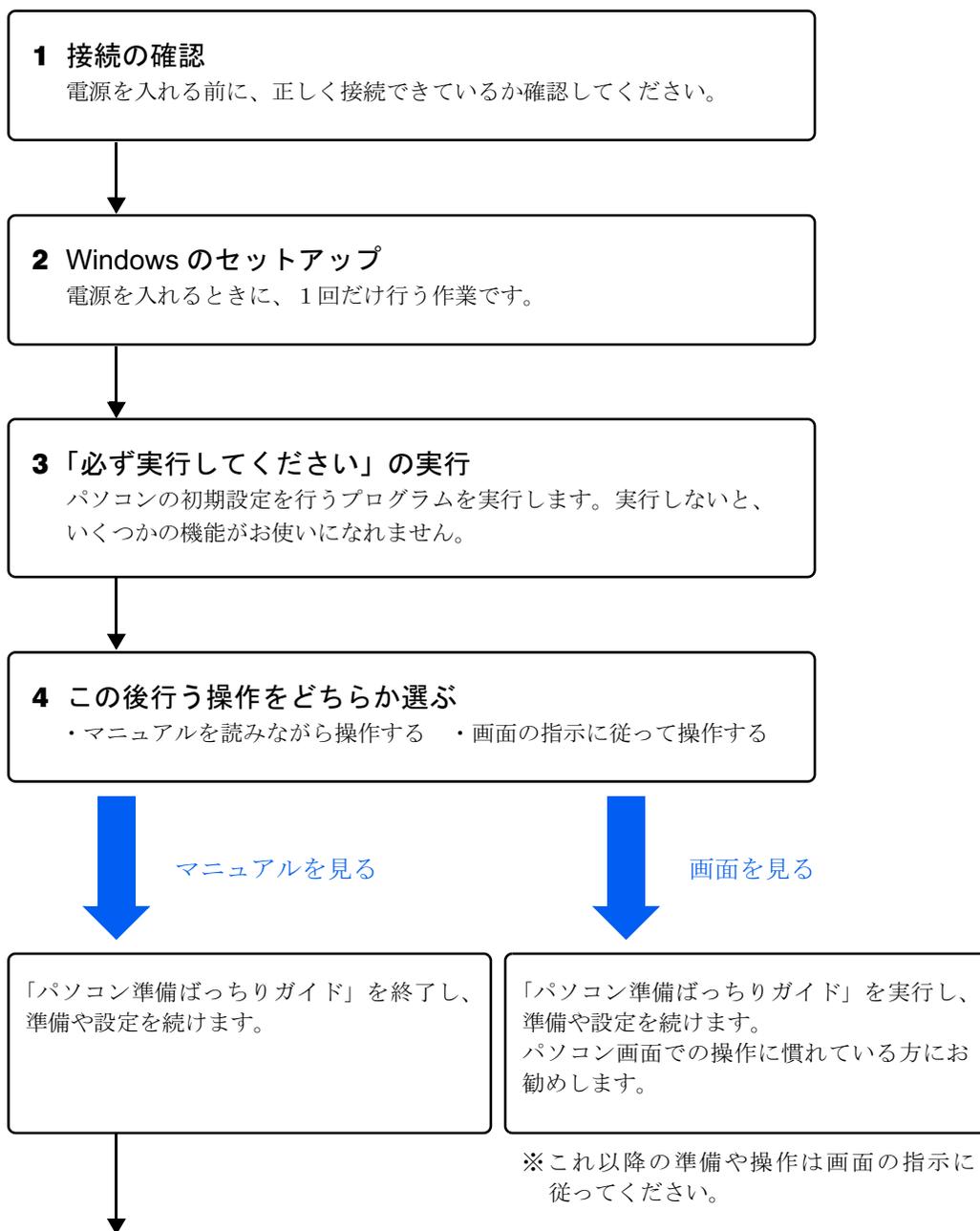
1	この章でやること	54
2	初めて電源を入れる	56
3	サービスアシスタント（画面で見るマニュアル）の準備をする	72
4	電源の切り方と入れ方	74
5	インターネットを始めるための準備をする	80
6	Windows を最新の状態にする	82
7	ウイルス対策ソフトの初期設定をする	90
8	FMV を最新の状態にする	100
9	パソコンの状態を保存する（マイリカバリ）	103
10	ユーザー登録をする	104
11	使いたい機能の準備をする	106
12	準備が完了したら	108

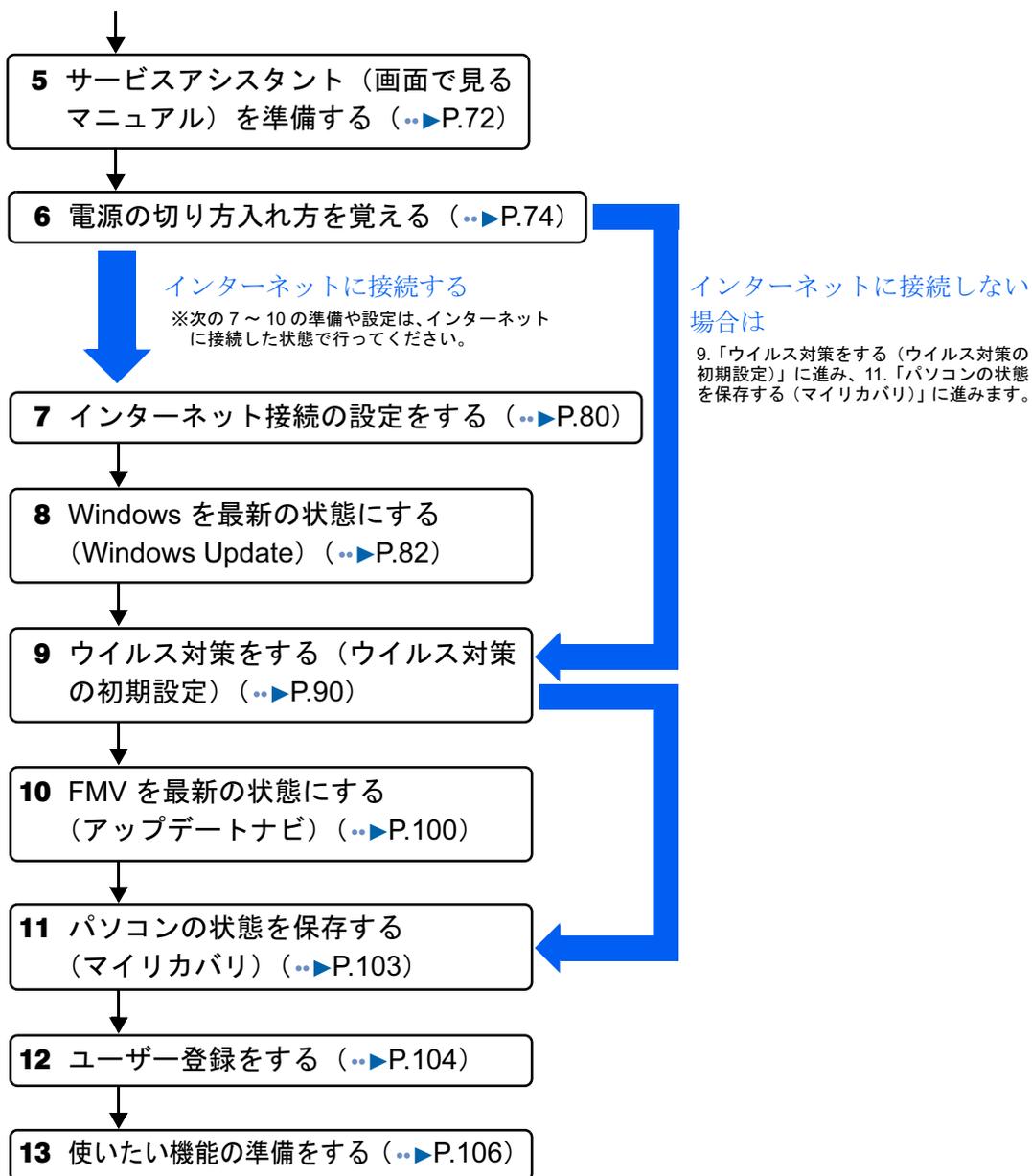
1 この章でやること

パソコンに初めて電源を入れるときは、パソコンを使えるようにするための準備が必要です。

パソコンの準備は時間に余裕をもって作業してください。パソコンの準備は半日以上時間をとり、じっくりと作業することをお勧めいたします。

今後、快適にパソコンを使うためには、次の流れに従って、準備を完了しましょう。





2 初めて電源を入れる

接続を確認する

重要

ケーブルはグラグラしていませんか？

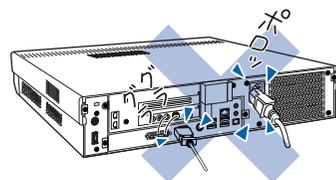
奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。

セットアップ前には、LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ (TA) を接続しないでください

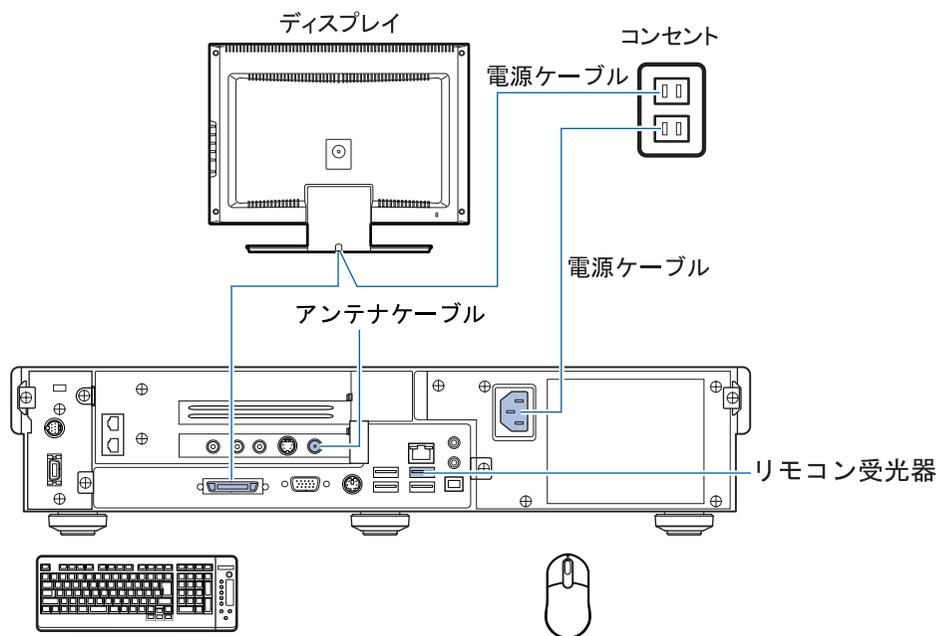
LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ (TA) などが接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、接続してください。

セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタやメモリなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧ください、接続してください。



電源を入れる前に、次のイラストをご覧ください、正しく接続できているか確認してください。



ワイヤレスキーボード [注]

ワイヤレスマウス [注]

注：添付の乾電池が正しく入っているか確認してください。

(イラストは機種や状況により異なります)

初めて電源を入れる～Windows のセットアップ

初めて電源を入れるときは、**Windows のセットアップ**という作業が必要です。Windows のセットアップは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1 回だけ行う操作です。**このマニュアルの手順どおりに進めてください**。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。

セットアップ時の注意事項

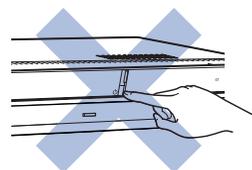
ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの注意事項

初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）の中で、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの ID 設定をします。

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、それぞれ固有の ID を使用しているため、別々に設定が必要です。手順のとおりを設定してください。

セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows のセットアップを途中で止めると、Windows が使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、電源を切らないでください。もし電源を切って Windows が使えなくなった場合、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない (メッセージが表示される・音が鳴る他)」をご覧ください。



セットアップが終わるまでリモコンは使用しないでください

Windows のセットアップの途中でリモコンを操作すると、Windows のセットアップが途中で終了してしまうことがあります。セットアップが終わるまで、リモコンは使用しないでください。もし電源が切れて Windows が使えなくなった場合には、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない (メッセージが表示される・音が鳴る他)」をご覧ください。

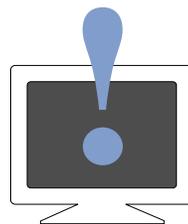
画面が乱れることがあります

電源を入れてから「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまでの間、一瞬画面が乱れることがあります。故障ではありませんのでそのままお使いください。

しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

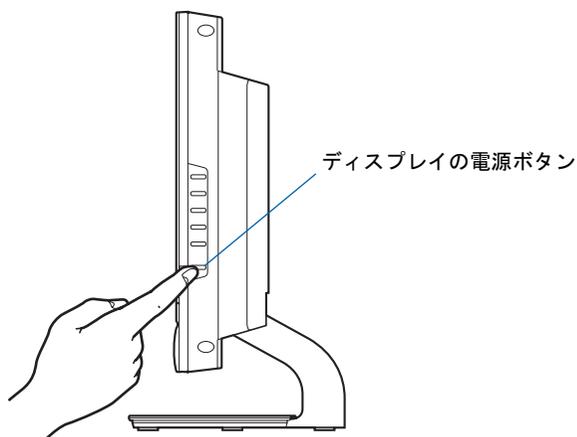
マウスを動かしたり、キーボードの     や  のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。スクリーンセーバーから戻ったときは、そのとき表示されていた画面に背景（壁紙）が変わります。



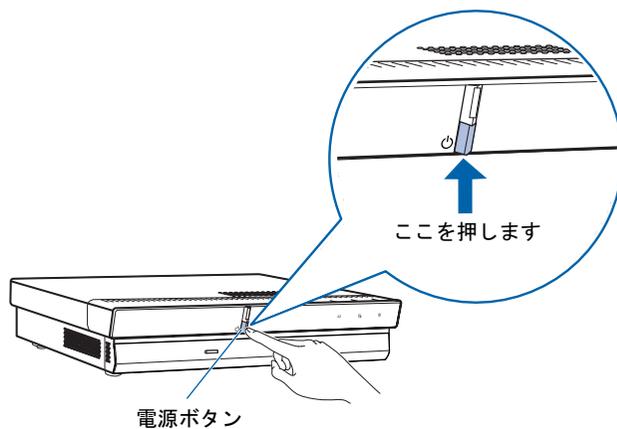
Windows の設定

1 ディスプレイの電源ボタンを押します。

電源が入ると、ディスプレイの電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。

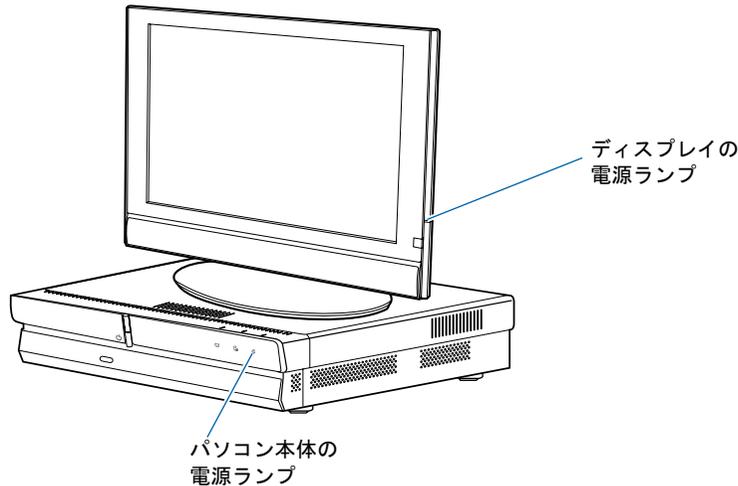


2 パソコン本体の電源ボタンを押します。



3 パソコン本体とディスプレイの電源ランプが緑色に点灯していることを確認します。

電源が入ると、画面にさまざまな文字などが表示されます。



4 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。



パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。

「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。



もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない (メッセージが表示される・音が鳴る他)」をご覧ください。

電源を切らずに次のページへ

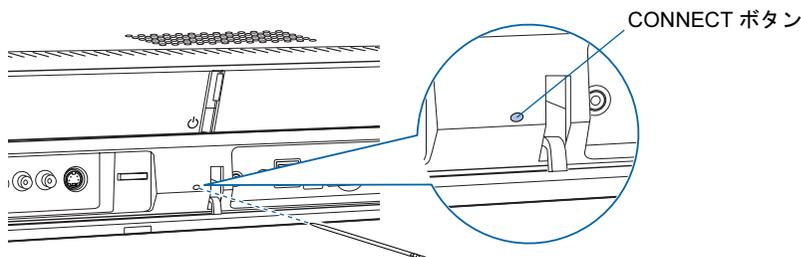
5 ワイヤレスキーボードの ID を設定します。

「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されたら、ワイヤレスキーボードに乾電池が正しく入っていることを確認した後、次の手順に従って操作してください。

1. パソコン本体前面の CONNECT ボタンを 1 回押します。

フラップを開き、CONNECT ボタンに電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

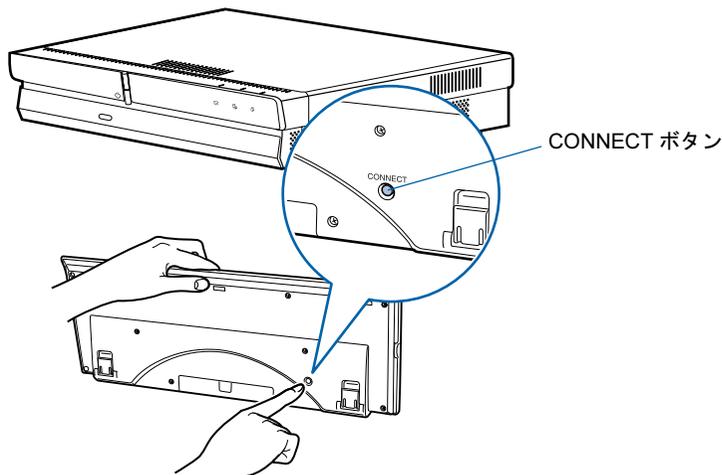
- ・パソコン本体前面



2. パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから約 10 秒以内に、ワイヤレスキーボード裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押し、すぐに離してください。

CONNECT ボタンを押す際は、キーボードのキーやボタンを押さないように気をつけてください。

キーボード上面の状態表示 LCD が数回点滅した後、ID が自動的に設定されます。



ID 設定を行わないと、ワイヤレスキーボードを使用できません。

Windows のセットアップ終了後に文字入力ができないなど、キーボードが正常に動作しない場合は、一度乾電池を出し入れし、手順 1 からやり直してください。

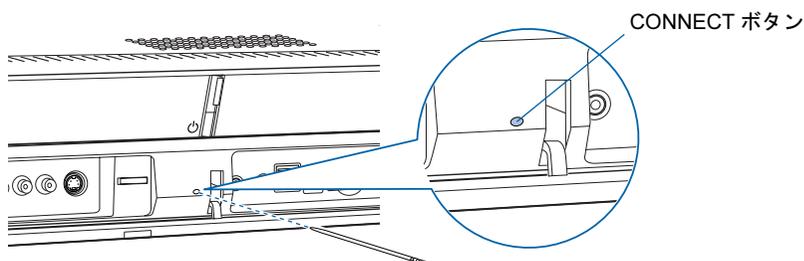
6 ワイヤレスマウスの ID を設定します。

ワイヤレスマウスに乾電池が正しく入っていることを確認した後、次の手順に従って操作してください。

1. パソコン本体前面の CONNECT ボタンを 1 回押します。

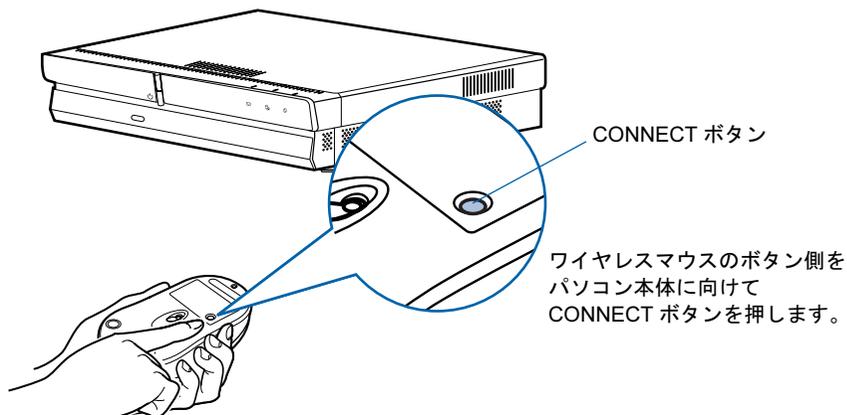
フラップを開き、CONNECT ボタンに電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

・パソコン本体前面



2. パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから約 10 秒以内に、ワイヤレスマウス裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押し、すぐに離してください。

CONNECT ボタンを押す際は、マウスのボタンを押さないように気をつけてください。光学式センサーの赤い光が数回点滅した後、ID が自動的に設定されます。



3. ワイヤレスマウスを操作します。

マウスを動かし、正常にマウスポインタが動けば設定完了です。正常に動作しない場合は、一度乾電池を出し入れし、手順 1 からもう一度設定を行ってください。

ID 設定を行わないと、ワイヤレスマウスを使用できません。

7 マウスを用意します。

マウスを机の上などの平らな場所に置き、左右のボタンに指がかかるように手を軽く乗せます。

手のひらの下の部分が、軽く机に触れるようにしてください。

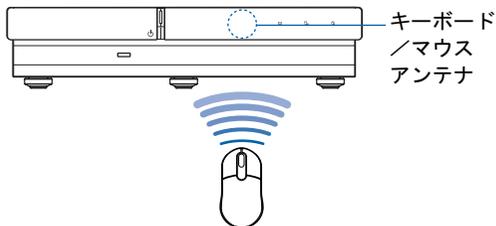


ここが机に触れるようにします

POINT

マウスの向きに注意！

ワイヤレスマウスはボタンがあるほうをパソコン本体に向けて使います。



キーボード
/マウス
アンテナ

8 1 画面上の \leftarrow を「次へ」の右の \rightarrow に合わせ、2 マウスの左ボタンを軽くカチッと1回押して、すぐ離します。

マウスを平らな場所に置いたまま、すべらせると、マウスの動きに合わせて、 \leftarrow (マウスポインタ) が画面の上を動きます。

2の操作のことを、「クリック」といいます。



1

2

左ボタン



マウスポインタを合わせると薄い緑色に変わります。

POINT

キーボードやマウスで操作できない場合

キーボードやマウスが操作できなくなった場合は、「使用上のお願い」(●▶P.27)をご覧ください。それでも操作できない場合は、次の手順に従って電源を入れ直してください。

1. パソコン本体の電源ボタン(●▶P.20)を4秒以上押したままにして、強制的に電源を切ります。
2. ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに乾電池が正しく入っているか確認します(●▶P.41)。
3. ディスプレイが正しく接続できているか確認します(●▶P.43)。
4. もう一度パソコン本体の電源ボタンを押して電源を入れます(4秒以上押さないでください)。
5. 「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されたら、もう一度手順5(●▶P.60)に戻り、ワイヤレスキーボード/ワイヤレスマウスのID設定をします。

マウスのしくみ

光学式マウスには、裏面に光学式読み取りセンサーが付いています。マウスを机の上などですべらせると、マウス裏面から出された赤い光の陰影を光学式センサーで検知し、画面上のマウスポインタが動くようになっています。



読み取りセンサー

光学式マウスをお使いになる上での注意事項

光学式マウスは、机の上だけでなく、紙の上などでもお使いになることができますが、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。

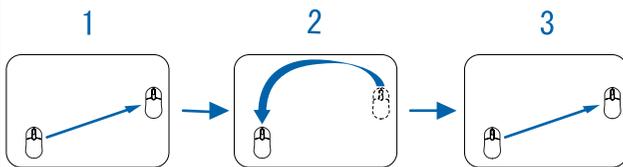
- ・鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- ・光沢があるもの
- ・濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの(木目調など)
- ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

光学式センサーは机などと接触せずにマウスの動きを検知しているため、特にマウスパッドなどの必要はありませんが、マウス本体は机などと接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、マウスパッドなどをお使いになることをお勧めします。

マウスパッドをお使いになる場合は、明るい色の無地のマウスパッドをお使いになることをお勧めします。

マウスが机の端まできたら

1 マウスが机の端まできたら、2 いったんマウスを持ち上げて、もう一度別の位置から動かしてください。マウスを持ち上げている間は、マウスポインタは動きません。



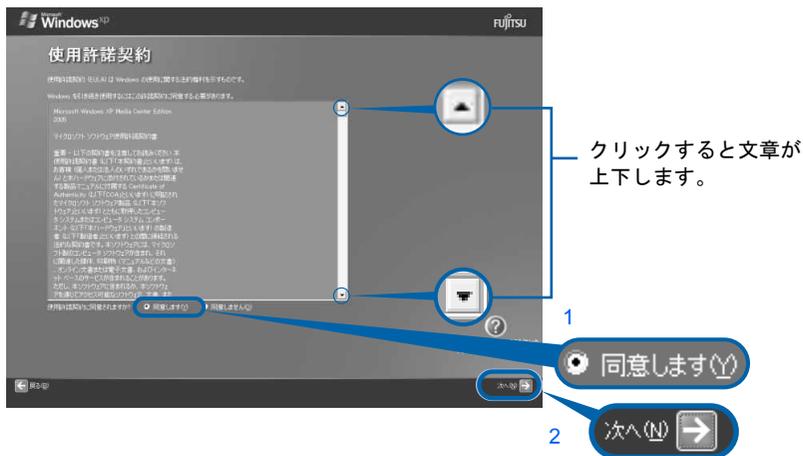
マウスを持ち上げている間はマウスポインタは動きません。

ボタンは軽く押すだけでOK!

力を入れて押す必要はありません。マウスのボタンはカチッと1回押したら、すぐ指を離すようにします。

電源を切らずに次のページへ

9 1 Windows の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックして \odot にし、2「次へ」の右の \rightarrow をクリックします。



次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

重要

「同意しません」をクリックした場合

「続ける前に...」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。

手順9の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の \leftarrow をクリックしてください。

10 1「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立ってます」をクリックして \odot にし、2「次へ」の右の \rightarrow をクリックします。



11 「次へ」の右の➡をクリックします。

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。



次の画面が表示されるまでお待ちください。

12 「次へ」の右の➡をクリックします。

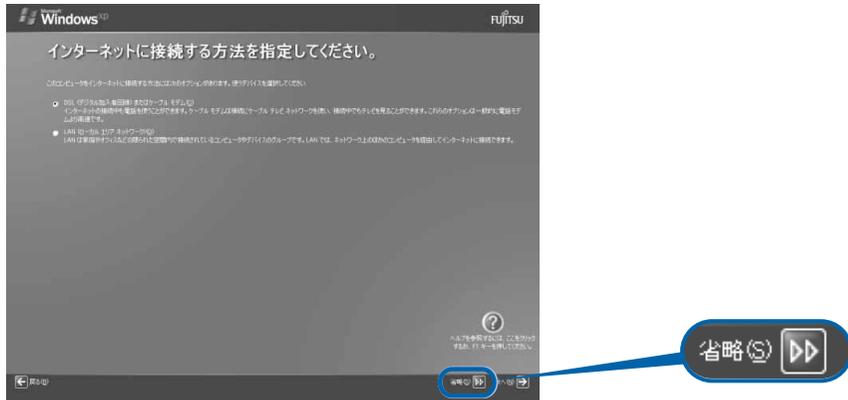
ここでは何も入力しません。管理者パスワードは後から設定できます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。



「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした」という画面が表示されます。

インターネット接続の設定は、Windows のセットアップが終わってから行ってください。

13 「省略」の右の▶▶をクリックします。



または



14 1 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして⊙にし、2 「次へ」の右の▶をクリックします。



POINT

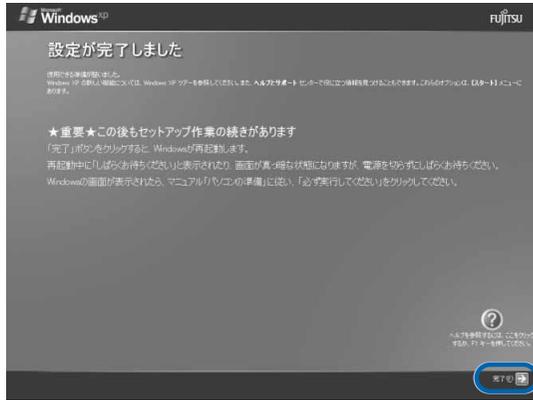
「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「省略」の左の▶▶をクリックすると、手順 15に進みます。

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか?」という画面が表示された場合

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして⊙にし、「次へ」の右の▶をクリックします。

15 画面に表示されているメッセージを確認してから、「完了」の右の▶をクリックします。



パソコンが再起動します。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありませんのでそのままお待ちください。

16 そのまましばらくお待ちください。

パソコンが再起動すると、次のような画面が表示されます。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

続いて、「必ず実行してください」を実行します (●▶P.68)。

POINT

Windows 起動時、または終了時の画面について

Windows 起動時、または終了時に、画面左上が白くぼやけて見えることがあります。これは画面のデザインであり故障ではありません。

電源を切らずに次のページへ

「必ず実行してください」の実行

17 1「スタート」ボタン→2 必ず実行してください の順にクリックします。

必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

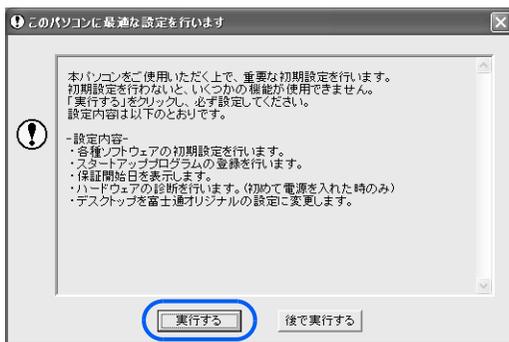


POINT

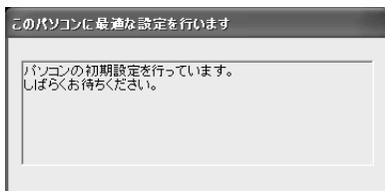
画面にある  (必ず実行してください) をクリックしても実行できます

1. 画面の  をクリックします。
この後は、手順 18 (▶▶P.68) に進んでください。

18 「実行する」をクリックします。



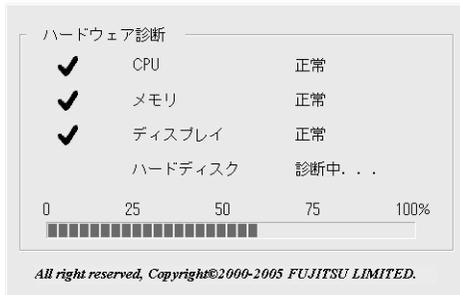
パソコンの初期設定が始まり、次の画面が表示されます。



そのまましばらくお待ちください。手順 19 の画面が表示されます。

19 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 20 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。

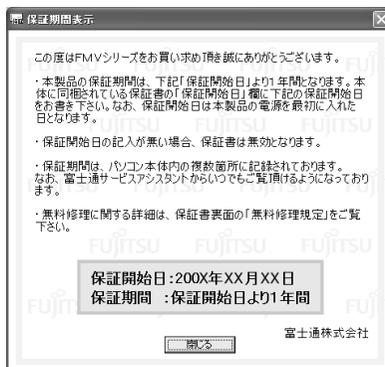


重要

ハードウェア不良の画面が表示された場合

画面の指示に従ってください。

20 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



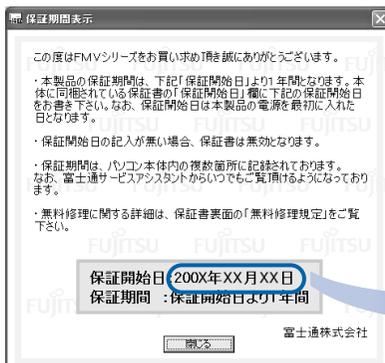
保証書は梱包箱に貼り付けられています。



21 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

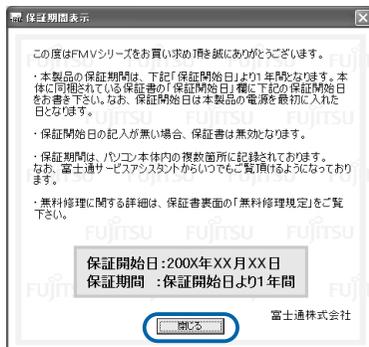
保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。

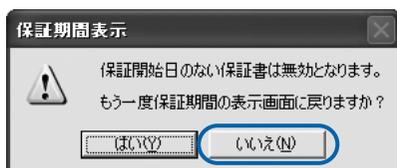


電源を切らずに次のページへ

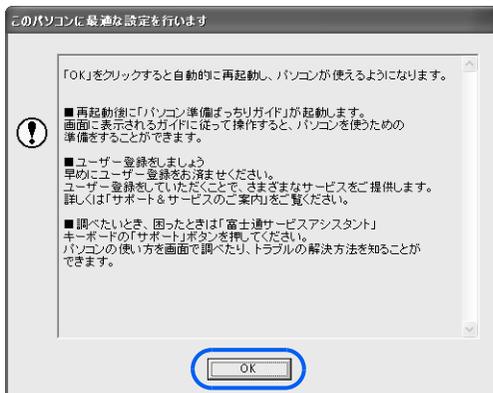
22 「閉じる」をクリックします。



23 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。 もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。



24 「OK」をクリックします。



初期設定には時間がかかります。初期設定中は、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありませんのでそのままお待ちください。

25 画面が表示されたことを確認します。



続いて、「この後行う操作をどちらか選ぶ」へ進みましょう (●▶P.71)。

この後行う操作をどちらか選ぶ

■「パソコン準備ばっちりガイド」について

「パソコン準備ばっちりガイド」は、パソコンを使うための準備として必要な設定やセキュリティ対策の操作を、画面上でしてくれます。このマニュアルを読まずに、画面上の説明を見ながら操作を進めたい場合は、「パソコン準備ばっちりガイド」をご利用ください。画面上の説明に従って操作すると、必要な準備が完了し、パソコンを使い始められる状態になります。

なお、「パソコン準備ばっちりガイド」は、画面での操作に慣れていない方にお勧めします。

26 「パソコン準備ばっちりガイド」を実行するか、実行しないか決めます。

■「パソコン準備ばっちりガイド」を見ながら準備を進める場合

「パソコン準備ばっちりガイド」を見ながら操作を進める場合は、画面上の説明をよく読んでから、「今すぐ実行」をクリックします。



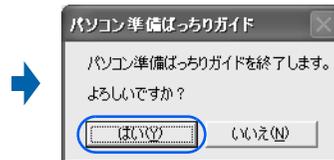
画面に表示された説明に従って、操作を進めてください。

途中で中断することもできます。中断する場合は、説明画面にある「中断」をクリックしてください。また、再開する場合は、画面上の (パソコン準備ばっちりガイド) をクリックしてください。

これ以降、「このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合」(●▶P.110) までの準備の操作は画面の指示に従ってください。

■このマニュアルを見ながら準備を進める場合

引き続きこのマニュアルを見ながら操作を進める場合は、「あとで実行」をクリックし、次の画面で「はい」をクリックします。「パソコン準備ばっちりガイド」を終了します。



続いて、サービスアシスタント (画面で見るマニュアル) の準備をしましょう (●▶P.72)。

3 サービスアシスタント（画面で見るマニュアル）の準備をする

パソコンの操作でわからないことがあるときやパソコンの調子が悪いときには「サービスアシスタント」をご覧ください。「サービスアシスタント」では、画面で見るマニュアルや、サポートに関する情報などをご覧ください。ここでは、サービスアシスタントを起動することで初期設定を行い、使えるように準備します。

1 キーボードのサポートボタンを押します。



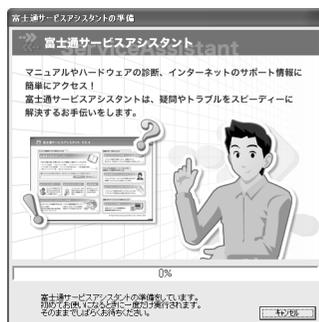
POINT

機種を選択する画面が表示されたときは

別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。
機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（▶▶P.26）をご覧ください。

2 そのまましばらくお待ちください。

サービスアシスタントは初めて起動したときに自動で準備を行うため、起動するまでにしばらく（約5分間）時間がかかります。



4 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

⚠ 注意



・ CD や DVD をセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレイに指などを入れないでください。

けがの原因となることがあります。



・ 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。

電源を切る

ここでは電源の切り方のうち Windows を終了する方法を説明しています。

1 それまで行っていた作業を終了します。

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

🔍 POINT

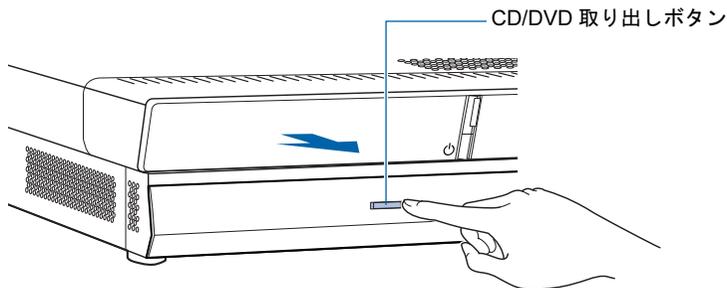
ソフトウェアを終了しなかった場合

ソフトウェアを起動したままでもこれ以降の操作を進められますが、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤動作の原因となるので、あらかじめデータを保存した後、ソフトウェアを終了してください。

2 CD や DVD などがセットされていたら、パソコン本体前面の CD/DVD 取り出しボタンの中央を押して取り出します。

CD や DVD などを取り出したら、パソコン本体前面の CD/DVD 取り出しボタンの中央を押して、トレイを戻します。

■ パソコン本体前面



🔍 POINT

CD や DVD などを入れたままだと

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD などは取り出せません。

3 「スタート」ボタンをクリックします。



(これ以降の画面は、機種や状況により異なります)

4 「終了オプション」をクリックします。



4

次のページへ

5 「電源を切る」をクリックします。



しばらくすると Windows が終了し、パソコン本体の電源ランプが消えます。また、液晶ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します。

POINT

他の方法では電源が切れません

このパソコンは、他の方法では電源が切れません。電源を切る場合は、ここで説明している手順どおりに行ってください。

20.1 型ワイド液晶ディスプレイについて

パソコンの電源を切るとディスプレイは省電力状態になり、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します。このままでも問題ありません。ディスプレイの電源も切りたい場合は、ディスプレイの電源ボタンを押してください。

電源が切れない場合

パソコンが動かなくなり（マウスやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないときは、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。それでも電源が切れないときは、パソコン本体の電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。

電源を切った後、パソコン本体の電源ランプが消えている（電源が切れている）ことを確認してください。電源ランプがオレンジ色に点灯しているときは、スタンバイ状態になっているため電源が切れていません。もう一度電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。

6 パソコンに接続されている機器の電源を切ります。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう (→▶P.77)。

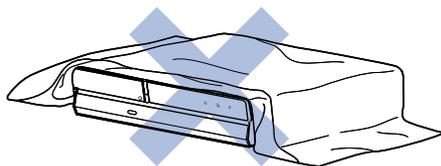
電源を入れる

ここでは電源の入れ方のうち Windows を起動する方法を説明しています。

重要

電源を入れるときの注意

- ・ 電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
- ・ 液晶ディスプレイは、必ずパソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込む前に接続しておいてください。パソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込んだ後にディスプレイを接続すると、正常に動作しないことがあります。
- ・ 液晶ディスプレイの電源ケーブルをコンセントに差し込んだ後に、パソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込んでください。
- ・ パソコンに布などのカバーをかけている場合は、必ずそれらを完全に取り外してから電源を入れてください。パソコンの通風孔などが布などでふさがれたまま使用すると、パソコン内部に熱がこもり、動作不良や本体カバーの変形が起きることがあります。
- ・ 電源を入れた後は、手順 5 の画面が表示されるまでは電源を切らないでください。手順 5 の画面が表示される前に電源を切ると、パソコンの動作が不安定になります。



しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。マウスを動かしたり、キーボードの     や **[Shift]** のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。

1 パソコンに接続されている機器の電源を入れます。

POINT

ディスプレイの電源は入れません

ここでは、ディスプレイの電源は入れません。パソコン本体の電源を入れると、自動的にディスプレイの電源が入ります。

2 電源ケーブルがコンセントに接続されていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。

重要

コンセントに接続すると

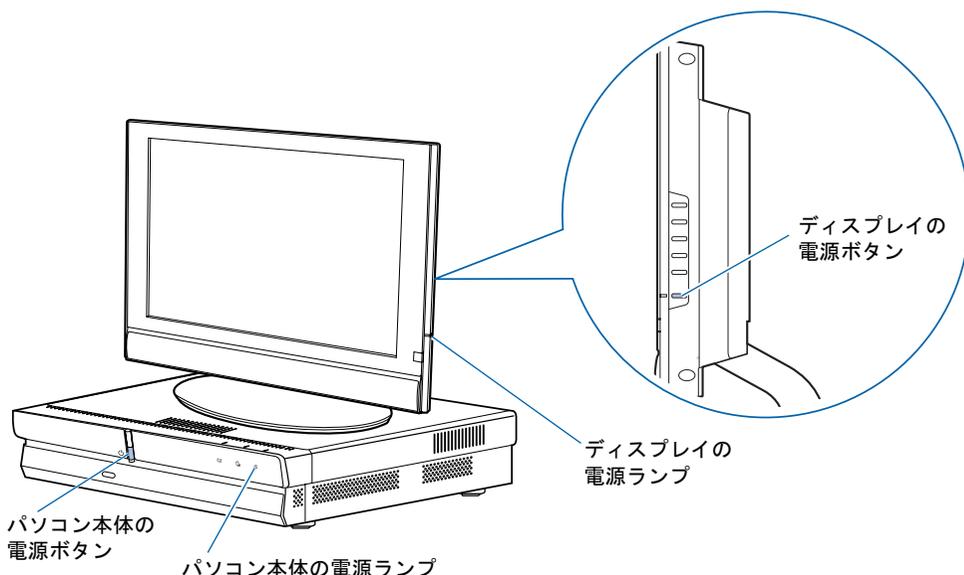
電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

3 ディスプレイの電源ランプが点灯していることを確認します。

ディスプレイの電源ランプが点灯していない場合は、ディスプレイの電源ボタンを押してください。

4 パソコン本体の電源ボタンを押します。

パソコン本体とディスプレイの電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

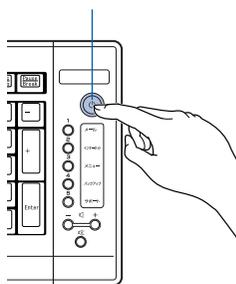


POINT

ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンでも電源を入れることができます

ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンを押しても電源を入れることができます。

パソコン電源ボタン



5 このような画面が表示されたことを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

POINT

Windows が起動しない場合

電源を入れても Windows が起動しないときは、ディスプレイなどが正しく取り付けられているかを確認してください。「接続を確認する」(▶▶P.56)

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源が入らない、画面に何も映らない [DESKPOWER]」をご覧ください。

インターネットに接続する方は、続いて、インターネットを始めるための準備をしましょう (▶▶P.80)。

インターネットに接続しない方は、続いて、ウイルス対策ソフトの設定をしましょう (▶▶P.90)。

5 インターネットを始めるための準備をする

このパソコンでインターネットやオンラインユーザー登録を利用するためには、インターネットに接続するための準備が必要です。

なお、初めてインターネットに接続するときには、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。

初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。初めてインターネットに接続するときには、インターネットの接続設定が終わった後、必ず Windows を最新の状態（▶▶P.82）にし、ウイルス対策（▶▶P.90）を行ってください。

インターネット接続の設定

インターネットの接続方法には、一般的に次の方法があります。

- ・ 一般の電話回線（アナログ）
- ・ ISDN 回線
- ・ ADSL
- ・ 光ファイバー（FTTH）
- ・ ケーブルテレビ（CATV）

それぞれの設定方法については、各プロバイダや回線事業者から提供される書類や、各機器のマニュアルを必ずご覧ください。

また、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「3. インターネット / E メール」→「インターネットに接続するための設定」→「インターネットに接続するまでの流れ」もあわせてご覧ください。

重要

内蔵モデムで長時間インターネットに接続する場合

ソフトウェアを起動したままインターネットに長時間接続していると、パソコンの CPU に高い負荷がかかり、内蔵モデムでの通信が切断される場合があります。このような場合は、ブラウザやメールソフト以外のソフトウェアを終了してからもう一度インターネットに接続してください。

 **POINT****今までお使いになっていたパソコンの設定を移行する場合は**

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、今までお使いになっていたパソコンのインターネットやEメールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。

「PC 乗り換えガイド」を実行すると、お使いになっていたパソコンの情報が上書きされますので、このパソコンに設定などを行う前に実行してください。

「インターネットを始めるための準備をする」の前に「PC 乗り換えガイド」を実行することをお勧めします。詳しくは、「このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合」(●▶P.110)をご覧ください。

続いて、「Windows Update」を実行して Windows を最新の状態にしましょう (●▶P.82)。

6 Windows を最新の状態にする

インターネットに接続できるようになったら、インターネットに接続した状態で「Windows Update」を実行してください。

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるマイクロソフト社が提供するサポート機能です。「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策（パッチをあてると言います）もされます。

「Windows Update」を実行する

ここでは、「Windows Update」の中の重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムを手動でインストールする方法について説明します。

なお、ご購入時の設定では、インターネットに接続しているときに、重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムは自動更新するように設定されています。

重要

「Windows Update」について

「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

POINT

「情報バー」という画面が表示されたら

「OK」をクリックします。

「セキュリティ警告」という画面が表示されたら

「はい」をクリックします。

- 1** インターネットに接続されているか確認してください。ここでインターネットに接続しない方は、「ウイルス対策ソフトの初期設定をする」(▶▶P.90)へ進んでください。

このページ以降、「Windows を最新の状態にする」の操作は必要ありません。

- 2** 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。

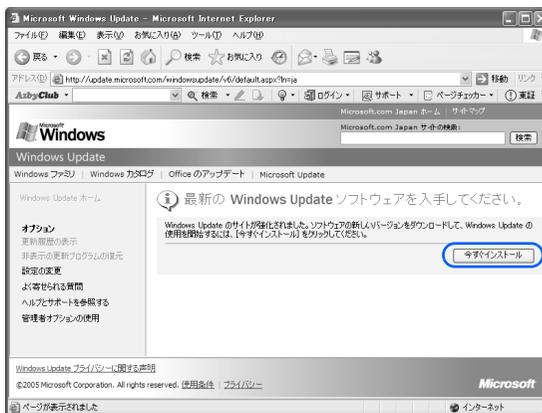
3 「セキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合は、発行元が「Microsoft」になっていることを確認し、「インストールする」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順5に進んでください。



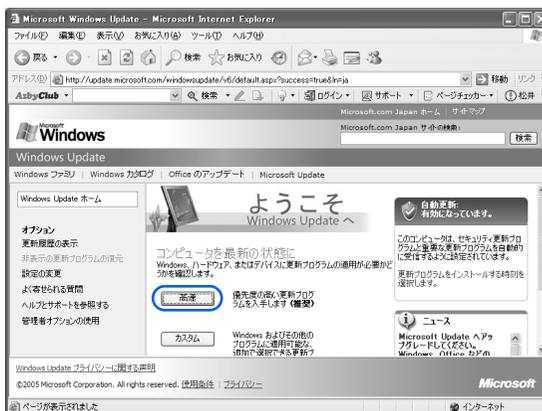
4 「今すぐインストール」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順5に進んでください。



5 「高速」をクリックします。

パソコンの状態をチェックし、更新プログラムの一覧を表示します。

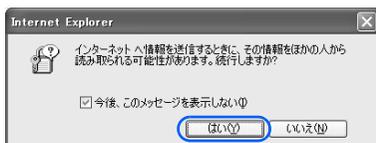


POINT

「Microsoft Update」について

「Microsoft Update」は、Windows や「Word 2003」、「Excel 2003」などのマイクロソフト社が提供するソフトウェアの更新プログラムを一度に入手できるサポート機能です。「Microsoft Update」を利用するには、マイクロソフト社のホームページから専用のソフトウェアをインストールする必要があります。なお、専用のソフトウェアをインストールした後は、マイクロソフト社の更新サービスが「Microsoft Update」に統合されるため、このマニュアルで説明している「Windows Update」および「Office のアップデート」はご利用いただけなくなります。Windows や「Word 2003」、「Excel 2003」などの更新には、「Microsoft Update」をご利用ください。詳しくは、「Windows Update」のホームページにあるリンクをクリックし、「Microsoft Update」のホームページをご覧ください。

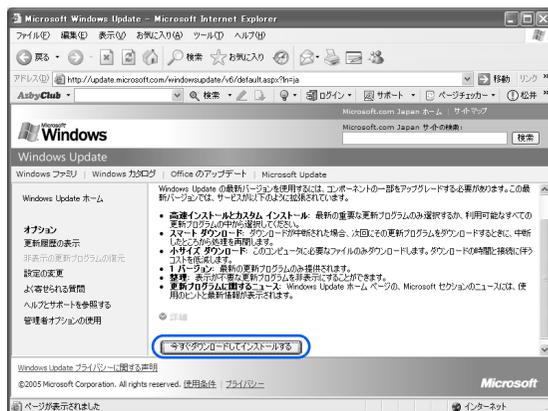
6 「はい」をクリックします。



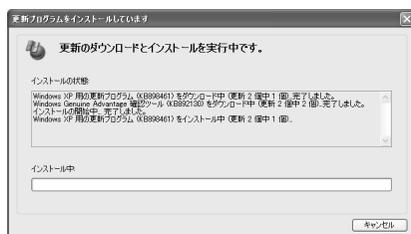
「今後、このメッセージを表示しない」がになっていると、次に「Windows Update」を実行するときには表示されなくなります。

7 「今すぐダウンロードしてインストールする」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 8 に進んでください。



8 更新プログラムのインストールが始まります。この後は、表示される画面に従って操作してください。



POINT

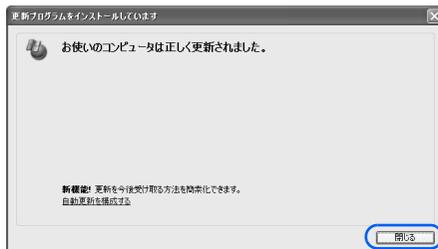
しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの (↑) (↓) (←) (→) や (Shift) のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。

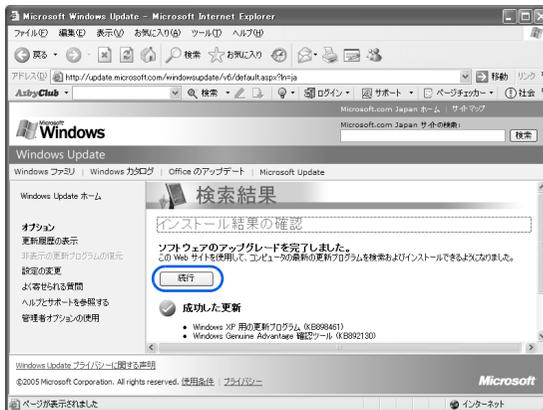
スクリーンセーバーから戻ったときは、そのとき表示されていた画面に背景（壁紙）が変わります。

9 「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックします。

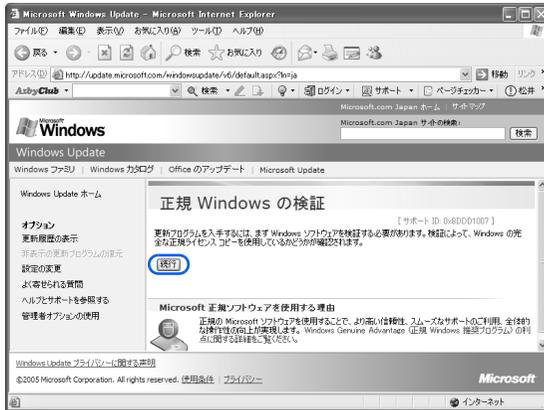


10 「続行」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 11 に進んでください。



11 「続行」をクリックします。

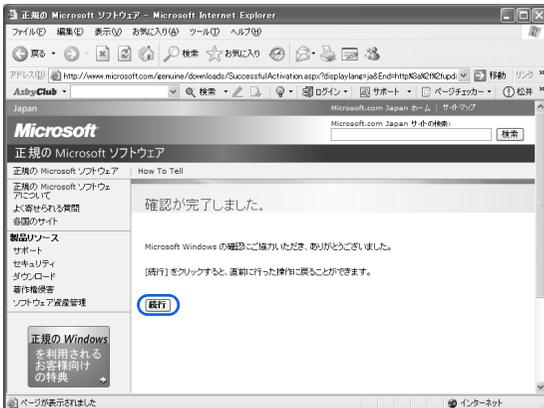


12 「セキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合は、発行元が「Microsoft」になっていることを確認し、「インストールする」をクリックします。

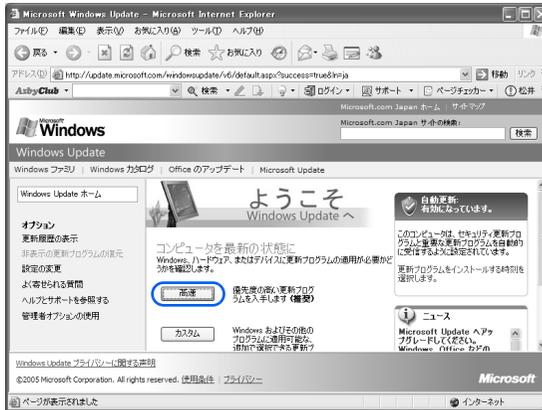


13 「お使いのコンピュータの確認」の画面で「続行」をクリックします。 この画面が表示されなかった場合は、手順 14 に進んでください。

14 「続行」をクリックします。

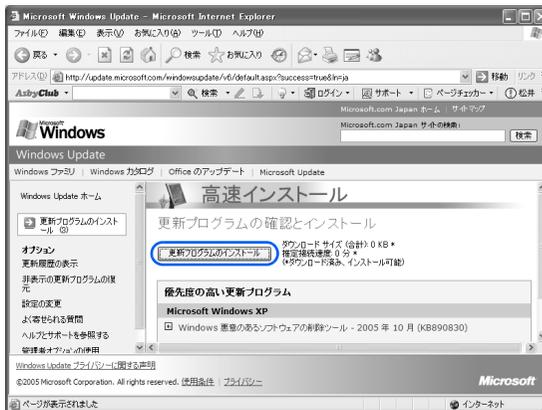


15 「高速」をクリックします。



16 優先度の高い更新プログラムの一覧が表示されたら、「更新プログラムのインストール」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 17 に進んでください。



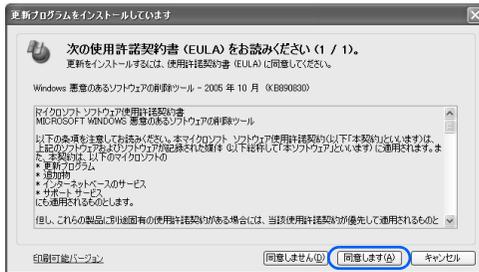
POINT

「お使いのコンピュータに該当する優先度の高い更新プログラムは存在しません」と表示されたら

現在公開されている優先度の高い更新プログラムはすべて適用されていますので、この後の手順は必要ありません。「Internet Explorer」の **X** をクリックして終了します。

17 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、「同意します」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 18 に進みます。



18 更新プログラムのインストールが始まります。この後は、表示される画面に従って操作してください。



POINT

しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの **(↑)** **(↓)** **(←)** **(→)** や **(Shift)** のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。

スクリーンセーバーから戻ったときは、そのとき表示されていた画面に背景（壁紙）が変わります。

19 「更新を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。



Windows が再起動します。

 **POINT****「今すぐ再起動」のボタンがない場合**

再起動の必要はありません。

「閉じる」をクリックし、「Internet Explorer」のをクリックします。

ダイヤルアップ接続の方は、「Internet Explorer」を閉じた後、「自動切断」ウィンドウで「今すぐ切断する」をクリックします。

回線が切断され、画面右下の通知領域からが消えます。

画面右下の通知領域のが消えないときは、を右クリックして、「切断」をクリックします。

Windows が再起動したら「Windows Update」は終了です。

今後もいつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。「Windows Update」などのセキュリティ対策を心がけましょう。詳しくは『FMV 活用ガイド』→「セキュリティ対策をする」→「セキュリティ対策」をご覧ください。

続いて、ウイルス対策ソフトの初期設定をしましょう (▶▶P.90)。

7 ウイルス対策ソフトの初期設定をする

「Windows Update」を実行したら、インターネットに接続した状態でウイルス対策ソフトの初期設定を行ってください。また、インターネットに接続しない場合も、データによる感染を防ぐため、ウイルス対策ソフトの初期設定をすることをお勧めします。

このパソコンには、「Norton AntiVirus」というウイルス対策ソフトが用意されています。「Norton AntiVirus」は、パソコンをコンピュータウイルスから守るためのソフトウェアです。インターネットに接続している場合、ウイルスを発見し駆除するウイルス定義ファイルは、常に最新のものに更新できるので、次々と現れる新種のウイルスにも威力を発揮します。

「Norton AntiVirus」の初期設定

ここでは、「Norton AntiVirus」の初期設定を行います。

「Norton AntiVirus」の初期設定が終わらないと、ウイルスや不正アクセスからパソコンを保護することができません。必ずこのマニュアルの手順どおりに進めてください。

POINT

他のウイルス対策ソフトをお使いになる場合や、すでに「Norton AntiVirus」のライセンスをお持ちの場合

他のウイルス対策ソフトをインストールする場合や、すでに「Norton AntiVirus」のライセンスがあり、「Norton AntiVirus」をインストールし直す場合は、ご購入時にインストールされている「Norton AntiVirus」を事前に削除（アンインストール）してください。削除しないと、パソコンが正常に動作しないなどの不具合が発生する場合があります。

また、削除する場合は、☎（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「2. セキュリティ対策」→「インターネット／ネットワークのセキュリティ対策」→「ウイルス／ワーム対策（Norton AntiVirus）」→「「Norton AntiVirus」を使うときの注意」もあわせてご覧ください。

1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Norton AntiVirus」→「Norton AntiVirus」をクリックします。

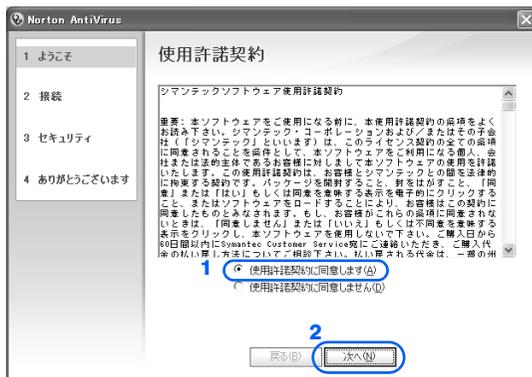
「Norton AntiVirus」画面が表示されます。

2 「次へ」をクリックします。

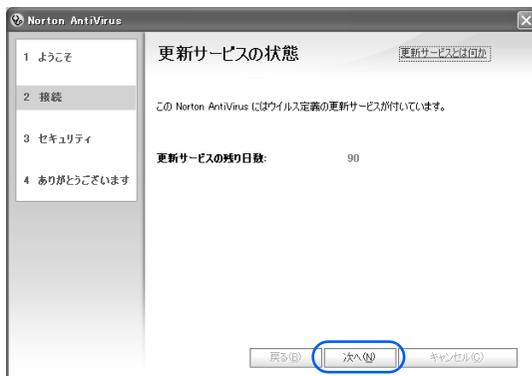


(これ以降の画面は状況により異なります)

3 1 使用許諾契約の内容をご覧になり、「使用許諾契約に同意します」をクリックして にし、2 「次へ」をクリックします。

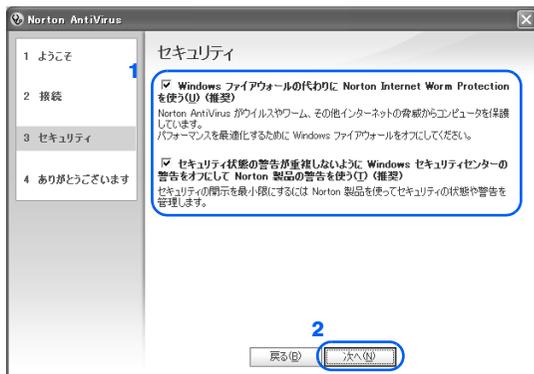


4 Norton AntiVirus 更新サービスの有効期限を確認し、「次へ」をクリックします。



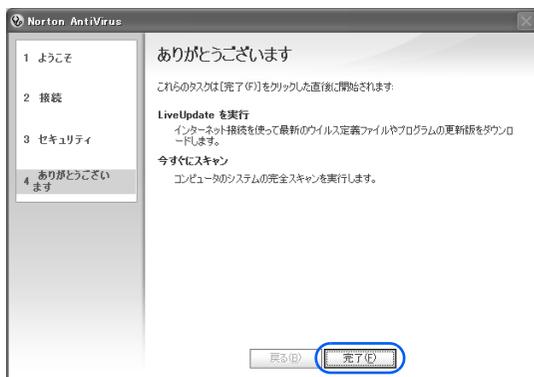
5 1 すべてのチェックボックスがになっていることを確認し、2 「次へ」をクリックします。

になっている場合は、をクリックしてにしてください。



次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

6 「完了」をクリックします。



「LiveUpdate」画面が表示されます。

7 インターネットに接続している場合は、次の「インターネットに接続している場合」(▶P.93)に進んでください。インターネットに接続していない場合は、「インターネットに接続していない場合」(▶P.97)に進んでください。

インターネットに接続している場合

「Norton AntiVirus」の初期設定の手順6（▶P.92）の続きです。

1 「次へ」をクリックします。



最新のウイルス定義ファイルを検索します。次の画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。

2 「次へ」をクリックします。

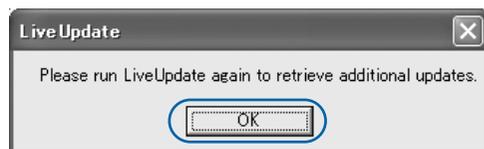


更新されたソフトウェアや最新のウイルス定義ファイルのインストールが始まります。次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

POINT

「Please run LiveUpdate again to retrieve additional updates.」という画面が表示されたら

次の画面が表示されたら、「OK」をクリックしてください。



3 「完了」をクリックします。



4 パソコンがウイルスに感染していないかチェックするために「Norton AntiVirus」のウイルススキャンが自動的に始まります。

Windows の再起動を要求する画面が表示されたら、メッセージに従って、再起動してください。

再起動後、ウイルススキャンが自動的に始まります。

ウイルススキャンが完了するまでにかかなり時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。



POINT

「コンピュータセキュリティを監視しているのは」という画面が表示されたら 次の画面が表示されたら、1 になっていることを確認し、2 「OK」をクリックします。
 になっている場合は、 をクリックして にしてください。



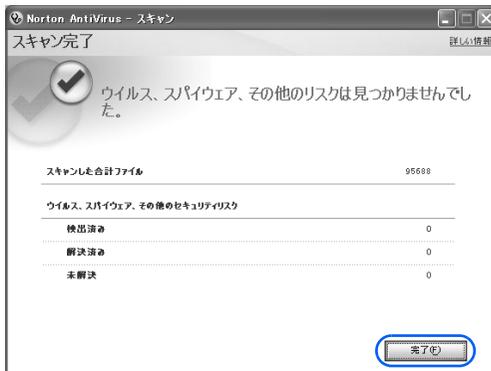
しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの **(↑)** **(↓)** **(←)** **(→)** や **(Shift)** のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。

スクリーンセーバーから戻ったときは、そのとき表示されていた画面に背景（壁紙）が変わります。

5 「完了」をクリックします。



6 「Norton AntiVirus」画面右側の「有効にする」をクリックします。



自動 LiveUpdate がオンになります。

このほかにも、表示されている項目で「オフ」になっているものがある場合には、項目名をクリックして「有効にする」をクリックし、項目を「オン」にしてください。

7 「Norton AntiVirus」画面の右上にある をクリックします。



「Norton AntiVirus」画面が閉じます。

これでウイルス対策ソフトの初期設定が完了しました。

初期設定が完了すると画面右下の通知領域にあるアイコンが次のようになります。

- ・  (Norton AntiVirus) のアイコンが、 になります。
- ・  (Norton Protection Center) のアイコンが、表示されます。

続いて「お問い合わせ先」(▶▶P.99)へ進んでください。

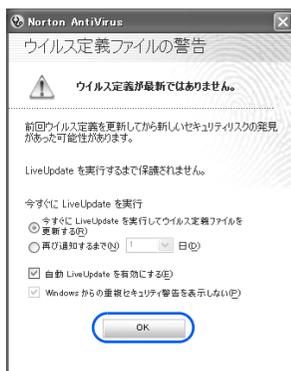
インターネットに接続していない場合

「Norton AntiVirus」の初期設定」の手順6（▶P.92）の続きです。

1 「キャンセル」をクリックします。



2 「OK」をクリックします。



3 手順 1 の画面が再び表示されたら「キャンセル」をクリックします。ウイルススキャンが始まります。



4 「完了」をクリックします。



5 「Norton AntiVirus」画面が表示されたら画面右上にある をクリックします。



インターネットに接続していない場合、ウイルス定義を最新にできないため、「ウイルス定義が最新ではありません」と表示されます。このままでも今まで発見されたウイルスからパソコンを守ることができますが、今後もしつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。最新のウイルスからパソコンを守るためには、インターネットに接続してウイルス定義を最新にすることをお勧めします。

POINT

「注意が必要」が表示されたら

インターネットに接続し、ウイルス定義を最新の状態に更新する場合は、「今すぐに解決」をクリックします。更新しない場合は、「閉じる」をクリックします。



これでウイルス対策ソフトの初期設定が完了しました。初期設定が完了すると画面右下の通知領域にあるアイコンが次のように変わります。

-  (Norton AntiVirus) のアイコンが、 になります。

- ・  (Norton Protection Center) のアイコンは変わりません (LiveUpdate を行い、ウイルス定義を最新の状態にすれば  になります)。

今後もいつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。ウイルス対策ソフト「Norton AntiVirus」の「ウイルス定義ファイルの更新」などのセキュリティ対策を心がけましょう。セキュリティ対策については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「2. セキュリティ対策」→「インターネット/ネットワークのセキュリティ対策」→「ウイルス/ワーム対策 (Norton AntiVirus)」→「ウイルス定義ファイルをアップデートする」をご覧ください。

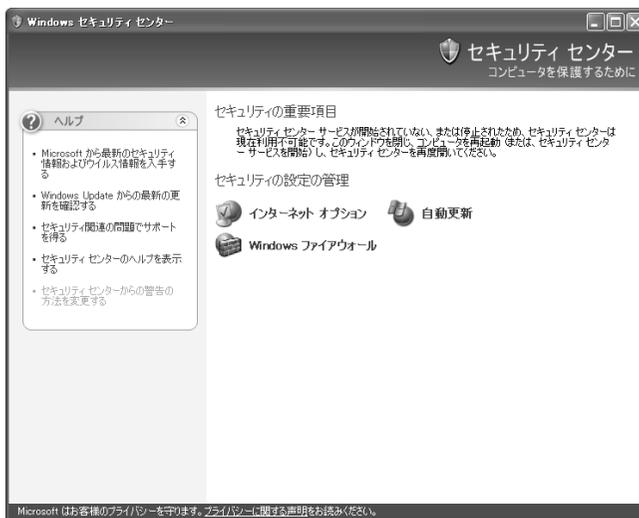
お問い合わせ先

「Norton AntiVirus」については、株式会社シマンテックにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、『サポート&サービスのご案内』→「ソフトウェアについて困ったときは」→「ソフトウェアのお問い合わせ先一覧」をご覧ください。

「Norton Protection Center」と「Windows セキュリティセンター」の関係について

「Norton AntiVirus」の初期設定をすると、セキュリティの設定は、「Windows セキュリティセンター」に代わって、「Norton Protection Center」が監視します。

Windows セキュリティセンターは、「Norton AntiVirus」の初期設定をする前から、このような状態になっていますが、自動更新などの個別機能は働いています。



「Norton Protection Center」については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「2. セキュリティ対策」→「インターネット/ネットワークのセキュリティ対策」→「ウイルス/ワーム対策 (Norton AntiVirus)」→「Norton Protection Center」について」をご覧ください。

「Norton Internet Security」について

このパソコンには「Norton AntiVirus」だけでなく、「Norton Internet Security」というセキュリティ対策ソフトがあります。ご使用になる前には 『FMV 活用ガイド』→「セキュリティ対策をする」→「セキュリティ対策」→「ウイルス対策ソフト」をご覧ください。

ご使用になる前に、注意していただきたいことや確認していただきたいことを紹介しています。

インターネットに接続するには続いて、パソコンを最新の状態にしましょう (●▶P.100)。インターネットに接続しない方は、パソコンの状態を保存しましょう (●▶P.103)。

8 FMV を最新の状態にする

ウイルス対策ソフトの初期設定が完了したら FMV を最新の状態にします。
このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、弊社では改善に努めています。

パソコンをよりお勧めの状態に整える「アップデートナビ」というサポート機能をご利用ください。

「アップデートナビ」では、インターネットを経由して、弊社が推奨する最新情報を確認し、お使いのパソコンを、より安定して動作するお勧めの状態にします。

POINT

ブロードバンド環境でのご利用を推奨します

インターネットを利用して更新情報を確認するので、ブロードバンドの環境でお使いになることを強く推奨します。

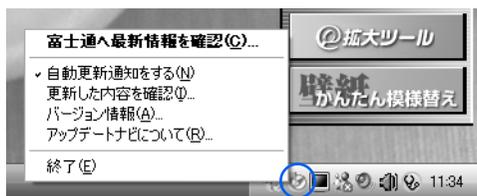
推奨環境以外でご利用になるとソフトウェアの規模によっては、最新の状態へ更新する作業に多くの時間を必要とする場合があります。

「アップデートナビ」を実行する

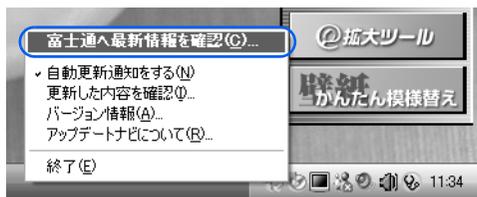
- 1 インターネットに接続されているか確認してください。ここでインターネットに接続しない方は、パソコンの状態を保存する（マイリカバリ）（[P.103](#)）へ進んでください。

このページ以降、（[P.102](#)）までの操作は必要ありません。

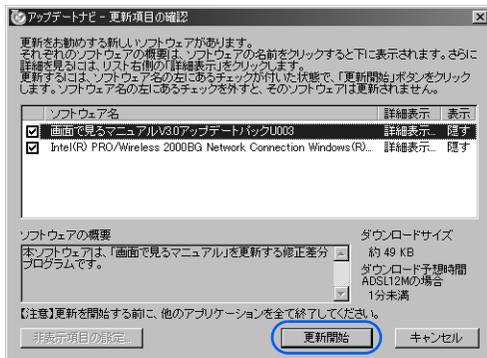
- 2 画面右下の通知領域にある  を右クリックします。



- 3 「富士通へ最新情報を確認」をクリックします。



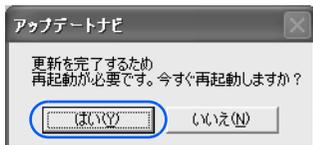
6 「更新開始」をクリックします。



更新情報が自動的にダウンロードされ、インストールされます。

7 パソコンの再起動を要求するメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。

表示されない場合は、これで更新は完了です。



パソコンが再起動し、更新が完了します。

「アップデートナビ」は、通常では自動的にインターネット上の情報をチェックし、更新情報があると、メッセージを表示します。今後、画面右下の通知領域に「アップデートナビ」のメッセージが表示されたら、通知領域のをクリックし、画面の指示に従ってください。詳しくは、『FMV 活用ガイド』→「基本的な使い方を覚えよう」→「FMV を最新の状態にする」→「アップデートナビ」をご覧ください。

続いて、パソコンの状態を保存（マイリカバリ）しましょう（*▶P.103）。

9 パソコンの状態を保存する（マイリカバリ）

FMV を最新の状態にしたらパソコンの状態を保存します。

今まで設定したパソコンの状態を「マイリカバリ」を使って保存しておくとし、いざというときに復元できるので安心です。

また、「マイリカバリ」は何度でも実行できます。例えば、メールの設定を変更したり、新しいソフトウェアを追加や設定した場合など、その時点の状態を保存しておくことをお勧めします。

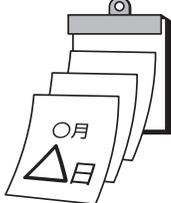
1 ○月△日 いろいろな設定をする



2 「マイリカバリ」でディスクイメージを作成



3 ◎日後…



4 トラブル発生!



でも

5 いざというときに備えてディスクイメージを作っておいたので…



6 「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ってリカバリをする

○月△日に行ったいろいろな設定をした時点の状態に戻すことができます。

「マイリカバリ」の使い方は、📖『FMV 活用ガイド』→「「マイリカバリ」を使おう」→「「マイリカバリ」を使う」をご覧ください。

10 ユーザー登録をする

お客様の情報、およびご購入いただいた FMV の機種情報を登録していただくことでお客様 1 人 1 人に、よりきめ細かなサポート・サービスをご提供いたします。できるだけ早く、ユーザー登録をすることをお勧めします。
詳しくは、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

ユーザー登録をするとご利用になれるサービス

ユーザー登録をすると、お客様専用の「ユーザー登録番号」と「パスワード」が発行されます。また、自動的に「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub (アズビィクラブ)」の会員としても登録され、次のようなサービスをご利用いただけます。

AzbyClub とは、お客様に FMV を快適にご利用いただくための会員組織です。入会金、年会費は無料です (2 年目以降も無料)。

■ マイページ (<http://azby.fmworld.net/>)

お客様がお使いのパソコンに関する情報や、サポートおよび使いこなし情報が満載です。また、会員向けの優待販売やお得なキャンペーン情報もご紹介します。

■ 技術相談窓口 Azby テクニカルセンター

AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。電話や E メールによるサポートをご利用いただけます。サポートツール「サービスアシスタント」、紙のマニュアル、ホームページで確認しても、問題が解決できない場合、技術相談を受けられます。

■ AzbyClub メール配信サービス

お客様がお持ちのメールアドレスを AzbyClub に登録していただくと、お役立ち情報満載の「AzbyClub メール配信サービス」をご利用いただけます。

■ AzbyClub ポイントサービス

AzbyClub 会員専用のポイントサービスです。マイページ (<http://azby.fmworld.net/>) の「優待販売」や「富士通ショッピングサイト WEB MART」でご利用いただけます。

■ AzbyClub カード

ユーザー登録番号 (AzbyClub 会員番号) が刻印された、お得な特典いっぱいのカードです。入会費・年会費ともに無料です。

パソコンの画面上でユーザー登録する

パソコンの画面上でユーザー登録を行う方法には、次の2種類があります。
ユーザー登録をする方法については、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

■ ホームページからのユーザー登録

インターネットのFMVユーザー登録専用のホームページからユーザー登録を行います。
インターネットに接続できる環境が必要です。

■ 専用プログラムによるユーザー登録

「FMVユーザー登録」というユーザー登録専用プログラムでユーザー登録を行います。
電話回線を使って通信します。

POINT

ユーザー登録番号やパスワードを忘れてしまったら

マイページでユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行ができます。
ユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行の方法については、『サポート&サービスのご案内』→
「FMVユーザー登録をする」→「ユーザー登録番号やパスワードを忘れたときには」をご覧ください。

11 使いたい機能の準備をする

ここまでの準備が完了したら、目的に合わせて使いたい機能の準備をしてください。

Media Center をお使いになる場合

パソコンの準備が完了して、Media Center をお使いになる場合は、Media Center のセットアップ作業が必要です。「Media Center を使うための準備をする」(●▶P.111) をご覧になり、Media Center のセットアップを行ってください。

退席中モードをお使いになる場合

このパソコンは、インテル® ViiV™ テクノロジーに対応しているので、「退席中モード」をお使いになることができます。退席中モードとは、Windows を起動している状態で、画面の表示や音の出力を停止するモードのことです。

例えば、少し席を外したいとき、DVD に書き込みを行っているとき、またはテレビ番組を録画しているときなどに、画面の表示や音を消す場合に使用します。

退席中モードにする方法

- ・ パソコン本体の電源ボタンを押す
- ・ リモコンの電源ボタンを押す
- ・ ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンを押す

退席中モードになると、画面の表示が消え、音の出力が停止し、パソコン本体の電源ランプがオレンジ色に変わります。

また、ハードディスクや CD/DVD ドライブのデータを読み込んだり書き込んだりしている場合も、ハードディスク / CD アクセスランプが点滅しなくなります。

重要

電源ボタンは押し続けしないでください

パソコン本体の電源ボタンやキーボードのパソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、Windows などの正常な終了処理ができないまま、強制的に電源が切れてしまいます。

POINT

Windows の起動直後などは、退席中モードにならないことがあります

退席中モードにならなかった場合は、しばらく待ってから、再度退席中モードにしてください。

退席中モードから復帰する方法

- ・ パソコン本体の電源ボタンを押す
- ・ リモコンの電源ボタンを押す
- ・ ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンを押す
- ・ ワイヤレスキーボードの     や **(Shift)** を押す
- ・ マウスのボタンを押す

しばらくすると、パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯し、再び画面が表示されます。

重要

電源ボタンは押し続けしないでください

パソコン本体の電源ボタンやキーボードのパソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、Windows などの正常な終了処理ができないまま、強制的に電源が切れてしまいます。

退席中モードにしているときの注意

- ・ 退席中モードにしているときも Windows は動作しています。退席中モードにする前に、必要に応じてテレビや DVD などの視聴を停止したり、ソフトウェアを終了してください。また、作成中のデータなどは保存してください。
- ・ 退席中モードにしているときは、キーボードやリモコンのボタンを押さないでください。押したボタンによっては、パソコンの設定が変わることがあります。
- ・ 退席中モードにしているときは、CD/DVD 取り出しボタンを押さないでください。
- ・ 退席中モードは、少しの間席を外すときなどにご利用ください。長時間パソコンを使わない場合は、電源を切るかスタンバイや休止状態にしてください。

退席中モードの設定画面については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「省電力機能」→「退席中モードの設定を変更する」をご覧ください。

CPU の動作モードを設定したい場合

このパソコンご購入時の設定では、静音性に配慮し、高温・高負荷時の CPU のパフォーマンスを制限しています。CPU のパフォーマンスを常時最大にするためには、設定を変更する必要があります。ただし、設定を変更した場合、このパソコンをお使いになる環境等によっては、稼働音が大きくなることがあります。

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「CPU 制御」→「CPU の動作モードを切り替える」をご覧ください。

12 準備が完了したら

ここまでの作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

パソコンの準備はすべて完了していますか？

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

なお、インターネットに接続しない場合、7、8、10 は必要ありません。

- 1 「機種名を確認してください」 (●▶P.26)**
お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。
- 2 「使用上のお願い」 (●▶P.27)**
このパソコンの取り扱いにあたっての大切な注意事項です。確認してください。
- 3 「接続する」 (●▶P.37)**
必要な機器が取り付けられているか、確認してください。
- 4 「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」 (●▶P.57)**
初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。
- 5 サービスアシスタント (画面で見るマニュアル) の初期設定をする (●▶P.72)**
画面で見るマニュアルや、サポートに関する情報をご覧いただくために、サービスアシスタントの初期設定をしてください。
- 6 「電源の切り方と入れ方」 (●▶P.74)**
必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。
- 7 「インターネットを始めるための準備をする」 (●▶P.80)**
お客様の環境にあった接続方法を選択して接続してください。
- 8 「Windows を最新の状態にする」 (●▶P.82)**
「Windows Update」を実行し、Windows を最新の状態にしてください。
- 9 「ウイルス対策ソフトの初期設定をする」 (●▶P.90)**
ウイルス対策ソフトの初期設定をして、セキュリティ対策を行ってください。
- 10 FMV を最新の状態にする (●▶P.100)**
「アップデートナビ」を実行し、FMV を最新の状態にしてください。
- 11 「パソコンの状態を保存する (マイリカバリ)」 (●▶P.103)**
今まで設定したパソコンの状態を「マイリカバリ」を使って保存します。
- 12 「ユーザー登録をする」 (●▶P.104)**
パソコンの画面上でユーザー登録を行います。
- 13 「使いたい機能の準備をする」 (●▶P.106)**
目的に合わせて使いたい機能の準備をしてください。

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』へ

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』をお読みください。『FMV 活用ガイド』では、パソコンをお使いになる前に確認していただきたいこと、覚えておくと便利なこと、情報の探し方やトラブルの対処法など、FMV を活用するためのさまざまな情報を紹介しています。

『FMV 活用ガイド』の主な内容

第1章 準備が完了したことを確認しよう

パソコンの準備がすべて完了しているか、この章で再度確認します。

第2章 基本的な使い方を覚えよう

パソコンの基本操作、ホームページの見かたやEメールの基本操作がわかります。また、FMV を最新の状態にする方法も紹介しています。

第3章 セキュリティ対策をする

ウイルスなどからパソコンを守るセキュリティ対策について紹介しています。

第4章 「マイリカバリ」を使おう

Windows やソフトウェアをご購入時の状態に戻す代わりに、あらかじめ自分で保存しておいた時点の状態に戻す方法を説明しています。

第5章 バックアップで大切なデータを守る

大切なデータの予備をとる（バックアップする）方法について説明しています。

第6章 FMV のおすすめ活用法

FMV に搭載されているソフトウェアを使ってできる、楽しい活用法を紹介しています。

第7章 パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

パソコンを使いこなすための情報がある、「画面で見るマニュアル」の使い方や調べ方を紹介しています。

第8章 トラブルかなと思ったら（Q&A）

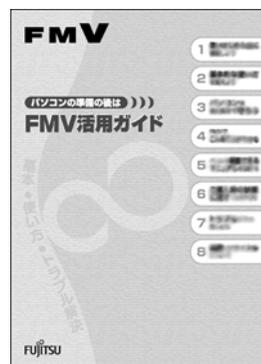
電源が入らないトラブル・画面が表示できないトラブルを中心に、パソコンを使っていて困ったときの対処法を説明しています。

第9章 パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

ハードディスクを初期状態に戻し、Windows やソフトウェアをご購入時の状態に戻す方法を説明しています。

第10章 廃棄・リサイクルについて

このパソコンや使用済み乾電池・バッテリーを廃棄するときの注意事項などが書かれています。また、破棄する前に、ハードディスクのデータを消去する方法も説明しています。



このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、インターネットや E メールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。

このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行するときにお使いください。

使用上の注意

「PC 乗換ガイド」をお使いになる場合には、次の点にご注意ください。

- ・今までお使いになっていたパソコンが、次の OS の場合のみお使いいただけます。
 - Microsoft® Windows® XP Home Edition
 - Microsoft® Windows® XP Professional
 - Microsoft® Windows® 2000 Professional
 - Microsoft® Windows® Millennium Edition
 - Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION
- ・「PC 乗換ガイド」を実行すると、このパソコンに設定した情報やデータに、お使いになっていたパソコンの情報が上書きされます。

「PC 乗換ガイド」は、このパソコンに設定などを行う前に実行してください。

「インターネットを始めるための準備をする」(●▶P.80)の前に、「PC 乗換ガイド」を実行されることをお勧めします。

「PC 乗換ガイド」の起動

1 「@メニュー」を起動します。

次のいずれかの操作で起動できます。

- ・キーボードの「メニュー」ボタンを押す。
- ・「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックする。

2 「@メニュー」上部の「名前でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「安心・サポート」をクリックします。

3 「PC 乗換ガイド」をクリックします。

4 これ以降は、画面の指示に従って操作してください。

続いて、Media Center を使うための準備をしましょう (●▶P.111)。

5

第 5 章

Media Center を使うための準備をする

初めて Media Center を使うときに行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

1	Media Center の準備	112
2	Media Center の起動／終了方法	143
3	Media Center の画面	144
4	各メニューの説明	146

1 Media Center の準備

Media Center をお使いになるために必要な準備について説明します。

リモコンの基本機能

Media Center のセットアップはリモコンを使って行います。
ここでは、リモコンの基本的なボタンについて説明します。

マイミュージックボタン

→「マイミュージック」のメニュー画面を表示します。

マイテレビボタン

→「マイテレビ」のメニュー画面を表示します。

戻るボタン

→操作を1つ前に戻します。

カーソルボタン

→カーソルの位置を、それぞれの方向に移動します。日本語入力時に下カーソルボタンを押すと、文字変換します。

スタートボタン

→ Media Center を起動します。
Media Center が既に起動している場合は、Media Center のメインメニューを表示します。

テレビ録画ボタン

→録画したテレビ番組の一覧を表示します。

番組ガイドボタン

→番組ガイドを表示します。

テンキー／文字入力ボタン

→数字や文字の入力をします。

クリアボタン

→入力した数字や文字を1文字ずつ消します。

電源ボタン

→パソコンを退席中モードにします。
もう1度押すと元の状態に戻ります。

マイピクチャボタン

→「マイピクチャ」のメニュー画面を表示します。

マイビデオボタン

→「マイビデオ」のメニュー画面を表示します。

情報ボタン

→再生中のDVD-VIDEO や音楽 CD、録画した映像の情報を表示します。

決定ボタン

→カーソル位置の項目を選択または実行します。

チャンネル／ページボタン

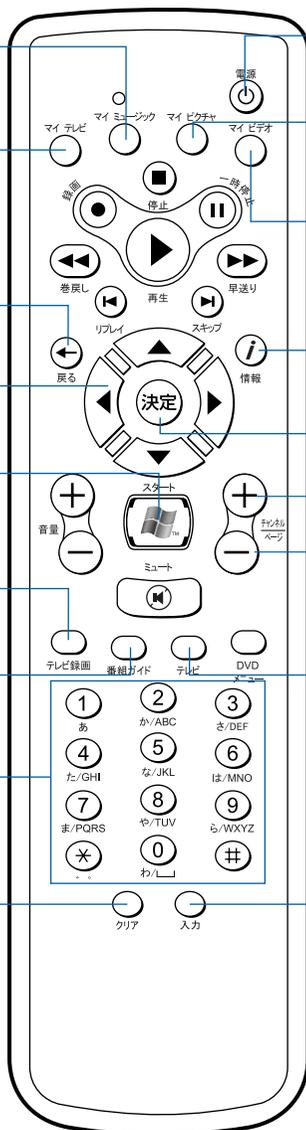
→チャンネルを切り換えます。
日本語入力時は、入力モードを切り換えます。

テレビボタン

→最後に見ていたチャンネルで、現在放送中のテレビ番組を全画面表示します。

入力ボタン

→入力した数字や文字を確認します。



詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：リモコン」をご覧ください。

テレビを見る準備をする

ここでは、テレビなどの映像を見たり、音声を聞いたりするために、ビデオケーブル、S端子ケーブルまたは音声ケーブルをパソコン本体に接続する方法について説明します。

⚠ 警告



- ・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。

ご利用のテレビ放送の種類、接続形態により、ケーブルの接続方法が異なります。次の表をご覧ください。ケーブルの接続方法を確認してください。接続形態がわからない場合は、映像機器のマニュアルをご覧ください。

放送の種類	セットトップボックス	接続形態	ケーブル接続方法
地上アナログ	—	アンテナケーブル	「アンテナケーブルを接続する」(●▶P.44)をご覧ください。
CATV (ケーブルテレビ)	なし	アンテナケーブル	「アンテナケーブルを接続する」(●▶P.44)をご覧ください。
CATV (ケーブルテレビ)	あり	アンテナケーブル	「アンテナケーブルを接続する」(●▶P.44)をご覧ください。
CATV (ケーブルテレビ)	あり	ビデオケーブルまたはS端子ケーブル	「ビデオケーブルまたはS端子ケーブルを接続する」(●▶P.114)をご覧ください。

CATV をご利用の方で、音声ケーブルを接続する場合は、「音声ケーブルを接続する」(●▶P.116) もあわせてご覧ください。

👉 重要

アンテナケーブルを接続するときはパソコンの電源を切ってください

パソコンの電源を切ってから、アンテナケーブルを接続してください。

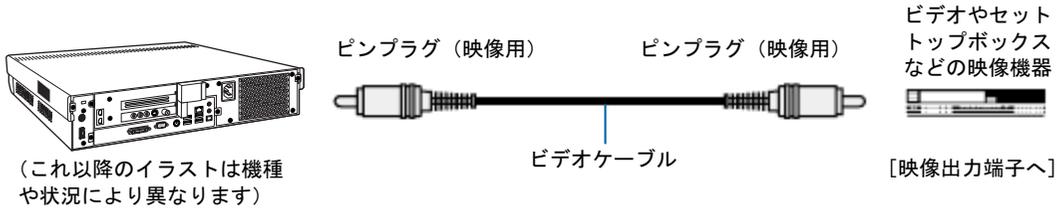
外部映像機器からの映像入力を、表示および録画できない場合があります

- ・Media Center はコピーガード機能として、マクロビジョン方式、CGMS-A 方式に対応しています。市販、レンタル、放送などのコンテンツ（映画やドラマなど）のうち著作権保護されているものや、一部のビデオ機器のメニュー画面や操作画面等でコピーガード機能が働いているものは、表示および録画することはできません。また、コピーガード機能（マクロビジョン方式、CGMS-A 方式）に対応していない機器で録画した映像を入力した場合や、劣化したビデオテープの映像を入力した場合、コピーガード情報として検出され、映像の表示や録画ができないことがあります。
- ・BS/CS/地上デジタル放送などのデジタル放送受信機器で受信する番組には、コピーガード機能が働いています。また、ケーブルテレビに含まれるデジタル放送などにも、コピーガード機能が働いている場合があります。これらのコピーガード機能が働いている映像をパソコンに入力しても、パソコンに表示したり、録画をすることはできません。

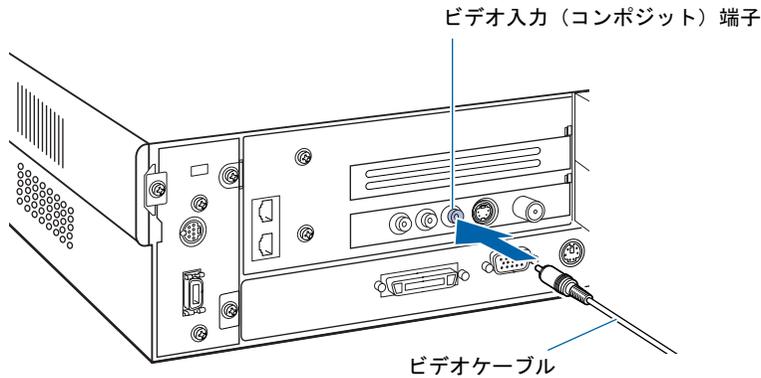
ビデオケーブルまたは S 端子ケーブルを接続する

■ ビデオケーブルを接続する場合

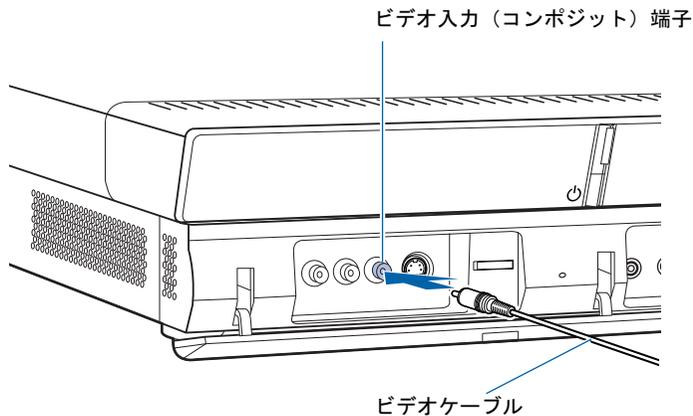
- 1 ビデオケーブルを、パソコン本体のビデオ入力（コンポジット）端子に、接続したケーブルの反対側を映像機器側の映像出力端子に接続します。



■ パソコン本体背面に接続する場合



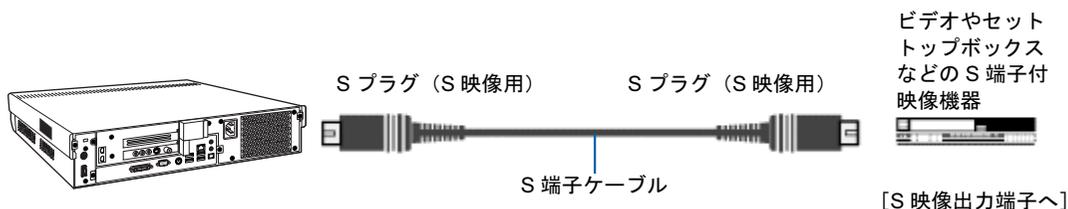
■ パソコン本体前面に接続する場合



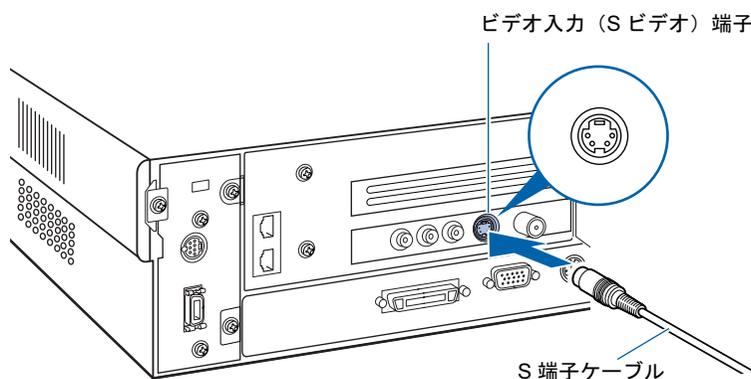
■ S 端子ケーブルを接続する場合

1 S 端子ケーブルを、パソコン本体のビデオ入力 (S ビデオ) 端子に、接続したケーブルの反対側を映像機器側の S 映像出力端子に接続します。

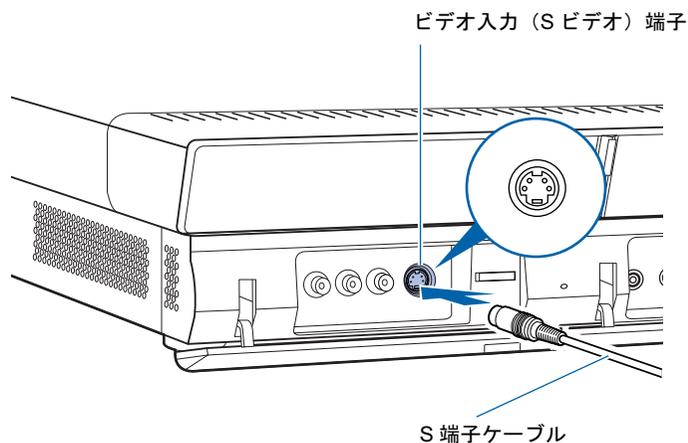
S 端子ケーブルを接続する場合は、ケーブルと接続する端子の向きを確認して接続してください。無理に接続すると、パソコン本体および映像機器が破損するおそれがあります。



■ パソコン本体背面に接続する場合



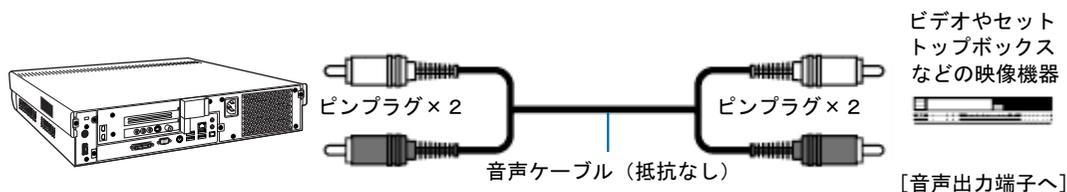
■ パソコン本体前面に接続する場合



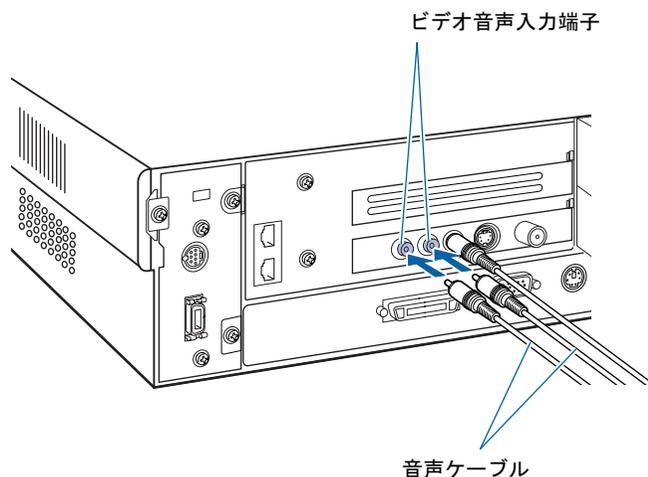
音声ケーブルを接続する

1 音声ケーブルを、パソコン本体のビデオ音声入力端子に、接続したケーブルの反対側を映像機器側の音声出力端子に接続します。

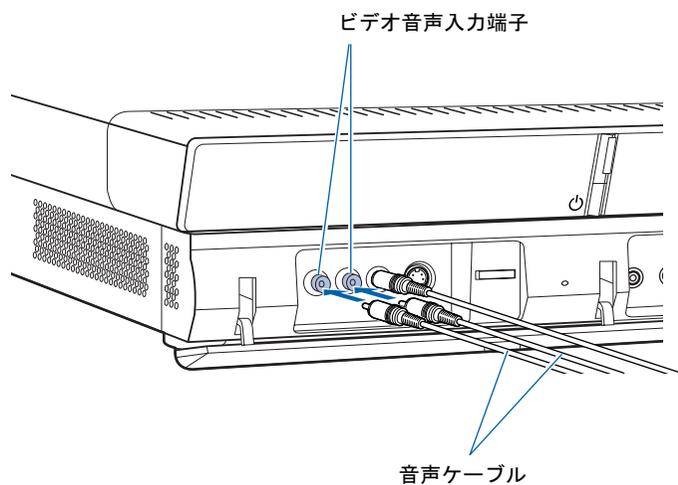
ケーブルと接続する端子の色が同じことを確認して接続してください。



■ パソコン本体背面に接続する場合



■ パソコン本体前面に接続する場合



Media Center のセットアップ

初めて Media Center を起動するときは、Media Center のセットアップという作業が必要です。Media Center のセットアップは、初めて Media Center を起動するときに、1 回だけ行う操作です。このマニュアルの手順どおりに進めてください。この Media Center のセットアップが終わらないと、Media Center は使えるようになりません。

セットアップ前の注意事項

■インターネット接続の準備をする

重要

はじめにセキュリティ対策を行ってください

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。インターネット接続の準備をする場合は、「インターネットを始めるための準備をする」(▶▶ P.80) をご覧になり、必ずセキュリティ対策を行ってください。

POINT

インターネットに接続しなくてもお使いになれます

Media Center はインターネットに接続しなくてもお使いになれます。ただし、その場合はテレビ番組の録画予約に便利な「番組ガイド」など、一部の機能がお使いになれません。

Media Center のセットアップでインターネット接続をお使いになるための設定を行わなかった場合でも、後から設定を行うことができます。詳しくは、Media Center のヘルプをご覧ください。

セットアップ中にインターネットに接続する手順があります。あらかじめインターネットに接続するための設定をしておくことをお勧めします。

また、インターネットは、常時接続でお使いになることをお勧めします。設定方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「3. インターネット/Eメール」→「インターネットに接続するための設定」、またはご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

■セットアップは、リモコンで操作

Media Center のセットアップはリモコンで操作します。

セットアップを始める前に、リモコンの準備ができていないか確認してください。

- ・「リモコンに乾電池を入れる」(▶▶ P.49) をご覧になり、リモコンに電池が入っているか確認します。
 - ・「リモコン受光器を接続する」(▶▶ P.48) をご覧になり、リモコン受光器がパソコン本体に正しく接続されているか確認します。
 - ・「リモコンをお使いになる場合の注意」(▶▶ P.185) をご覧になり、使用環境を確認します。
- なお、セットアップ手順内のボタンはリモコンのボタンを示します。

■リモコンでメニューや項目を選択する方法

画面に表示されるメニューや項目を選択するには、リモコンの「カーソル」ボタンを使います。

1 リモコンの「カーソル」ボタンで、目的のメニューや項目に緑色の強調表示を移動させます。

2 リモコンの決定ボタンを押します。

Media Center のセットアップを始めましょう

「Media Center のセットアップ」とは、次の 5 つの作業のことです。合計 56 手順あります。

- 1 「インターネット接続の設定」→手順 1 ~ 11
- 2 「テレビ信号の設定」→手順 12 ~ 31
- 3 「テレビ番組ガイドの設定」→手順 32 ~ 38
- 4 「ディスプレイの設定」→手順 39 ~ 46
- 5 「スピーカーの設定」→手順 47 ~ 56

インターネット接続の設定

1 リモコンの  (スタートボタン) を押します。

「Media Center セットアップ ウィザード」が表示されます。

POINT

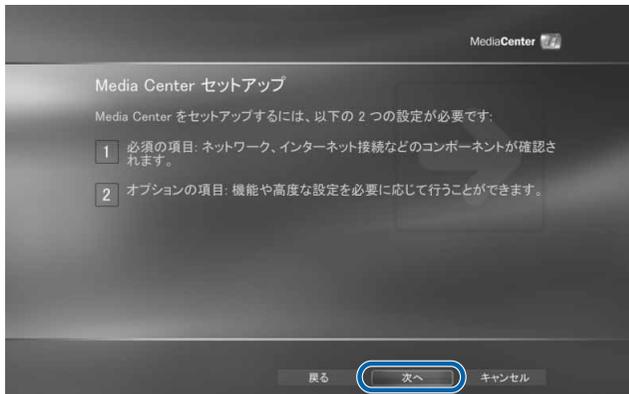
リモコンが動作しない場合は

「リモコンに乾電池を入れる」(●▶ P.49) をご覧になり、リモコンに電池が入っているか確認します。それでも正しく動作しない場合は、「リモコンをお使いになる場合の注意」(●▶ P.185) をご覧になり、使用環境を確認してください。

2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



3 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

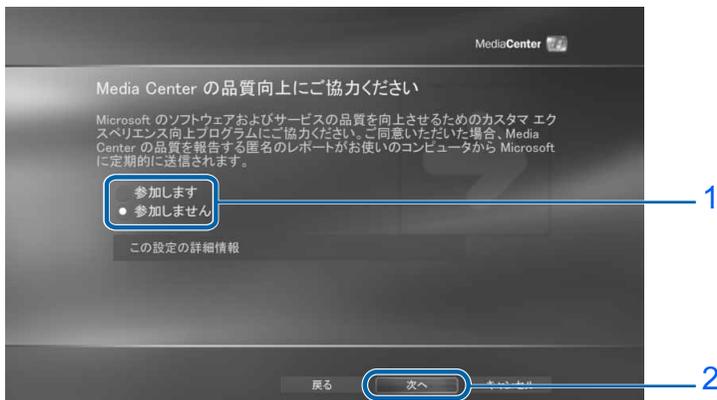


4 画面上の説明をお読みになり、「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



5 1 画面上の説明に従い、「参加します」または「参加しません」を選択して にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

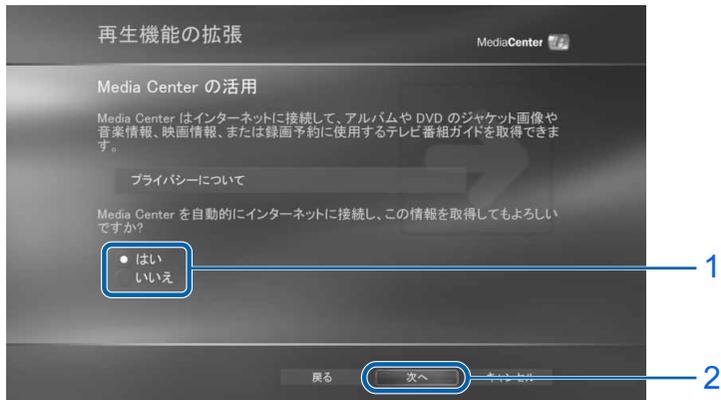
通常は、「参加しません」を選択してください。



次のページへ

- 6** 1 画面上の説明をお読みになり、「はい」または「いいえ」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

この機能を利用するには、インターネット接続が必要です。

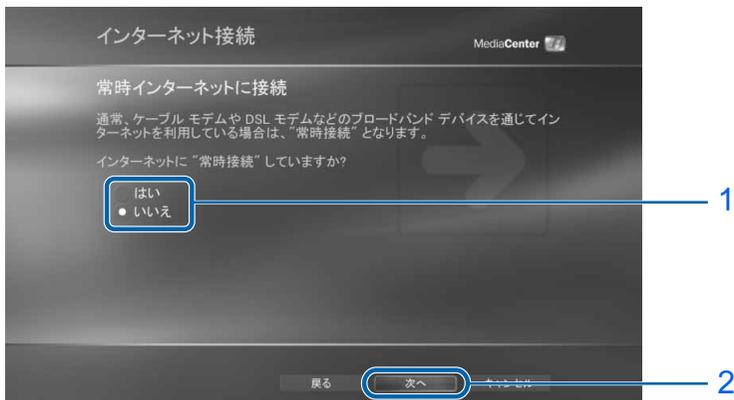


- 7** 1 お使いの環境に合ったインターネット接続の種類を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

インターネット接続がLAN設定の場合は、「はい」を選択します。次の場合は、LAN設定です。

- ・ ADSL など、ルータ内蔵モデムをお使いの方
- ・ DHCP 方式のモデムやセットトップボックス (CATV) をお使いの方
- ・ ブロードバンドルーターをお使いの方

LAN 設定以外の場合は、「いいえ」を選択します。



POINT

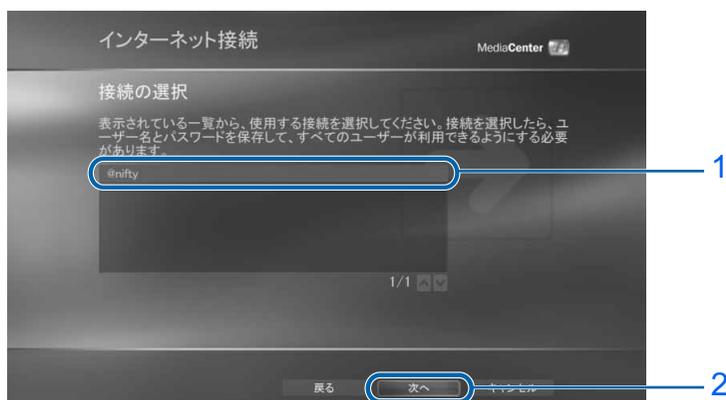
「はい」を選択した方は

手順 8 の画面は表示されません。手順 9 へ進んでください。

手順 6 と手順 7 で「いいえ」を選択した方は

「インターネット接続がありません」と表示されます。「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押してください。続いて手順 11 へ進んでください。

8 接続を選択します。1 一覧から使用する接続を選択します。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

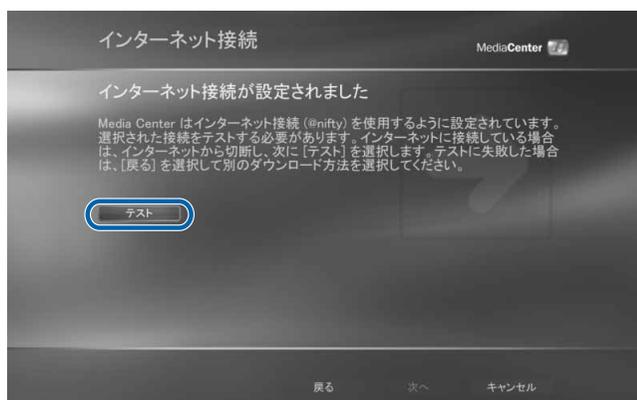


POINT

パスワードを入力する画面が表示された場合

選択した接続によって、パスワードを入力する画面が表示される場合があります。パスワードを入力する画面が表示された場合は、ダイヤルアップのパスワードを入力し、「次へ」が選択されていることを確認して、「決定」ボタンを押します。

9 「テスト」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



インターネット接続のテストが始まります。手順 10 の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

POINT

インターネットに接続するための設定をしていない場合は

「接続が動作していません」と表示されます。「次へ」を選択し、「決定」ボタンを押します。続いて、手順 11 へ進んでください。

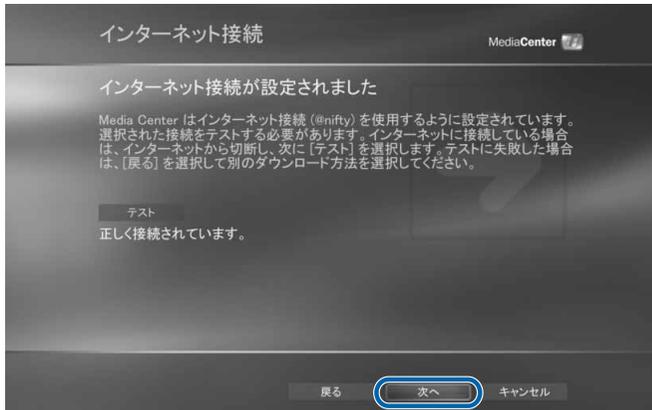
「テスト」を選択してもインターネットに接続できない場合は

ダイヤルアップ接続をお使いの方でしばらくしてもインターネットに接続できない場合は、マウスを使って Media Center のウィンドウを最小化し、メッセージが表示されているか確認してください。メッセージが表示されている場合は、メッセージの指示に従って操作してください。

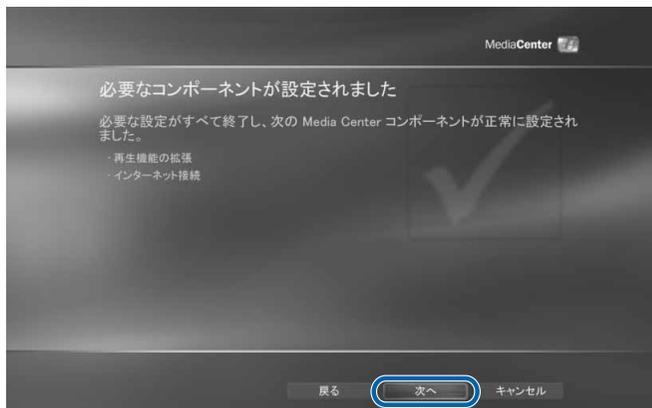
LAN 接続をお使いの方、ダイヤルアップ接続をお使いの方でメッセージが表示されない方は、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見えるマニュアル」→「3. インターネット/Eメール」→「インターネットに接続するための設定」、またはご利用のプロバイダから提供されたマニュアルをご覧ください。

次のページへ

10 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

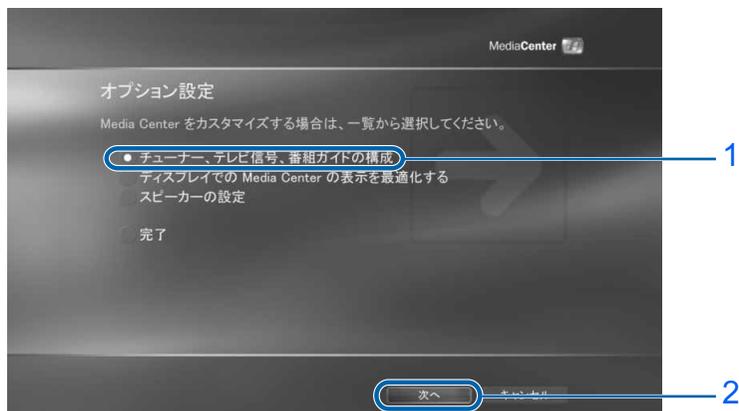


11 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

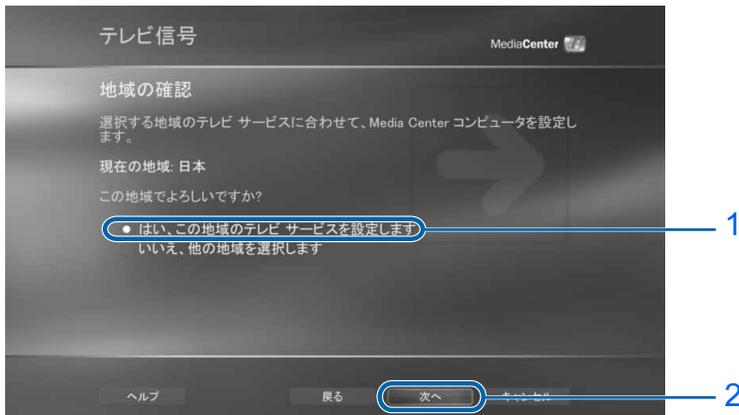


テレビ信号の設定

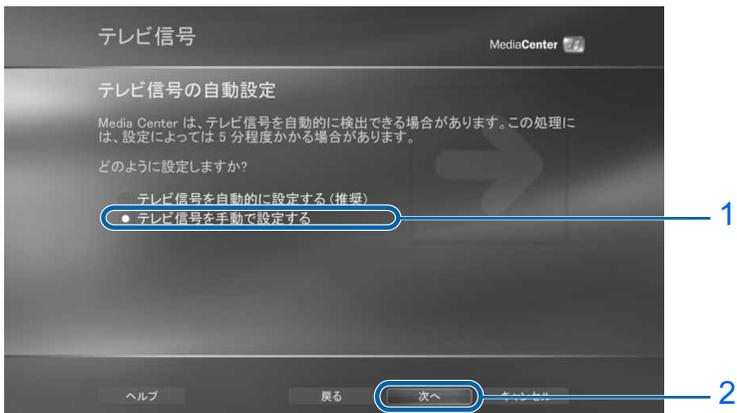
12 1 「チューナー、テレビ信号、番組ガイドの構成」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



- 13** 1 「はい、この地域のテレビ サービスを設定します」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

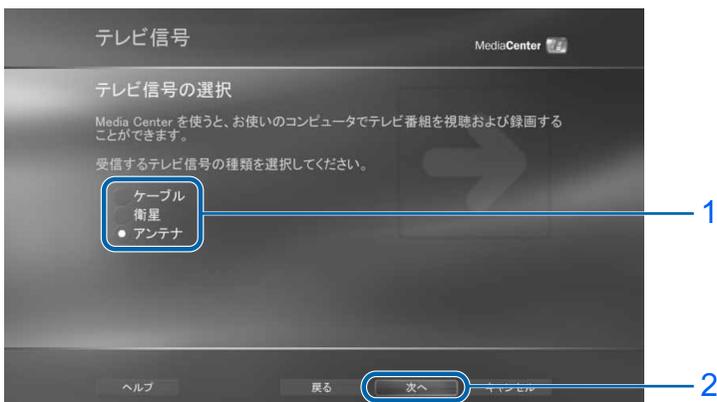


- 14** 1 「テレビ信号を手動で設定する」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



- 15** 1 ご利用のテレビ放送の種類を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

- ・CATV 放送をご利用の方は、「ケーブル」を選択します。
- ・衛星放送をご利用の方は、「衛星」を選択します。
- ・地上波アナログ放送をご利用の方は、「アンテナ」を選択します。



次のページへ

POINT

Media Center では、単一のテレビ信号入力のみがサポートされています

ご家庭で複数のテレビ信号ケーブルをお使いになられている場合は、Media Center でお使いになるケーブルを 1 つ選ぶ必要があります。例えば、アンテナ（地上波アナログ放送）とケーブル（CATV 放送）の両方の信号を受信している場合、Media Center では、どちらか一方のみがご利用になれます。

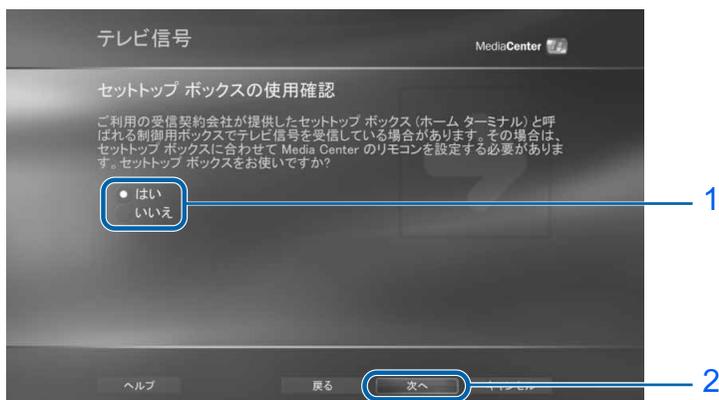
「衛星」を選択した方は

手順 16 の画面は表示されません。手順 17 へ進んでください。

「アンテナ」を選択した方は

手順 16 から手順 31 の画面は表示されません。手順 32 へ進んでください。

- 16** 1 画面上の説明に従い、「はい」または「いいえ」を選択して  にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



POINT

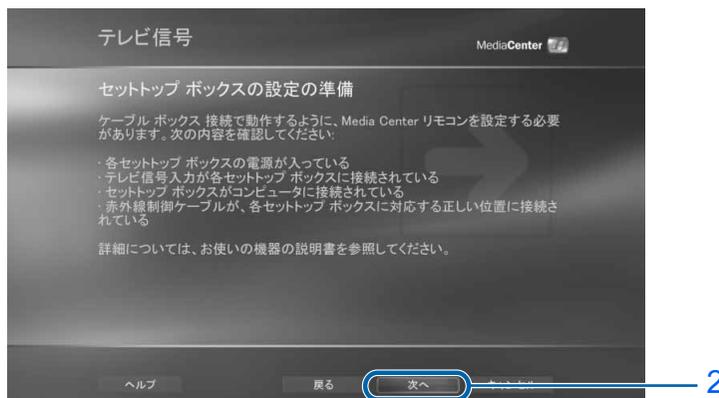
「いいえ」を選択した方は

手順 16 で「いいえ」を選択した方は、手順 17 から手順 31 の画面は表示されません。手順 32 へ進んでください。

セットトップボックスの接続については

 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「6. 周辺機器の接続」 → 「外部映像機器を接続する」をご覧ください。

- 17** 1 画面上の説明をお読みください。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



18 1 テレビ信号を選択して●にします。2 画面右側に表示されているウィンドウに、選択した信号の画像が正しく表示されることを確認します。3 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

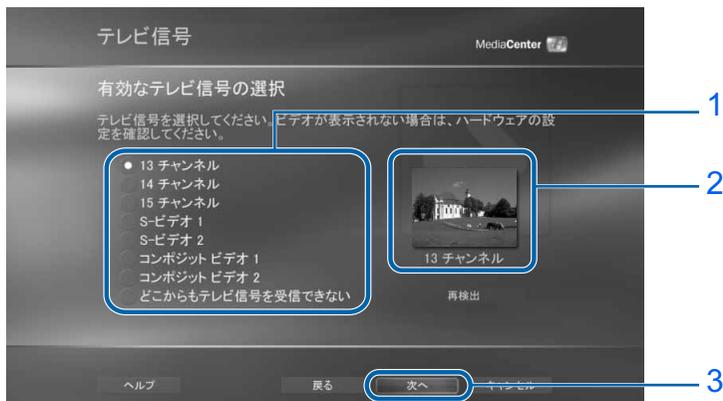
ご利用の CATV の接続形態により、選択するテレビ信号が異なります。次の表をご覧ください。お使いの環境にあったテレビ信号を選択してください。

接続形態	選択項目
アンテナケーブル	「13 チャンネル」、「14 チャンネル」、「15 チャンネル」[注 1]
S 端子ケーブル	「S- ビデオ 1」、「S- ビデオ 2」[注 2]
ビデオケーブル	「コンポジットビデオ 1」、「コンポジットビデオ 2」[注 3]

注 1： 選択するチャンネルについては、受信契約会社にお問い合わせください。

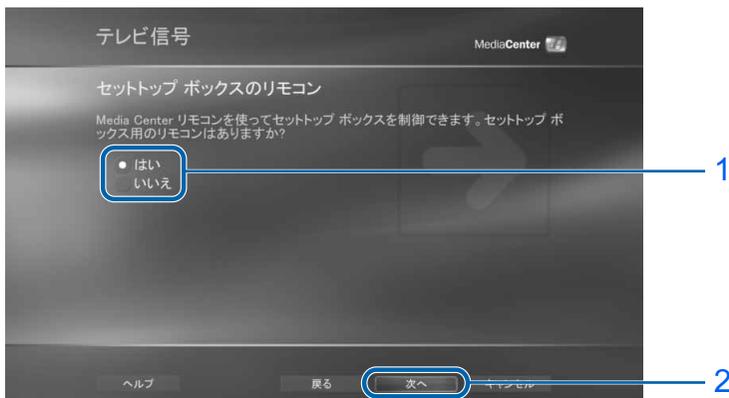
注 2： パソコン本体前面のビデオ入力（S ビデオ）端子に接続している場合は「S- ビデオ 2」、パソコン本体背面のビデオ入力（S ビデオ）端子に接続している場合は「S- ビデオ 1」を選択してください。

注 3： パソコン本体前面のビデオ入力（コンポジット）端子に接続している場合は「コンポジットビデオ 2」、パソコン本体背面のビデオ入力（コンポジット）端子に接続している場合は「コンポジットビデオ 1」を選択してください。



19 1 画面上の説明をお読みになり、「はい」または「いいえ」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

「いいえ」を選択した方は、次のページの POINT をお読みください。



次のページへ

POINT

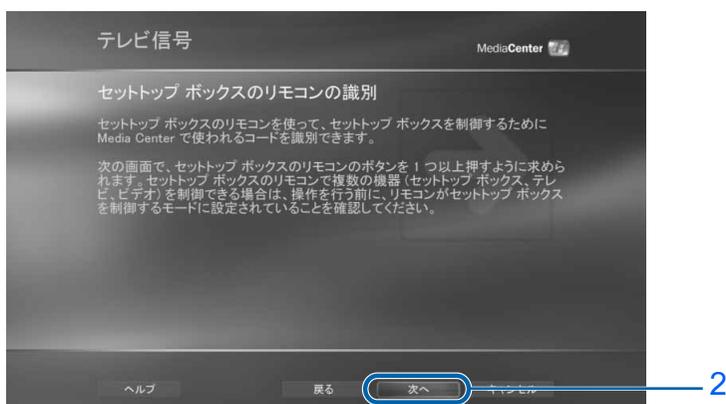
「いいえ」を選択した方は

手順 19 で「いいえ」を選択した方は、手順 20 から手順 26 の画面は表示されません。手順 27 へ進んでください。

手順 27、手順 28 の操作をした後は、次の手順に従ってください。

1. 「セットトップボックスのブランド名の選択」という画面で、「一覧になし」を選択します。「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。「セットトップボックスのブランド名が一覧にない」という画面が表示されます。ここでは、セットトップボックスの設定を省略します。
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。続いて、手順 32 に進んでください。

20 1 画面上の説明をお読みください。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

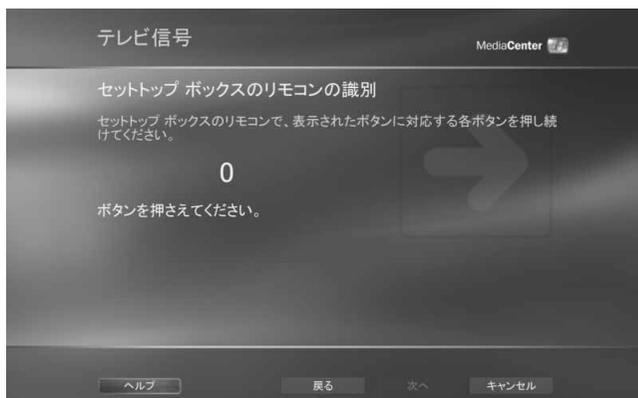


POINT

セットトップボックスのリモコンを用意してください

次の手順では、セットトップボックスのリモコンを使います。セットトップボックスのリモコンの赤外線発光部をパソコンのリモコン受光器のすぐ近くに置いてから、次の手順に進んでください。

21 セットトップボックスのリモコンで、画面に表示されるボタンに対応するボタンを押します。画面の指示に従って操作してください。

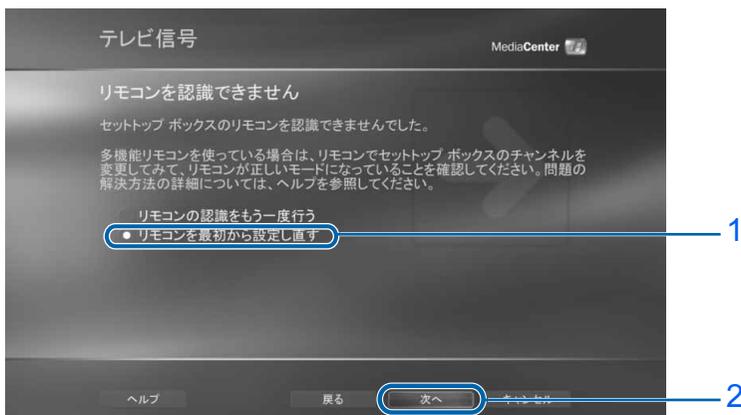


POINT

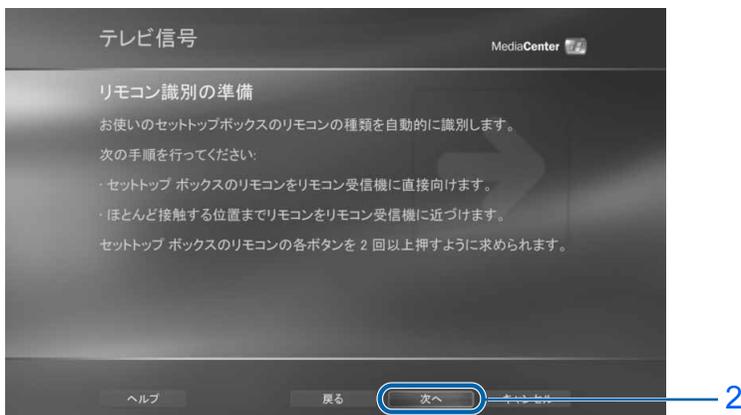
このパソコンのリモコンを用意してください

次の手順以降は、このパソコンのリモコンを使います。このパソコンのリモコンを用意してから次の手順に進んでください。

- 22** 1 「リモコンを最初から設定し直す」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

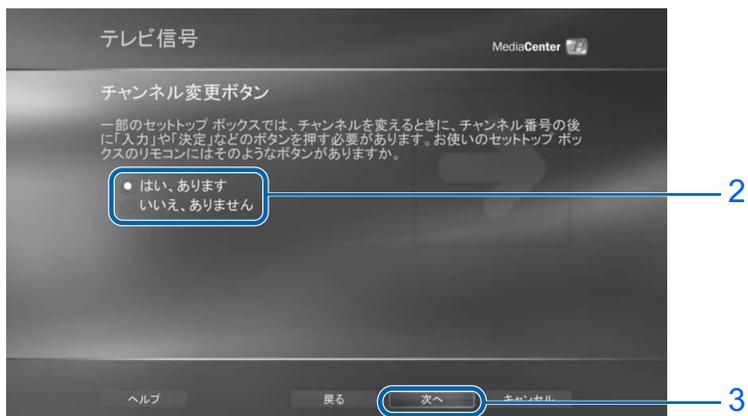


- 23** 1 画面上の説明をお読みください。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



5

- 24** 1 画面上の説明をお読みください。2 「はい、あります」または「いいえ、ありません」を選択して○にします。3 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



POINT

セットトップボックスのリモコンを用意してください

次の手順では、セットトップボックスのリモコンを使います。セットトップボックスのリモコンの赤外線発光部をパソコンのリモコン受光器のすぐ近くに置いてから、次の手順に進んでください。

- 25** 画面上の説明に従い、セットトップボックスのリモコンを操作します。

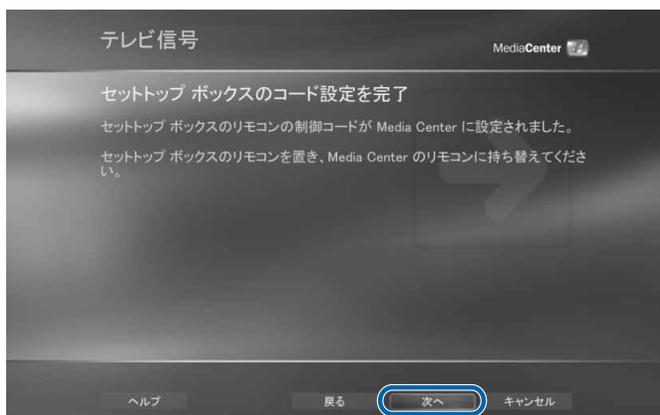


POINT

このパソコンのリモコンを用意してください

次の手順以降は、このパソコンのリモコンを使います。このパソコンのリモコンを用意してから次の手順に進んでください。

26 リモコンコードの学習が完了しました。「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



POINT

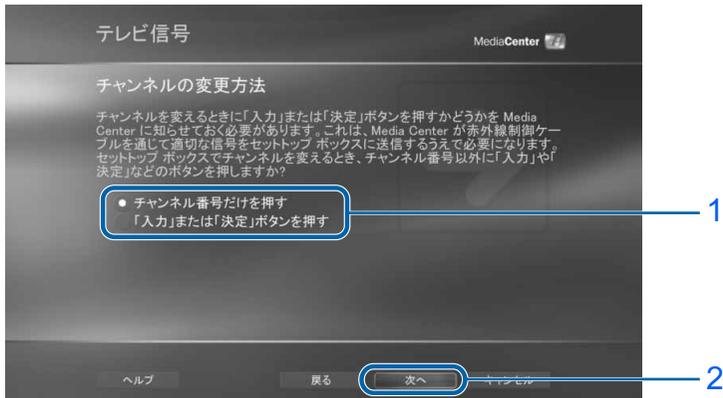
セットトップボックスのリモコンについての注意

- ・セットトップボックスのリモコンでは、赤外線通信方式が異なるため、正常に学習できない場合があります。
- ・セットトップボックスのリモコンの操作方法がダブルアクション式(チャンネル数を入力するときに、例えば「テンキー」ボタンのような特殊なボタンを押してから数字ボタンを押すような方式)の場合、学習機能が正常に動作しない場合があります。

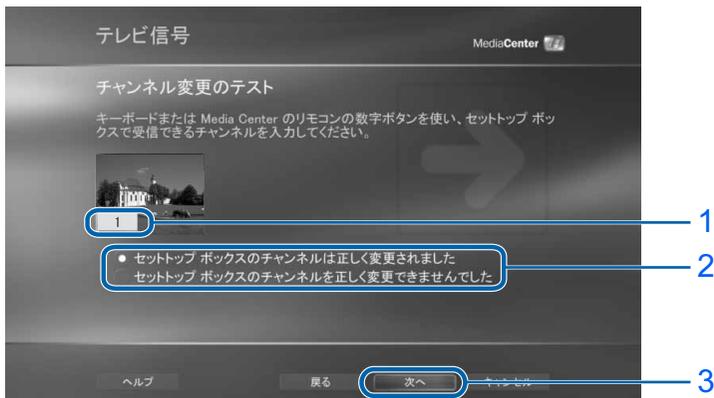
27 1 お使いの環境に合わせて桁数を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



28 1 チャンネルの変更方法を選択して **○** にします。2 「次へ」が選択されていることを確認して、「決定」ボタンを押します。



29 1 セットトップボックスで受信できるチャンネルを入力します。2 「セットトップボックスのチャンネルは正しく変更されました」または「セットトップボックスのチャンネルを正しく変更できませんでした」を選択して **○** にします。3 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



POINT

「セットトップボックスのチャンネルを正しく変更できませんでした」を選択した場合

「チャンネルの入力方法を変更する」という画面が表示されます。画面上の説明をお読みください。

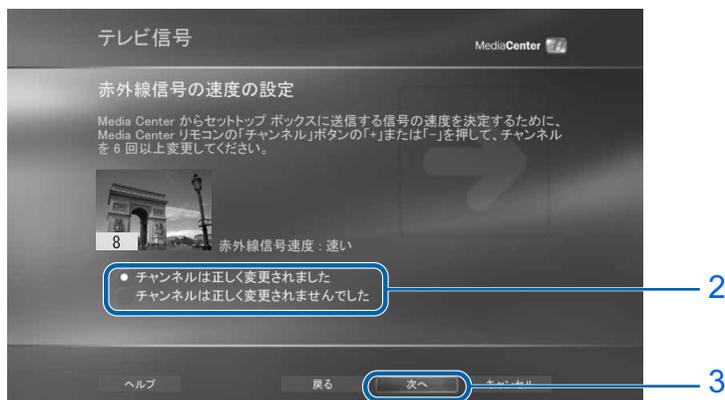
チャンネルの入力方法を変更する場合は、次の手順に従って操作してください。

1. 「チャンネルの入力方法を変更する」を選択して●にします。「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。
2. 手順 27 に戻り、操作してください。

選択したチャンネルの入力方法が正しい場合は、次の手順に従って操作してください。

1. 「チャンネルの入力方法は正しい」を選択して●にします。「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。
2. 「セットトップボックスのリモコンの再設定」という画面が表示されます。テレビ信号の設定を続ける場合は、「セットトップボックスのコードの再設定」を選択して●にします。「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。テレビ信号の設定を省略して、セットアップを続ける場合は、「テレビ信号の設定をせずに続行する」を選択して●にします。「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。続いて、手順 32 へ進んでください。
3. 「チャンネル変更ボタンの再設定」という画面が表示されます。画面上の説明をお読みになり、「はい、あります」または「いいえ、ありません」を選択して●にします。「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。
4. 「再設定」という画面が表示されます。画面上の説明に従い、ボタンの再設定を行います。再設定が終了したら、「完了」を選択してチェックボックスにチェックを入れ、「決定」ボタンを押します。
5. 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。
6. 手順 29 に戻り、操作してください。

- 30** 1 「チャンネル／ページ」ボタンの「+」または「-」を押して、チャンネルを 6 回以上変更します。2 「チャンネルは正しく変更されました」または「チャンネルは正しく変更されませんでした」を選択して●にします。3 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

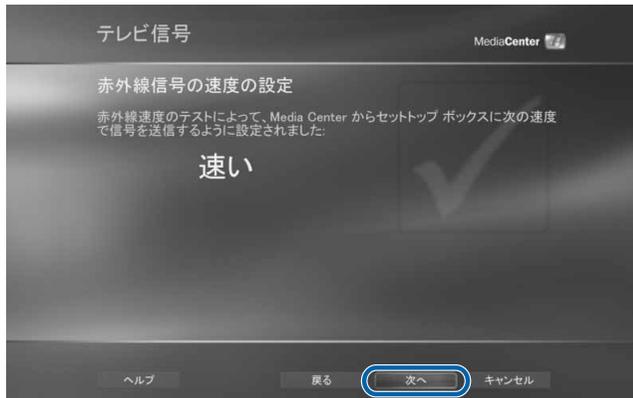


POINT

「チャンネルは正しく変更されませんでした」を選択した場合

赤外線信号速度が変わります。チャンネルが正しく変更されるか確認します。もう一度、手順 30 の操作を行ってください。

31 画面上の説明をお読みにになり、「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



テレビ番組ガイドの設定

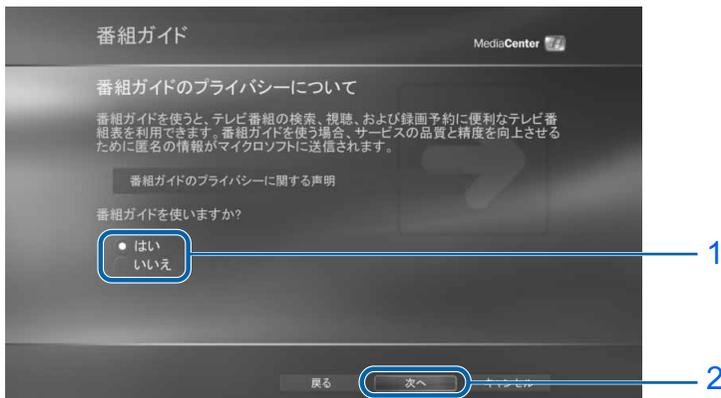
POINT

番組ガイドとは

テレビ番組の検索、視聴、および録画予約に利用できるテレビ番組表のことをいいます。

32 1 画面上の説明をお読みにになり、「はい」または「いいえ」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

番組ガイドを利用するには、インターネット接続が必要です。



POINT

「番組ガイドのプライバシーに関する声明」を表示する

「番組ガイドのプライバシーに関する声明」を表示するには、インターネットに接続する環境が必要です。インターネットの接続設定をしている場合は、次の手順に従って操作してください。

1. 「番組ガイドのプライバシーに関する声明を表示する」を選択します。
2. 「決定」ボタンを押します。
3. 内容をお読みになりましたら「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。

インターネットの接続設定をしていない場合は、セットアップ後にインターネットの接続設定をし、次の手順に従って操作してください。

1.  (スタートボタン) を押します。
2. 「設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。
3. 「全般」を選択し、「決定」ボタンを押します。
4. 「プライバシー」を選択し、「決定」ボタンを押します。
5. 「番組ガイドのプライバシーに関する声明」を選択し、「決定」ボタンを押します。
番組ガイドのプライバシーに関する声明が表示されます。

「いいえ」を選択した方は

「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。続いて、手順 39 へ進んでください。

33 1 電子番組ガイドのサービス条件の内容をお読みになり、ご同意いただける場合は「同意する」を選択して にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

**重要****「同意しない」を選択した場合**

「番組ガイドはありません」という画面が表示されます。サービス条件にご同意いただけない場合は、番組ガイドをダウンロードすることができません。手順 33 の画面に戻るには、表示された画面で「キャンセル」を選択し、「決定」ボタンを押します。

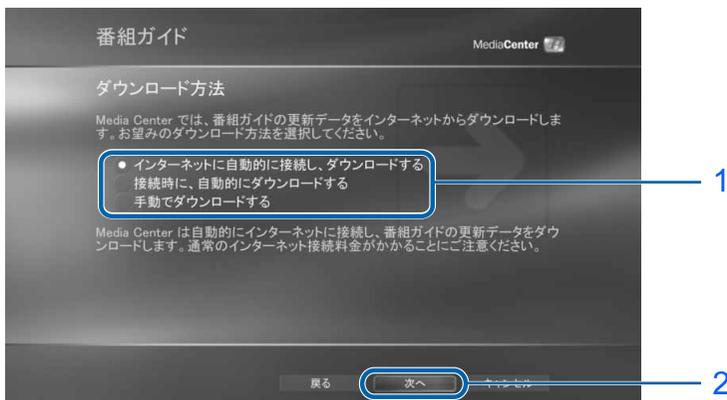
ダイヤルアップ接続をお使いの方は

次の手順では、インターネットに接続します。ダイヤルアップ接続の場合は、自動的にインターネットに接続できないことがあります。あらかじめインターネットに接続しておいてください。

34 手順7で「いいえ」を選択した場合は、この画面が表示されます。1番組ガイドのダウンロード方法を選択して●にします。2「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

「接続時に、自動的にダウンロードする」をお勧めします。インターネットに接続された時に、Media Center が番組ガイドの更新情報をダウンロードします。

手順7で「はい」を選択した場合は表示されません。手順35へ進んでください。



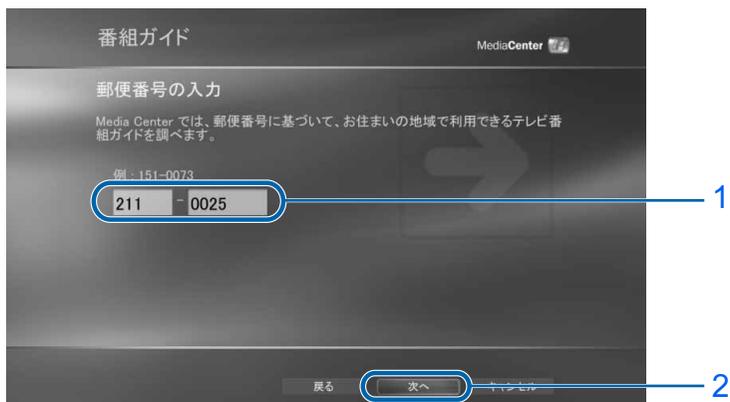
(画面はインターネットの設定により異なります)

POINT

「インターネットに自動的に接続し、ダウンロードする」を選択した方は
あらかじめダイヤルアップ接続の設定を行った場合にだけ表示されます。Media Center が自動的にインターネットに接続し、番組ガイドの更新情報をダウンロードします。

「手動でダウンロードする」を選択した方は
「テレビ番組ガイドの手動ダウンロード」という画面が表示されます。画面上の説明をお読みになり、「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

35 1お住まいの地域の郵便番号を入力します。2「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



インターネットに接続し、お住まいの地域、受信契約会社または契約サービスに関する情報のダウンロードが始まります。「ダウンロード完了」と表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

POINT

インターネットに接続するための設定をしていない場合は

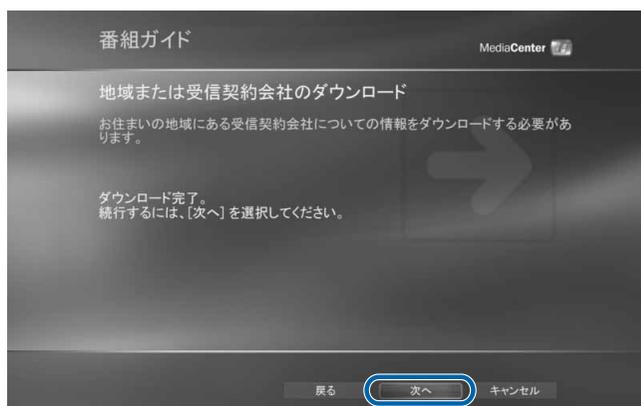
「ダウンロードは完了していません」という画面が表示されます。

次の手順に従って操作してください。

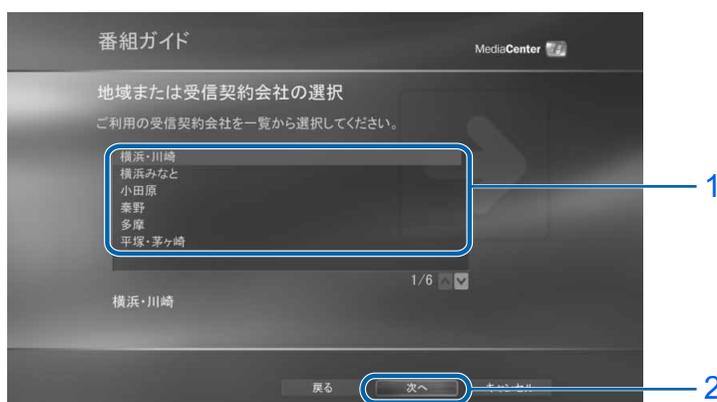
1. 「いいえ」を選択して●にします。
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。
3. 手順 39 へ進みます。

該当する地域が見つからない場合は

地域によっては、7桁の郵便番号が、センターのデータベースに登録されていないことがあります。該当する地域が見つからない場合は、上3桁のみを入力してください。

36 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

5

37 1 一覧からお住まいの地域を選択します。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

インターネットに接続し、番組ガイドのダウンロードが始まります。「ダウンロード完了」と表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

重要

ダイヤルアップ接続をお使いの方は

ダイヤルアップ接続の場合は、自動的にインターネットから切断できない場合があります。ダウンロードが完了したら、必ずインターネットの接続を切断してください。

番組ガイドに登録されているチャンネルについて

番組ガイドに登録されているチャンネルが、お住まいの地域で利用できるチャンネルと異なる場合があります。その場合は、別の地域を選択してください。

設定した全部のチャンネルが受信できない場合や設定したチャンネル以外に受信できるチャンネルがある場合は、次の重要をご覧ください、操作してください。

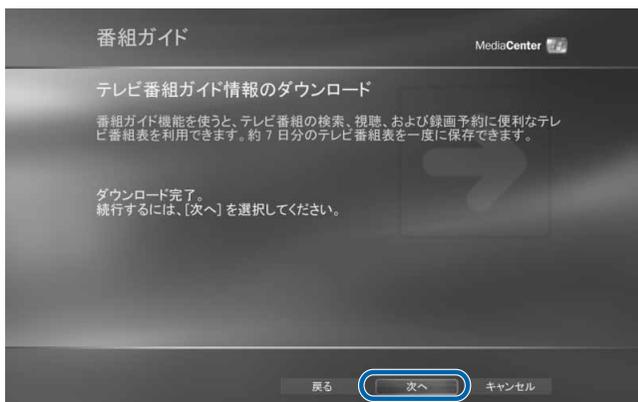
受信できるチャンネルを設定する

設定した全部のチャンネルが受信できない場合や設定したチャンネル以外に受信できるチャンネルがある場合があります。セットアップが終了してから、次の手順に従って受信できるチャンネルを確認してください。

1.  (スタートボタン) を押します。
2. Media Center のメインメニュー (●▶ P.144) から「設定」→「テレビ」→「番組ガイド」→「チャンネル表の編集」の順に選択します。
3. 受信できるチャンネルを選択して、チェックをつけます。
正しく受信できないチャンネルを選択して、チェックを外します。
4. 「保存」を選択します。

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見えるマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「テレビ」→「チャンネルを設定する」をご覧ください。

38 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



POINT

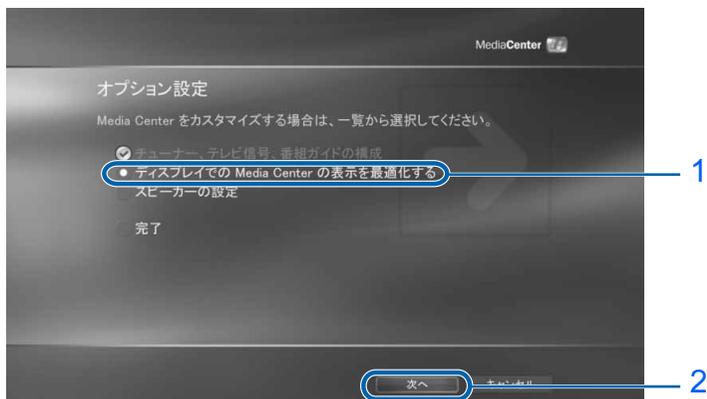
Media Center の設定を変更する場合

Media Center のセットアップ中に行った設定を変更する場合は、次の手順に従って操作してください。

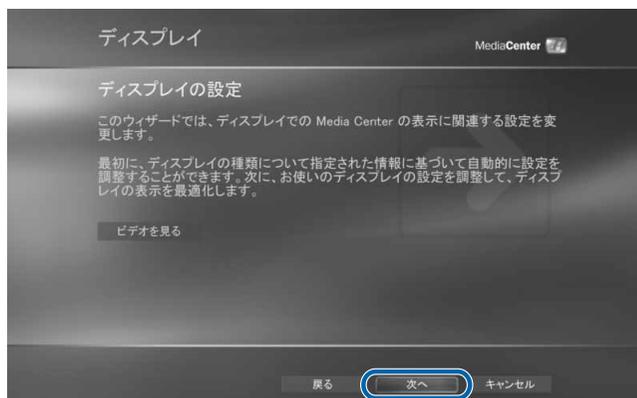
1.  (スタートボタン) を押します。
2. Media Center のメインメニュー (●▶ P.144) から「設定」を選択します。
3. 変更する項目を選択します。
設定方法については、Media Center のヘルプをご覧ください。

ディスプレイの設定

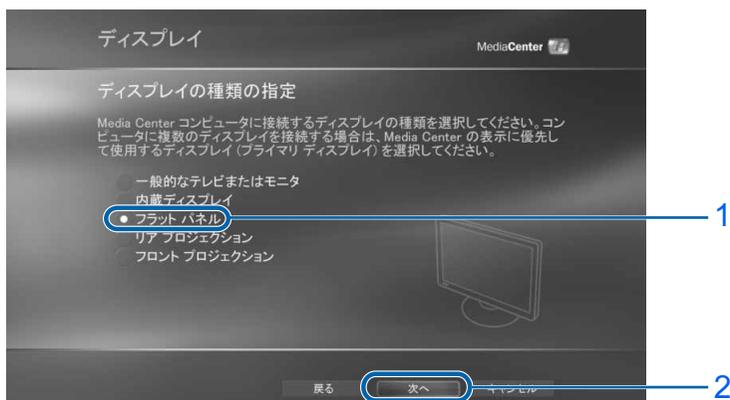
- 39** 1 「ディスプレイでの Media Center の表示を最適化する」を選択して にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



- 40** 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

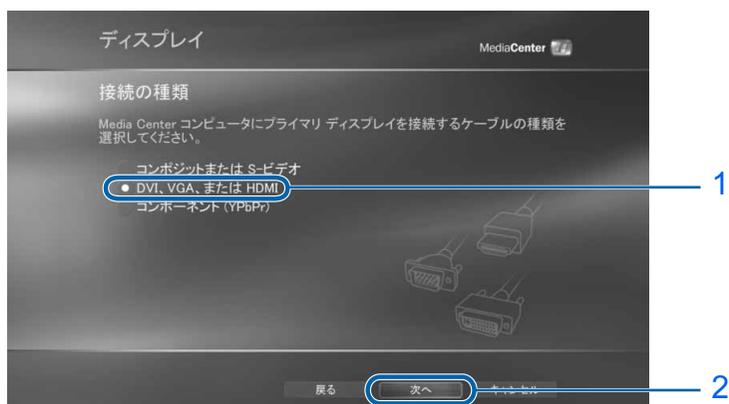


- 41** 1 「フラットパネル」を選択して にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



次のページへ

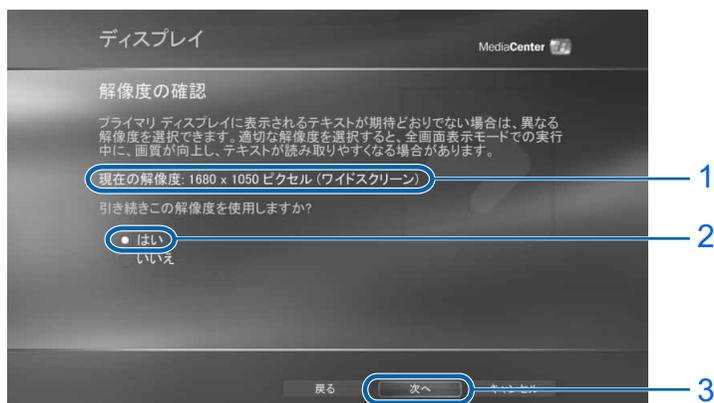
- 42** 1 「DVI、VGA、または HDMI」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



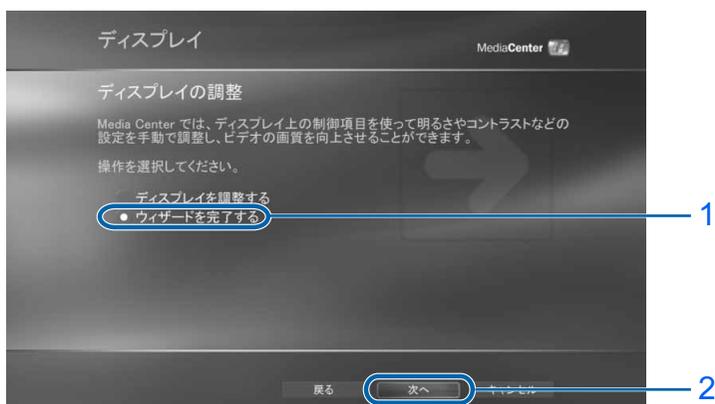
- 43** 1 「ワイドスクリーン (16:9)」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



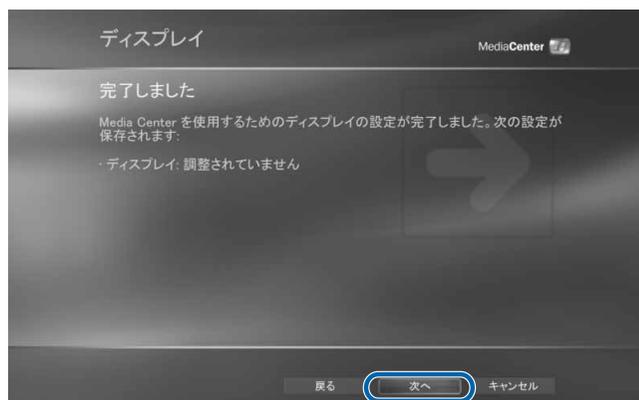
- 44** 1 「現在の解像度：1680 × 1050 ピクセル (ワイドスクリーン)」になっていることを確認します。2 「はい」を選択して●にします。3 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



- 45** 1 「ウィザードを完了する」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



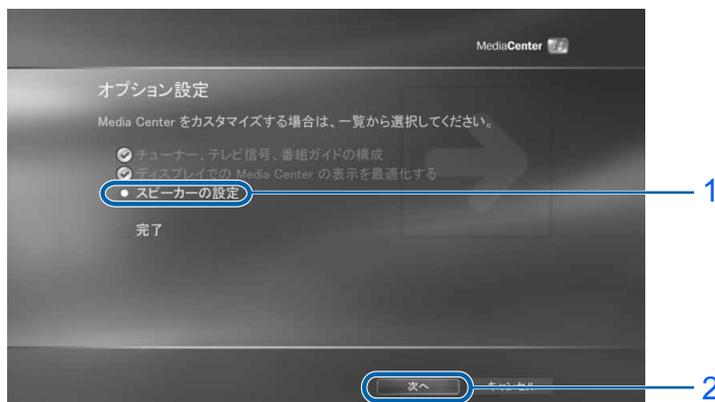
- 46** 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



5

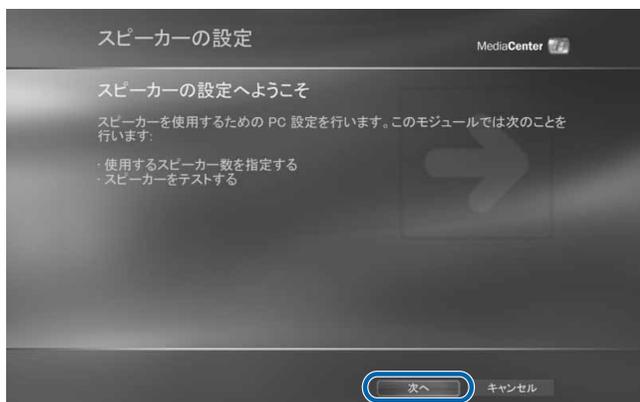
スピーカーの設定

- 47** 1 「スピーカーの設定」を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



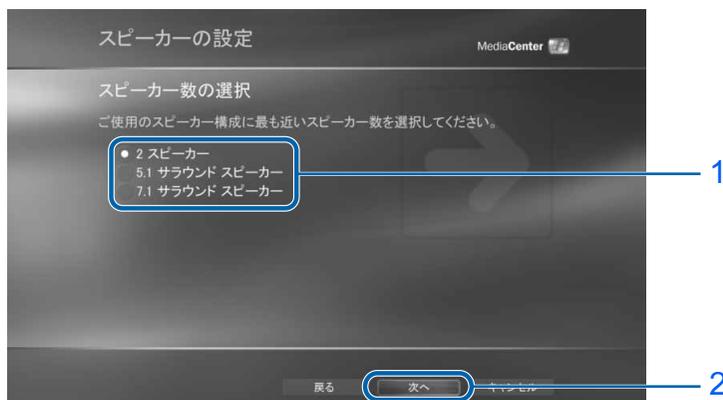
次のページへ

48 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



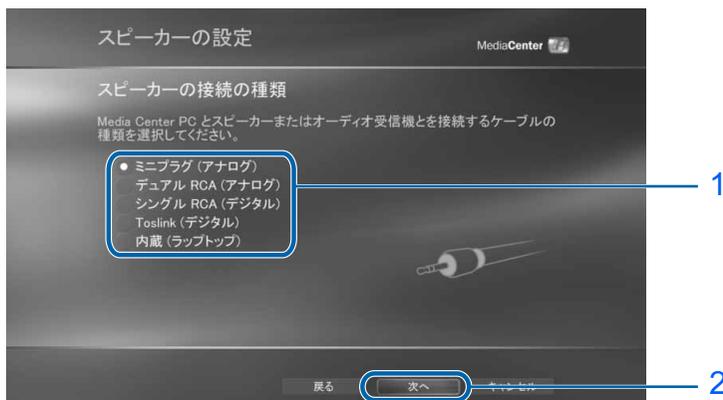
49 1 お使いになっているスピーカーを選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

添付の 20.1 型ワイド液晶ディスプレイのみを接続する場合は、「2 スピーカー」を選択してください。



50 1 お使いになっている接続ケーブルの種類を選択して●にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

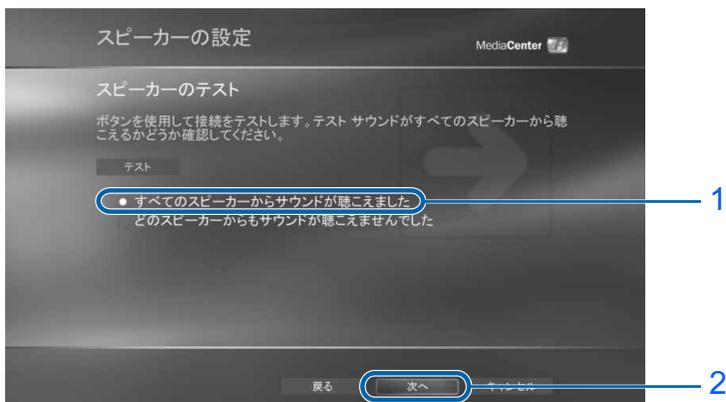
添付の 20.1 型ワイド液晶ディスプレイのみを接続する場合は、「ミニプラグ (アナログ)」を選択してください。



51 「テスト」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

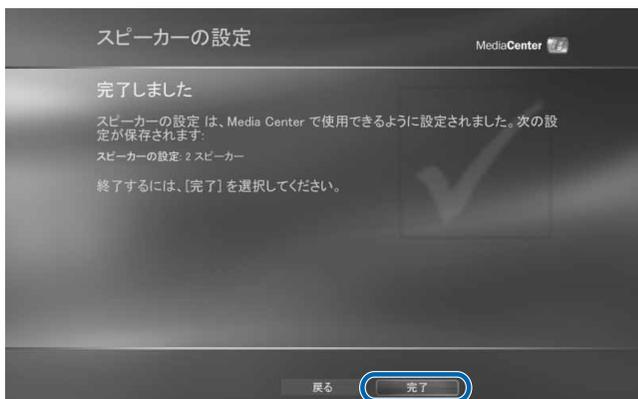


52 1 テストが終了したら「すべてのスピーカーからサウンドが聞こえました」を選択して にします。2 「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



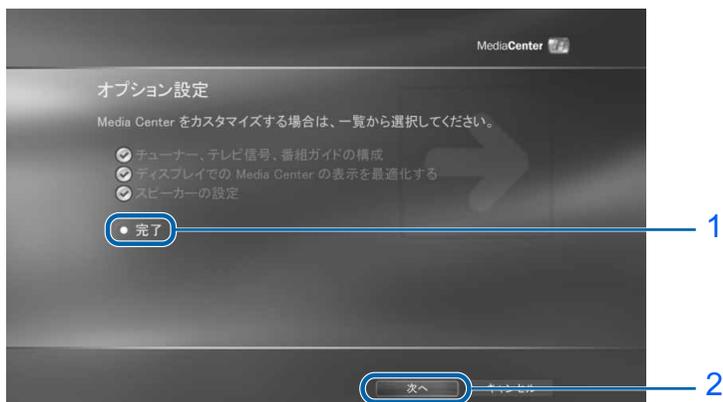
5

53 「完了」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。

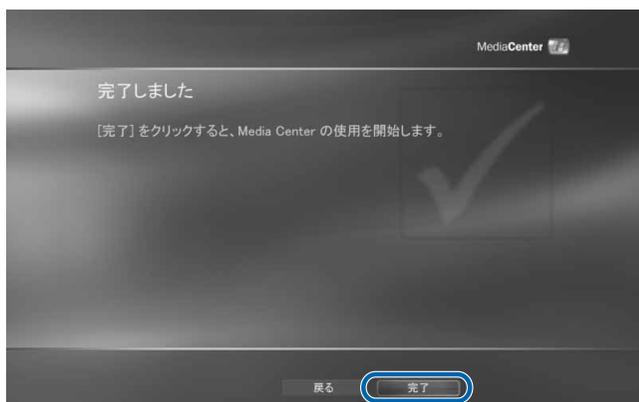


次のページへ

54 1「完了」を選択して○にします。2「次へ」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



55 「完了」が選択されていることを確認し、「決定」ボタンを押します。



56 Media Center のトップ画面が表示されます。



これで Media Center のセットアップは終わりです。
続いて、Media Center の起動と終了の方法を覚えましょう (…▶P.143)。

2 Media Center の起動／終了方法

ここでは、Media Center の起動方法および終了方法について説明します。

Media Center を起動する

リモコンまたはマウスを使って操作します。

- ・ リモコンで操作する場合
[] (スタートボタン) を押します。
- ・ マウスで操作する場合
「スタート」ボタン→「Media Center」の順にクリックします。

POINT

リモコンのボタンを押して、テレビやメニュー画面を直接表示できます

Media Center を起動していなくても、次のリモコンのボタンを押すだけでテレビやメニュー画面などを直接表示できます。

- ・ テレビボタン
- ・ テレビ録画ボタン
- ・ 番組ガイドボタン
- ・ マイビデオボタン
- ・ マイピクチャボタン
- ・ マイテレビボタン
- ・ マイミュージックボタン

リモコンのボタンについて詳しくは、「リモコンの基本機能」(▶▶ P.112) をご覧ください。

Media Center を終了する

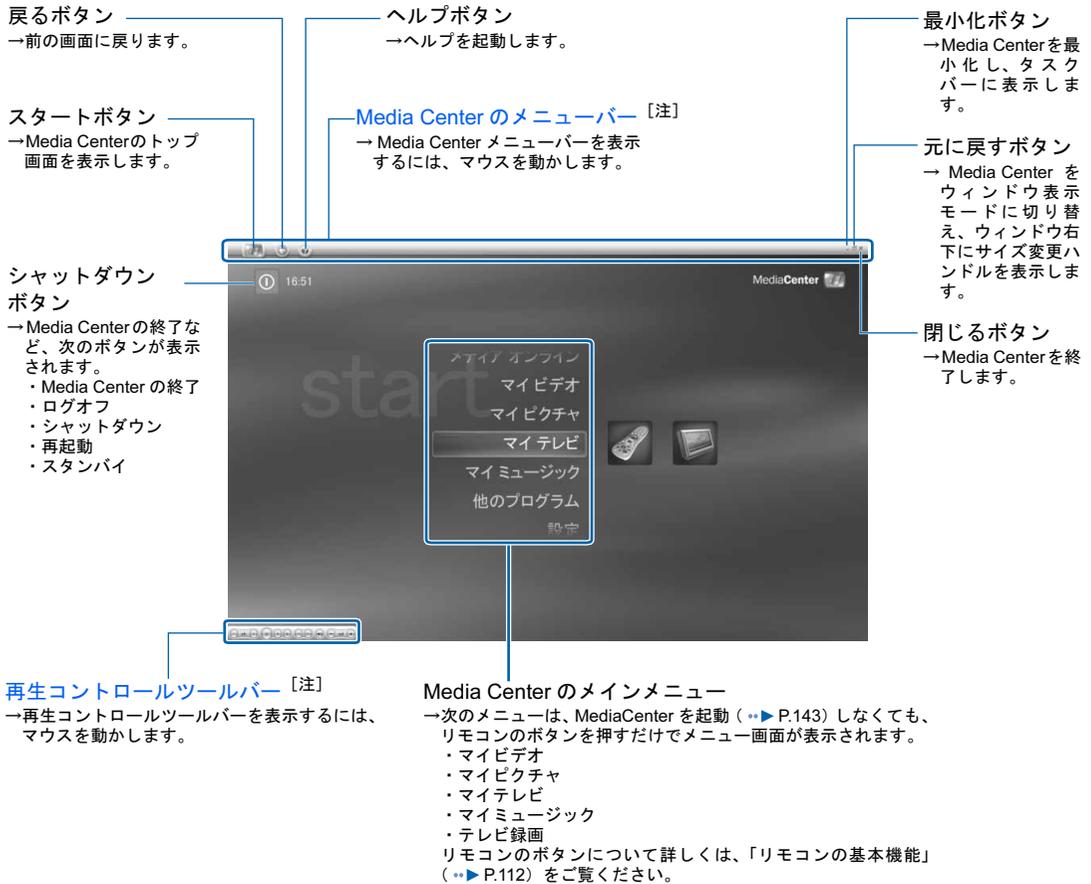
リモコンまたはマウスを使って操作します。

- ・ リモコンで操作する場合
Media Center のトップ画面 (▶▶ P.144) 左上にある [] を選択し、「決定」ボタンを押してから、[] を選択し、「決定」ボタンを押します。
- ・ マウスで操作する場合
Media Center のメニューバー (▶▶ P.144) の [] をクリックします。

3 Media Center の画面

Media Center のトップ画面

ここでは、Media Center のトップ画面について説明します。



注：「Media Center のメニューバー」と「再生コントロールツールバー」は、マウスを使って操作するときのみ表示されます。リモコンを使って表示することはできません。

Media Center のメインメニュー

ここでは、Media Center のトップ画面に表示されるメインメニューについて説明します。

マイビデオ (●▶ P.155)	自分で作成した動画ファイルやインターネットでダウンロードした動画ファイルなどを再生することができます。 動画ファイルは、名前や日付順に並び替えて表示することができます。
マイピクチャ (●▶ P.153)	画像ファイルを見たり、画像ファイルをスライドショーにして表示したりすることができます。 画像ファイルは、名前や日付順に並び替えて表示することができます。
マイテレビ (●▶ P.146)	テレビ番組を見たり、テレビ番組を録画したり、録画したテレビ番組を見たりすることができます。また、ダウンロードした番組ガイドを利用して、録画予約をすることもできます。
マイミュージック (●▶ P.151)	音楽 CD、Media Center で録音した音楽、「Windows Media Player」の再生リストから音楽を再生することができます。また、CD および DVD のメディア情報をインターネットから取得するように設定した場合は、CD を CD/DVD ドライブにセットすると、自動的にインターネットに接続し、セットした CD の情報をダウンロードすることができます。
他のプログラム (●▶ P.158)	ご購入時には、CD/DVD 作成ソフトウェア、画質調整ツールが登録されています。
設定 (●▶ P.158)	Media Center の各メニューの設定をすることができます。
DVD の再生 (●▶ P.156)	Media Center で DVD-VIDEO を再生することができます。
メディアオンライン (●▶ P.161)	Media Center で利用可能なプログラムをダウンロードしたり、Media Center の活用方法を確認したりすることができます。

4 各メニューの説明

ここでは、Media Center の各メニューについて説明します。

POINT

Media Center のヘルプを起動する方法

1. マウスを動かして、Media Center のメニューバーを表示します。
2.  (ヘルプボタン) をクリックします。

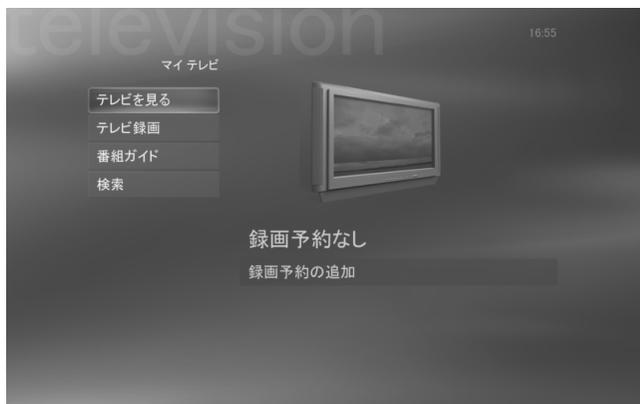
Media Center のメインメニューを表示する方法

リモコンまたはマウスを使って操作します。

- ・ リモコンで操作する場合
 (スタートボタン) を押します。
- ・ マウスで操作する場合
マウスを動かして Media Center のメニューバーを表示し、「スタート」ボタンをクリックします。

マイテレビ

マイテレビでは、テレビ番組を見たり、テレビ番組を録画したりすることができます。また、ダウンロードした番組ガイドを利用して、予約録画をすることもできます。なお、ここでは一部の操作手順について説明しています。詳しくは、Media Center のヘルプをご覧ください。



重要

テレビを見るとき注意

- テレビを見るときには、次の点にご注意ください。
- ・ ご使用中は画面のプロパティの設定を変更しないでください。
 - ・ MyDVD など、他のソフトウェアと同時に使用しないでください。

ビデオデッキやビデオカメラ、CATV チューナーなどの映像機器との接続については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6. 周辺機器の接続」→「外部映像機器を接続する」をご覧ください。

POINT**テレビの録画データについて**

Media Center で録画したテレビ番組を、DVD-VIDEO 形式で DVD に書き込み／書き換えをするときは、「その他のプログラム」にある「CD/DVD の作成」を使います。ただし、DVD-R DL や DVD+R DL に書き込みをするときは、「MyDVD」を使います。また、VideoCD 形式で CD に書き込み／書き換えをするときは、「MyDVD」を使います。

その他のソフトウェアでは、書き込み／書き換えをすることはできません。

「MyDVD」については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「8. 添付ソフトウェア一覧 (カテゴリ別)」→「CD・DVD」→「録画したテレビ番組を CD/DVD に保存する」→「MyDVD」をご覧ください。

このパソコンで使用できるディスクについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「CD/DVD」→「このパソコンで使える CD/DVD」をご覧ください。

テレビが表示される画面の画質調整ができます

画質調整の方法については、「画質調整」(▶ P.159) をご覧ください。画質調整は、テレビ番組を録画するときの画質にも影響します。

テレビを見る

ここでは、テレビ番組を見る方法について説明します。

- 1** リモコンの「マイテレビ」ボタンを押します。
- 2** 「テレビを見る」を選択し、「決定」ボタンを押します。
テレビ番組が表示されます。

POINT**チャンネルを変更するときは**

次の方法でチャンネルを変更することができます。

- ・リモコンの「チャンネル／ページ」ボタンの「+」または「-」ボタンを押します。
- ・「テンキー／文字入力」ボタンからチャンネル番号を押します。
- ・番組ガイド (▶ P.148) から目的のテレビ番組を選択し、「決定」ボタンを押します。

音量を調節するときは

- ・音量を調節するときは、リモコンの「音量」ボタンの「+」または「-」ボタンを押します。音を消すときは、「ミュート」ボタンを押します。
- ・このパソコンでは、テレビ番組の視聴時と DVD-VIDEO の再生時とで音量の設定範囲が異なります。最大音量は、テレビ番組の視聴時よりも DVD-VIDEO の再生時の方が小さく設定されています。テレビ番組の視聴と DVD-VIDEO の再生を切り替えるときは、必要に応じて音量を調節し直してください。

テレビ番組を録画する

ここでは、現在表示しているテレビ番組を録画する方法について説明します。

1 リモコンの「録画」ボタンを押します。

テレビ番組の録画が始まります。

POINT

放送中の番組を録画します

番組ガイドを取得している場合は、録画ボタンを押したときに放送されていた番組だけが録画されます。番組が終了すると録画が自動で終了します。

「手動録画」画面が表示されたら

番組ガイドを利用できないときは、「手動録画」画面が表示されます。

1. 必要に応じて終了時刻などの各項目を設定します。
2. 「録画」を選択し、「決定」ボタンを押します。
テレビ番組の録画が始まります。

テレビ番組の録画を停止するときは

テレビ番組の録画を停止するときは、次の手順に従って操作します。

1. 「停止」ボタンを押します。
「録画の終了」というメッセージが表示されます。
2. 「はい」を選択し、「決定」ボタンを押します。
テレビ番組の録画が終了します。

番組ガイドを見る

ここでは、ダウンロードした番組ガイドを見る方法について説明します。

1 リモコンの「番組ガイド」ボタンを押します。

ダウンロードした番組ガイドが表示されます。

番組ガイドで録画を予約する

ここでは、ダウンロードした番組ガイドを使って、テレビ番組の録画を予約する方法について説明します。

番組ガイドを使わずにテレビ番組の録画予約をする場合は、「チャンネルと日時を指定して録画を予約する（手動録画予約）」（▶P.149）をご覧ください。

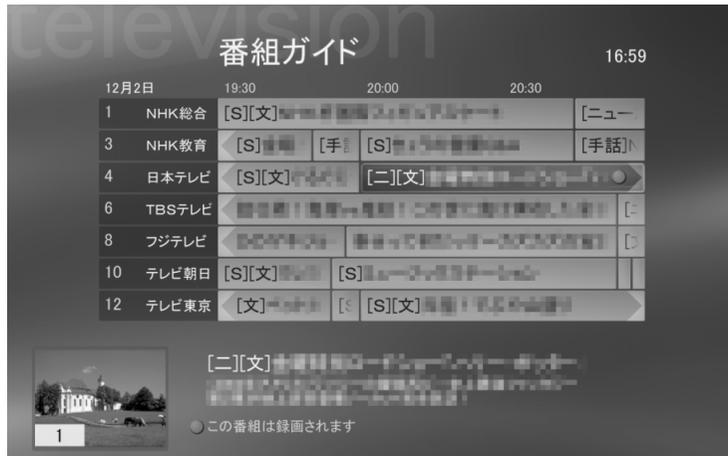
1 リモコンの「番組ガイド」ボタンを押します。

ダウンロードした番組ガイドが表示されます。

2 番組ガイドから録画する番組を選択し、リモコンの「録画」ボタンを押します。

録画予約が完了します。録画予約が完了すると、番組ガイドに表示されている録画予約をした番組に●が表示されます。

「録画」ボタンを2回押すと、シリーズ録画予約することができます。シリーズ録画予約すると、番組ガイドに表示されている録画予約した番組に●●が表示されます。3回押すと、録画予約をキャンセルすることができます。



(画面は状況により異なります)

5

番組ガイドで録画予約をキャンセルする

- 1 リモコンの「番組ガイド」ボタンを押します。
ダウンロードした番組が表示されます。
- 2 キャンセルしたい録画予約を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 3 「録画しない」を選択し、「決定」ボタンを押します。

チャンネルと日時を指定して録画を予約する（手動録画予約）

ここでは、チャンネルと日時を指定して、テレビ番組の録画を予約する方法について説明します。

- 1 リモコンの「マイテレビ」ボタンを押します。
- 2 「テレビ録画」→「録画予約の追加」の順に選択します。
- 3 「チャンネルと日時を指定（手動録画）」を選択します。
- 4 録画するチャンネル、頻度、日付、開始時刻、終了時刻、保存、品質を設定します。

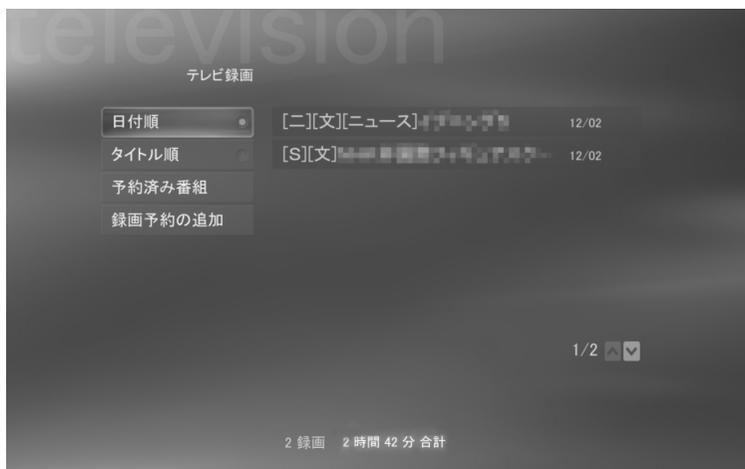
次のページへ

- 5 「タイトルの変更」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 6 「テンキー／文字入力」ボタンを使って、タイトルを入力します。
- 7 「保存」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 8 「録画」を選択し、「決定」ボタンを押します。
テレビ番組の録画が予約されます。

録画したテレビ番組を再生する

ここでは、録画したテレビ番組を見る方法について説明します。

- 1 リモコンの「テレビ録画」ボタンを押します。
- 2 目的のメニューを選択し、「決定」ボタンを押します。
- 3 再生する番組を選択し、「決定」ボタンを押します。

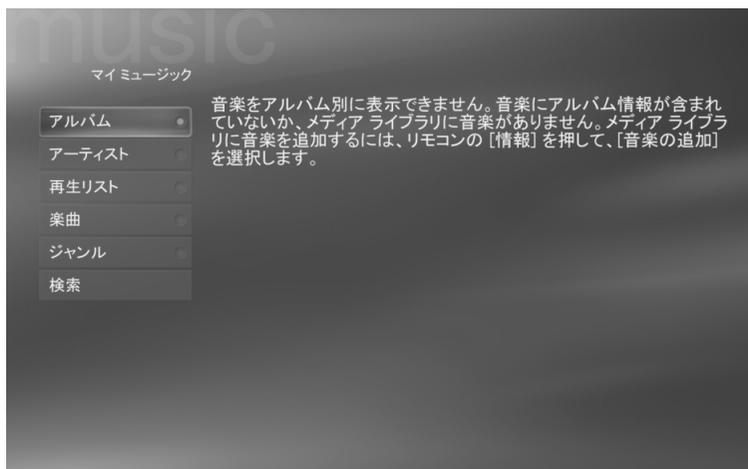


- 4 「再生」を選択し、「決定」ボタンを押します。

マイミュージック

マイミュージックでは、音楽 CD から録音した曲や「Windows Media Player」の再生リストから音楽を再生することができます。音楽 CD や音楽ファイルは、アルバム・アーティスト・再生リスト・楽曲・ジャンルなどのカテゴリから選択することができます。

なお、ここでは一部の操作手順について説明しています。詳しくは、Media Center のヘルプをご覧ください。



5

音楽 CD を再生する

ここでは、音楽 CD を再生する方法について説明します。

1 リモコンの「マイミュージック」ボタンを押します。

POINT

「音楽の追加」という画面が表示された場合は

「いいえ」を選択し、「決定」ボタンを押します。

このとき、「今後は確認しない」の を選択し、「決定」ボタンを押して、 にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

2 音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットします。

自動的に音楽 CD の再生が始まります。

音楽 CD を録音する

ここでは、音楽 CD を録音する方法について説明します。

1 リモコンの「マイミュージック」ボタンを押します。

POINT

「音楽の追加」という画面が表示された場合は

「いいえ」を選択し、「決定」ボタンを押します。

このとき、「今後は確認しない」の を選択し、「決定」ボタンを押して、 にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

2 音楽 CD を CD/DVD ドライブにセットします。

自動的に音楽 CD の再生が始まります。

3 「ライブラリに保存」を選択し、「決定」ボタンを押します。

POINT

「録音オプション」という画面が表示された場合は

画面の指示に従って操作してください。

4 「この CD をメディアライブラリに保存しますか？」と表示されたら、「はい」を選択し、「決定」ボタンを押します。

再生中のトラックから録音が始まり、すべてのトラックを録音します。

POINT

「録音オプション」という画面が表示された場合は

画面の指示に従って操作してください。

5 音楽 CD の録音が完了すると、確認メッセージが表示されます。

音楽ファイルを再生する

ここでは、音楽ファイルを再生する方法について説明します。

1 リモコンの「マイミュージック」ボタンを押します。

POINT

「音楽の追加」という画面が表示された場合は

「いいえ」を選択し、「決定」ボタンを押します。

このとき、「今後は表示しない」の を選択し、「決定」ボタンを押して、 にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

2 目的のメニューを選択し、「決定」ボタンを押します。

3 再生する音楽を選択し、「決定」ボタンを押します。

4 「再生」を選択し、「決定」ボタンを押します。

マイピクチャ

マイピクチャでは、画像ファイルを見たり、画像ファイルをスライドショー表示にしたりすることができます。画像ファイルは、名前や日付順に並び替えて表示することができます。なお、ここでは一部の操作手順について説明しています。詳しくは、Media Center のヘルプをご覧ください。



重要

画像ファイルを表示するには

Media Center で画像ファイルを表示するには、あらかじめ「マイピクチャ」フォルダ、「共有ピクチャ」フォルダに画像ファイルを保存してください。「マイピクチャ」フォルダ、「共有ピクチャ」フォルダ以外のフォルダに画像ファイルを保存しても表示できません。

画像ファイルを見る

ここでは、保存されている画像ファイルを表示する方法について説明します。

1 リモコンの「マイピクチャ」ボタンを押します。

POINT

「画像の追加」という画面が表示された場合は

「いいえ」を選択し、「決定」ボタンを押します。

このとき、「今後は確認しない」の を選択し、「決定」ボタンを押して、 にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

2 フォルダを選択し、「決定」ボタンを押します。

フォルダに保存されている画像ファイルが表示されます。

3 表示する画像ファイルを選択し、「決定」ボタンを押します。

選択した画像ファイルが表示されます。

画像ファイルをスライドショー表示する

ここでは、保存されている画像ファイルをスライドショー表示する方法について説明します。

1 リモコンの「マイピクチャ」ボタンを押します。

POINT

「画像の追加」という画面が表示された場合は

「いいえ」を選択し、「決定」ボタンを押します。

このとき、「今後は確認しない」の を選択し、「決定」ボタンを押して、 にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

2 メニューから「スライドショー」を選択し、「決定」ボタンを押します。

「マイピクチャ」フォルダに保存されている画像ファイルが、スライドショー表示されます。

POINT

スライドショーを停止するときは

表示しているスライドショーを停止するときは「停止」ボタンを押します。

画像ファイルの表示時間や順序を変更する

スライドショー表示される画像ファイルの表示時間や表示順序などを変更することができます。

マイビデオ

マイビデオでは、自分で作成した動画ファイルやインターネットでダウンロードした動画ファイルなどを再生することができます。動画ファイルは、名前や日付順に並び替えて表示することができます。

なお、ここでは一部の操作手順について説明しています。詳しくは、Media Center のヘルプをご覧ください。



重要

動画ファイルを再生するには

Media Center で動画ファイルを再生するには、あらかじめ「マイビデオ」フォルダ、「共有ビデオ」フォルダに動画ファイルを保存してください。「マイビデオ」フォルダ、「共有ビデオ」フォルダ以外のフォルダに動画ファイルを保存しても再生できません。

動画ファイルを再生する

ここでは、「マイビデオ」フォルダに保存されている動画ファイルを再生する方法について説明します。

1 リモコンの「マイビデオ」ボタンを押します。

POINT

「ビデオの追加」という画面が表示された場合は

「いいえ」を選択し、「決定」ボタンを押します。
このとき、「今後は確認しない」の を選択し、「決定」ボタンを押して、 にすると、次からこの画面は表示されなくなります。

2 目的のメニューを選択し、「決定」ボタンを押します。

3 再生する動画ファイルを選択し、「決定」ボタンを押します。

選択した動画ファイルの再生が始まります。

DVD の再生

Media Center で DVD-VIDEO を再生することができます。

DVD-VIDEO を再生する

ここでは、DVD-VIDEO を再生する方法について説明します。

1 DVD-VIDEO を CD/DVD ドライブにセットします。

自動的に DVD-VIDEO の再生が始まります。

POINT

CPRM 方式で著作権保護された映像の再生について

Media Center では、DVD に CPRM 方式で著作権保護されたデジタル放送が録画されている場合、そのディスクを再生できません。

DVD メニューが表示された場合

DVD メニューから目的の項目を選択し、DVD-VIDEO を再生します。

DVD-VIDEO の再生を停止するときは

再生している DVD-VIDEO を停止するときは、「停止」ボタンを押します。

音量を調節するときは

- ・音量を調節するときは、リモコンの「音量」ボタンの「+」または「-」ボタンを押します。音を消すときは、「ミュート」ボタンを押します。
- ・このパソコンでは、テレビ番組の視聴時と DVD-VIDEO の再生時とで音量の設定範囲が異なります。最大音量は、テレビ番組の視聴時よりも DVD-VIDEO の再生時の方が小さく設定されています。テレビ番組の視聴と DVD-VIDEO の再生を切り替えるときは、必要に応じて音量を調節し直してください。

画面を拡大／縮小する

このパソコンご購入時は、画面サイズが「2」に設定されています。
再生中の DVD-VIDEO の画面を拡大したり縮小したりする場合は、次の手順で行ってください。

- 1 DVD-VIDEO を再生中に、リモコンの「情報」ボタンを押します。
- 2 「拡大／縮小」を選択し、「決定」ボタンを押します。



- 3 「決定」ボタンを押して、画面サイズを変更します。

「決定」ボタンを押すたびに、画面サイズが「1」～「4」の間で変わります。しばらく操作をしないと、設定画面は自動的に消えます。

重要

画面サイズを「1」に設定した場合

画面サイズを「1」に設定すると、再生する DVD-VIDEO によっては、再生中の画面の下部に線が表示されることがあります。その場合は、「2」～「4」に設定してください。

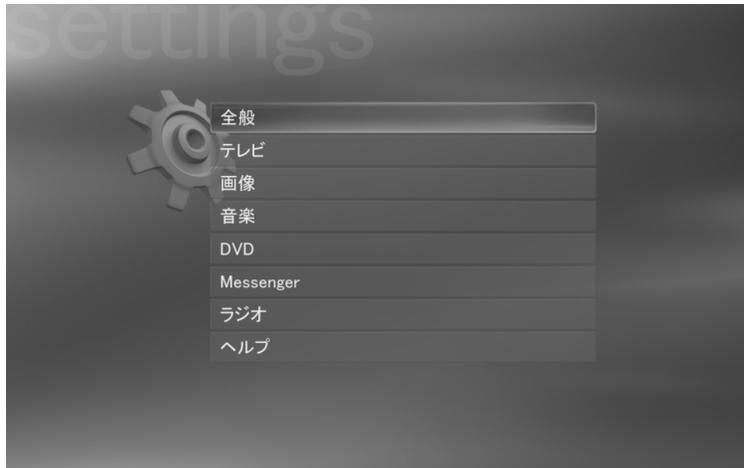
5.1 チャンネルサラウンドの設定をする

市販のドルビーデジタルデコーダー内蔵（光デジタルオーディオ端子付き）アンプおよび6個のスピーカー（フロント×2、リア×2、センター、サブウーファー）を使用すると、ご家庭にしながら映画館のような臨場感を体験できます。

設定方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「スピーカー／サウンド」→「5.1 チャンネルサラウンドの設定をする」をご覧ください。

設定

設定では、Media Center の各メニューの設定をすることができます。
設定方法については、Media Center のヘルプをご覧ください。



注：設定メニューに表示されている「ラジオ」は、ご利用になれません。

他のプログラム

他のプログラムでは、DVD を作成したり、画質を調整したりできます。



CD/DVD の作成

CD/DVD の作成方法については、Media Center のヘルプをご覧ください。

- 1 マウスを動かして、Media Center のメニューバーを表示します。
- 2  (ヘルプボタン) をクリックします。

- 3 「ヘルプ」を選択します。
- 4 「テレビと録画」→「テレビ録画を CD または DVD に保存する」の順に選択します。
- 5 表示される内容から操作したい項目を選択します。

POINT

ビデオ CD を作成する場合は

Media Center を終了し、「MyDVD」をお使いください。
「MyDVD」について詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「8. 添付ソフトウェア一覧 (カテゴリ別)」→「CD・DVD」→「録画したテレビ番組を CD/DVD に保存する」→「MyDVD」をご覧ください。

Media Center で使えるディスク

Media Center では、DVD-RAM をお使いになれません。また、DVD-R DL や DVD+R DL には、データ DVD のみ書き込むことができます。
このパソコンで使用できるディスクについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「CD/DVD」→「このパソコンで使える CD/DVD」をご覧ください。

画質調整

テレビが表示される画面の画質調整ができます。ここでは、テレビ画面で画質を確認しながら調整する方法を説明します。

POINT

テレビを録画するときの画質に影響します

画質調整は、Media Center でテレビを録画するときの画質にも影響します。
Media Center で録画したデータを他のパソコンや DVD プレーヤーで再生する場合は、ディスプレイやモニタの環境によって、ガンマや色合いが違うため、Media Center で調整した画質と同じように再生できない場合があります。事前に Media Center で試しに録画し、再生する環境での画質も確認することをお勧めします。

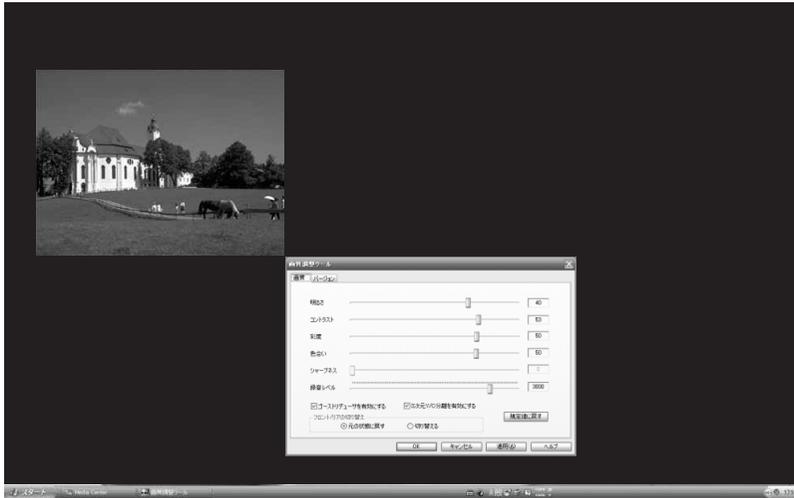
- 1 「他のプログラム」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 2 「画質調整」を選択し、「決定」ボタンを押します。
Media Center が最小化され、「画質設定ツール」ウィンドウが表示されます。
「画質調整」ウィンドウは、マウスを使って設定します。
- 3 タスクバーに表示されている最小化された **Media Center** をクリックします。
Media Center のウィンドウが表示されます。最大化された場合は、ウィンドウの右上にある  をクリックし、ウィンドウのサイズが調整できるようにします。

4 Media Center のウィンドウと「画質調整ツール」ウィンドウを、重ならないように並べて表示します。

並べて表示するには、Media Center のウィンドウの角をドラッグしてサイズを調整したり、タイトルバーをドラッグしてウィンドウを移動したりします。

5 リモコンの「テレビ」ボタンを押します。

Media Center のウィンドウにフルスクリーンモード（全画面表示）で、テレビ番組が表示されます。



6 「画質調整ツール」ウィンドウの「画質」タブで各項目を設定し、「適用」をクリックします。

次の説明を参考に、テレビ画面の画質を確認しながら、好みの画質になるまで調整してください。

「適用」をクリックすると、テレビ画面に設定した内容が反映されます。

■「画質」タブ

録画や再生される映像のコントラストを調整します。スライダーを動かすことで映像のメリハリを調整します。

録画や再生される映像の彩度を調整します。スライダーを動かすことで、鮮やかさの強弱を調整します。

録画や再生される映像の色合いを調整します。スライダーを動かすことで、青みや赤みの調整を行います。

録画や再生される映像のシャープネスを調整します。数値が高くなるほどシャープさが増します。

録画や再生される映像のサウンドのレベルを調整することができます。録画や再生されている映像の音声は極端に小さい場合は、スライダーを動かしてレベルを高く設定します。逆に音声が大きすぎて割れる場合は、スライダーを動かしてレベルを低く設定します。

チェックを入れると、映像に入り込んでいるゴーストを軽減する機能が有効になります。チェックを入れた状態でお使いになることをお勧めします。

録画や再生される映像の明るさを調整します。スライダーを動かすことで映像の明暗を調整します。



チェックを入れると、色と輝度の信号を分離し、上下の走査線と前後のフレームを参照して処理することにより、ちらつきやにじみ、色のノイズなどを軽減する機能が有効になります。

「画質」タブの設定を初期値に戻します。

POINT

画質調整中のテレビ画面の見え方について

テレビ画面の見え方は、次の状態によって変わります。そのときの見やすい画質に調整してください。

- ・ディスプレイの明るさやコントラストなどの設定
- ・ディスプレイを設置した場所の周囲の明るさや光源の種類

設定した内容がテレビ画面に反映されるまでには、「適用」をクリックしてから数秒かかります。反映されたことを確認してから、再調整してください。

7 調整が終了したら、「OK」をクリックします。

必要に応じて Media Center のウィンドウのサイズを調整します。

メディアオンライン

メディアオンラインでは、インターネットに接続して Media Center で利用可能なプログラムをダウンロードしたり、Media Center の活用方法を確認したりすることができます。

メディアオンラインに接続する

1 「メディアオンライン」を選択し、「決定」ボタンを押します。

この後の章では、メモリの増やし方 (●▶P.172)、仕様一覧 (●▶P.187) などが記載されています。目的に合わせてお読みください。

Memo

6

第 6 章

周辺機器の設置／設定／増設

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器をお使いになる前に	164
2 本体カバーを取り外す／取り付ける	168
3 メモリの増設／交換	172
4 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定	179
5 リモコンについて	185

1 周辺機器をお使いになる前に

ここでは、メモリ、キーボード、マウス、リモコンなどの周辺機器をお使いになる前に知っておいていただきたいことについて説明します。

警告



・周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。



・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器とは？

メモリ、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなどの装置のことです。パソコン本体内部に取り付けたり、パソコンの各コネクタに接続したりします。

ここでは、このパソコンに添付されているキーボード、マウス、リモコンも含めて説明しています。

周辺機器をパソコン本体内部に取り付ける場合は、パソコン本体カバーを取り外す必要があります。パソコン本体カバーの取り外し方と取り付け方については、「本体カバーを取り外す／取り付ける」(▶▶P.168)、または  (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「6. 周辺機器の接続」→「本体カバーを取り外す／取り付ける」をご覧ください。

周辺機器を取り付けると

メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたり、プリンタを接続して印刷したりなど、パソコンでできることがさらに広がります。

また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、Eメールに添付したりできます。

周辺機器を取り付けるには

周辺機器の取り付け方は、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」または「6. 周辺機器の接続」に記載されています。

また、本マニュアル内では、次の周辺機器についても記載しています。

「メモリの増設／交換」(▶▶P.172)

「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」(▶▶P.179)

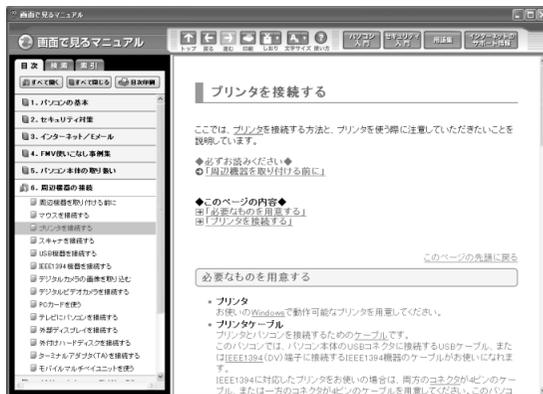
「リモコンについて」(▶▶P.185)

お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

「画面で見るマニュアル」で調べる

1 表示される画面の中から取り付けたい周辺機器をクリックします。

例えば、プリンタを接続する場合は、「6. 周辺機器の接続」→「プリンタを接続する」をクリックします。



POINT

手順の中に「動画を見る」というボタンがあるとき

ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。このとき、FMV ユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、[『サポート&サービスのご案内』](#)をご覧ください。

「画面で見るマニュアル」の使い方については、[『FMV 活用ガイド』](#)→「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」をご覧ください。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- 周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします**
 純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。
 純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。
- Windows のセットアップは終了していますか？**
 「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」(▶▶ P.57) をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。
 なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けしないでください。セットアップが正常に行われないうちにおそれがあります。
- 周辺機器に添付のドライバがお使いの Windows に対応しているか確認してください**
 お使いになる周辺機器のドライバがお使いの Windows に対応していないと、その周辺機器はお使いになれません。必ずお使いの Windows に対応したものをご用意ください。

- ・ **ドライバなどがフロッピーディスクで添付されている場合**
 周辺機器によっては、添付のドライバなどがフロッピーディスクで提供されているものがあります。その場合は、オプションの FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) をご購入になり、接続した上でドライバをインストールしてください。
- ・ **ACPI に対応した周辺機器をお使いください**
 このパソコンは、ACPI (省電力に関する電源制御規格の 1 つ) によって電源制御を行っていますので、周辺機器も ACPI に対応している必要があります。
 ACPI に対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器が ACPI に対応しているかどうかは、周辺機器メーカーにお問い合わせください。
 また、このパソコンの ACPI モードは、スタンバイ (ACPI S3) に設定されています。
- ・ **一度に取り付ける周辺機器は 1 つだけに**
 一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバのインストールなどが正常に行われずおそれがあります。1 つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。
- ・ **退席中モードにしているときやスタンバイ中、休止状態中に周辺機器の取り付けや取り外しをしないでください**
 退席中モードにしているときやスタンバイ中、休止状態中に、周辺機器の取り付けや取り外しを行うと、パソコンや周辺機器が正しく動作しないことがあります。
- ・ **パソコンおよび接続されている機器の電源を切ってください**
 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」(▶▶ P.74) をご覧ください。
- ・ **電源を切った直後は作業をしないでください**
 電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってから作業を始めてください。
- ・ **電源ユニットは分解しないでください**
 電源ユニットは、パソコン本体内部の背面側にある箱形の部品です。
- ・ **フット (縦置き用設置台) を取り外した後は、柔らかい布の上などで作業してください**
 固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。
- ・ **内部のケーブル類や装置の扱いに注意してください**
 傷付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。
- ・ **静電気に注意してください**
 内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度大きな金属質のものに手を触れるなどして静電気を放電してください。
- ・ **基板表面やはんだ付けの部分、コネクタ部分には手を触れないでください**
 金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。
- ・ **周辺機器の電源について**
 周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるものが一般的ですが、パソコン本体より後に電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- ・ **パソコン本体前面に周辺機器を取り付ける場合、フラップは開いた状態でお使いください**
 PC カードなどをセットしたり、IEEE1394 (DV) ケーブル、USB ケーブルを接続した状態で無理に閉めようとすると、PC カード取り出しボタンや周辺機器のケーブル、フラップが破損するおそれがあります。

- ・ **ドライバーをご用意してください**

パソコン本体の本体カバー、スロットカバーや金具などの取り外しには、プラスのドライバーが必要です。

ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズに合ったドライバーをご用意ください。

2 本体カバーを取り外す／取り付ける

ここでは、メモリなどパソコン内部に周辺機器を取り付ける場合に必要な本体カバーの取り外し方と取り付け方について説明します。

⚠ 警告



・本体カバーをあける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、しばらく経ってから本体カバーを開けてください。また、電話回線からモジュラーケーブルが接続されている場合、モジュラーケーブルも取り外してください。電話回線から着信があった場合、または落雷が起きた場合に感電の原因となります。



・取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手が届かないところに置いてください。誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

⚠ 注意



・本体カバーの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



・基板表面上の突起物には手を触れないでください。けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

👉 重要

周辺機器の取り付け手順を印刷しておいてください

拡張カードなど、操作の途中で電源を切る必要のある周辺機器については、「画面で見るマニュアル」の該当ページの先頭に「このページは印刷しておくくと便利です」と記載されています。操作を始める前に、「画面で見るマニュアル」の該当ページをプリンタで印刷してご覧ください。メモリについては、「メモリの増設／交換」(▶▶P.172)をご覧ください。

🔍 POINT

本体カバーを取り外す／取り付けるときの注意

・本体カバーを取り外すときまたは取り付けるときは、PC カード取り出しボタンが飛び出していないか確認してください。

・周辺機器を取り付けるときは、フット（縦置き用設置台）を取り外した後、柔らかい布の上などで作業してください。固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

本体カバーの取り外し手順／取り付け手順の動画を見ることができます

サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) で、本体カバーの取り外し手順／取り付け手順の動画がご覧になれます。

本体カバーを取り外す

- 1 パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります。
パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」(●▶P.74)をご覧ください。

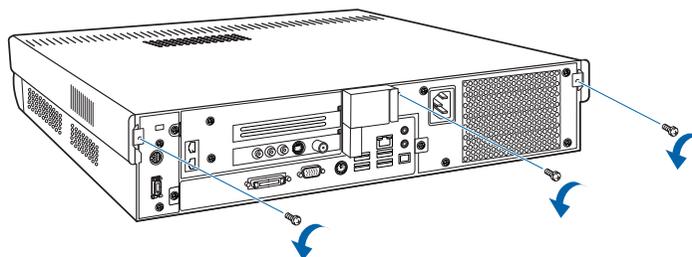
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。
電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってください。

重要

電源プラグはコンセントから抜いてください

パソコン本体の電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。必ず電源プラグをコンセントから抜いたことを確認してください。

- 3 パソコン本体に接続されている機器をすべて取り外します。
- 4 パソコン本体を縦置きで使っている場合は、フット（縦置き用設置台）をパソコン本体から取り外し、横置きにします。
- 5 パソコン本体背面のネジ（3ヶ所）をプラスのドライバーで回して外します。

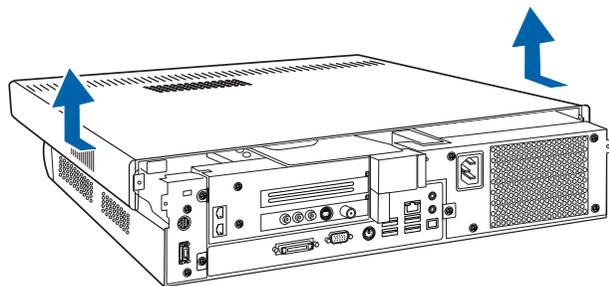


（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

6 本体カバーを矢印の方向に取り外します。

パソコン本体前面に向けてつきあたるまでスライドさせた後、まっすぐ上に持ち上げてください。

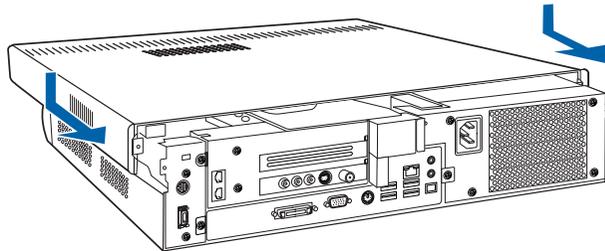
お使いの機種により、本体カバーの取り外しが硬く感じる場合があります。



周辺機器の取り付け方は、お使いになる周辺機器によって異なります。本体カバーを取り外した後の周辺機器の取り付け方については、印刷した周辺機器の取り付け手順をご覧ください。

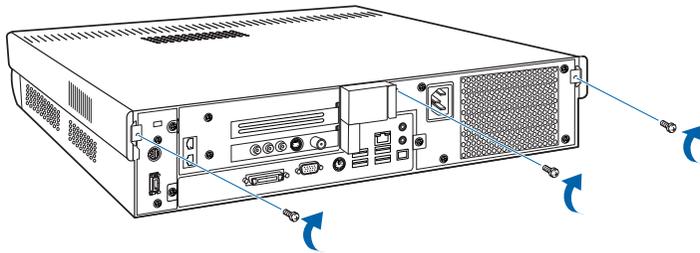
本体カバーを取り付ける

- 1** 本体カバーを矢印の方向に取り付けます。
本体カバーをまっすぐ下ろし、パソコン本体背面に向けてつきあたるまでスライドさせ、最後までしっかりと押し込んでください。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

- 2** パソコン本体背面のネジ（3ヶ所）をプラスのドライバーで回して取り付けます。



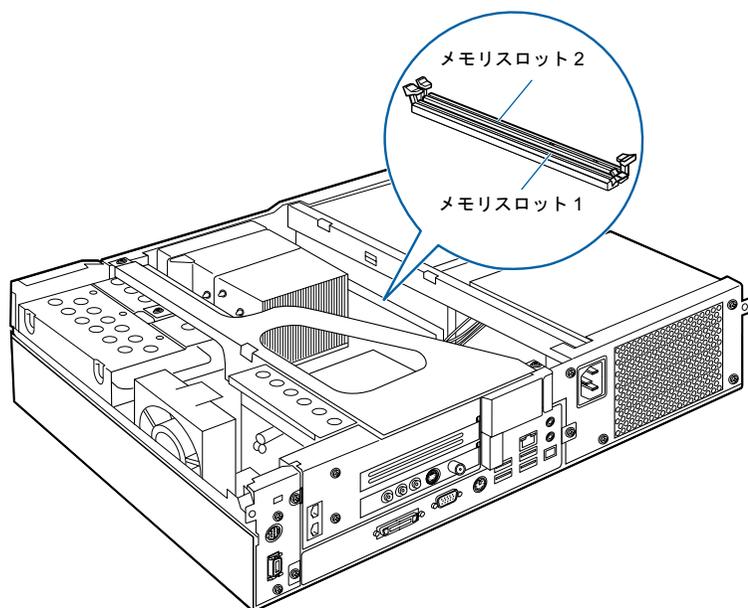
- 3** パソコン本体を縦置きで使っている場合は、フット（縦置き用設置台）を取り付けます。
- 4** パソコン本体に接続されていた機器をすべて取り付けます。
- 5** パソコン本体および接続されている機器の電源プラグを、コンセントに差し込みます。

3 メモリの増設／交換

パソコンに取り付けられるメモリを増やすことによって、パソコンの処理能力などを上げることができます。ここでは、メモリを増やす方法について説明します。

メモリの取り付け場所

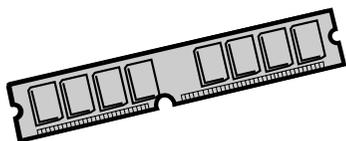
メモリは、パソコン本体内部のメモリスロットに取り付けます。
ご購入時は、メモリスロット1と2にそれぞれ256MBのメモリが1枚ずつ取り付けられています。メモリは最大2GB（1GB×2枚）まで増やせます。
メモリ容量を増やすには、あらかじめ取り付けられているメモリ（メモリスロット1、2）を取り外して交換します。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

取り付けられるメモリ

お使いになれるメモリは次の種類です。



- ・種類: DDR2(ディーディーアール2)SDRAM(エスディーラム)DIMM(ディム)(SPD 付き)
- ・メモリバスクロック: PC2-4200 (533MHz)
- ・ピン数: 240 ピン
- ・容量: 256MB、512MB、1GB
- ・ECC: なし

重要

取り付けるメモリについて

このパソコンに取り付けるメモリは、同じ容量のものを2枚1組でお使いください。

メモリバスクロックについて

このパソコンに取り付けるメモリは、PC2-4200 対応 (DDR2) または PC2-4300 対応 (DDR2) のものをお使いください。

POINT

SPD (エスピーディー)

Serial Presence Detect の略で、メモリの機能のひとつです。

必ず SPD 付きのメモリをご購入ください。なお、弊社製の DIMM は、SPD 付きです。

ECC (イーシーシー)

Error Correcting Code の略で、データの中の誤りを検出し、訂正する機能のことです。

このパソコンでは使いません。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。

次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。

総容量	メモリスロット1 (DIMM1)	メモリスロット2 (DIMM2)
512MB (ご購入時)	256MB	256MB
1GB	512MB [注]	512MB [注]
2GB (最大)	1GB [注]	1GB [注]

注: あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

メモリの取り扱い上の注意

⚠ 警告



- ・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意



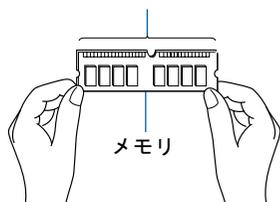
- ・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- ・基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

メモリを取り付けるときの注意

- ・メモリを取り付けるときは、メモリの差し込み方向をお確かめのうえ、確実に差し込んでください。誤ってメモリを逆方向に差したり、差し込みが不完全だったりすると、故障の原因となることがあります。
- ・メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- ・メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- ・メモリの表面の端子やIC部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- ・メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。
- ・メモリは下図のようにふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。
この部分には手を触れないでください。



- ・メモリを取り付けるときは、フット（縦置き用設置台）と本体カバーを取り外した後、柔らかい布の上などで作業してください。固い物の上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

メモ리를 증やす

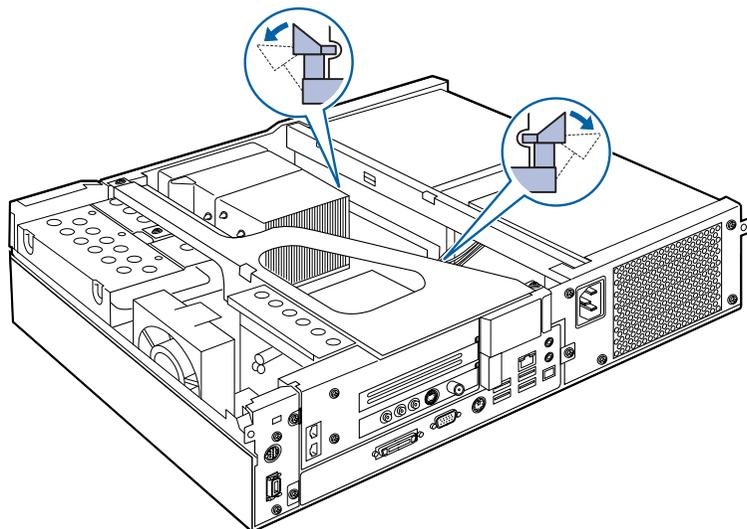
ここでは、メモ리를 증やす 방법을 설명します。

POINT

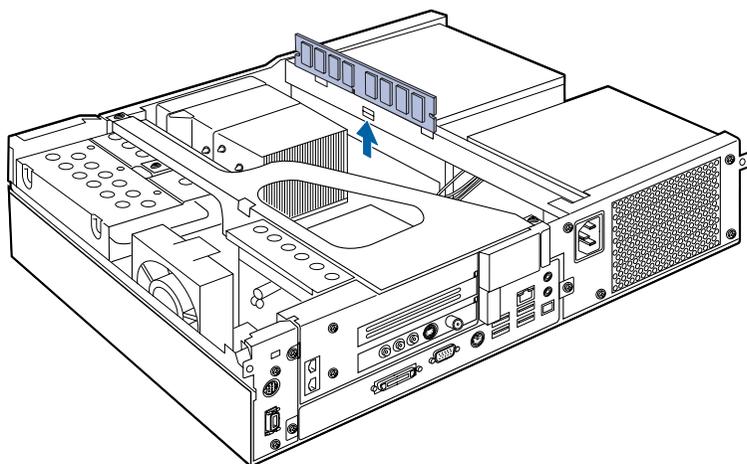
メモ리의取り付け手順の動画を見ることができます

サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) で、メモ리의取り付け手順の動画がご覧になれます。

- 1 「本体カバーを取り外す」(▶▶P.169) をご覧になり、本体カバーを取り外します。
- 2 메모리의取り付け場所と 메모리容量の組み合わせを確認します。
メモ리의取り付け場所については、「メモ리의取り付け場所」(▶▶P.172) をご覧ください。
メモ리의容量と組み合わせについては、「メモ리의組み合わせ表」(▶▶P.173) をご覧ください。
- 3 取り外したい 메모리의 메모리スロットの両側のレバーを外側に開きます。



- 4 메모리를上に引き抜きます。



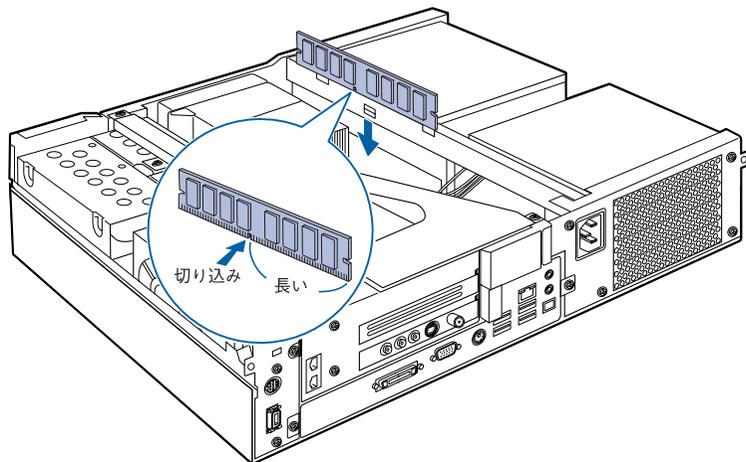
次のページへ

5 新しいメモリをメモリスロットに差し込みます。

端子に切り込みが入っている部分から端までの距離が長いほうをパソコン本体背面側に向けて、メモリスロットの上からまっすぐ下に差し込んでください。

メモリがメモリスロットに差し込まれると、スロット両側のレバーが自動的に閉じて、メモリがロックされます。

必ず、メモリがロックされたことを確認してください。



重要

メモリを取り付けるときは

- ・端子やICに触れないようにして、両手でメモリのふちを持って取り付けてください。
- ・メモリの表面の端子やIC部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないでください。
- ・メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。無理にメモリを取り付けようとすると、メモリやコネクタが破損する原因となります。

メモリの向きについて

メモリの方向をよく確認して正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障の原因となります。

6 「本体カバーを取り付ける」(●▶P.171) をご覧になり、本体カバーを取り付けます。

続いて、メモリが正しく取り付けられたかメモリ容量を確認しましょう (●▶P.177)。

メモリ容量を確認する

メモリを取り付けた後、増やしたメモリが使える状態になっているかを確認してください。必ず、本体カバーを取り付けてから確認作業を行ってください。

1 パソコン本体の電源を入れます。

「電源を入れる」(▶▶P.77)をご覧ください。

POINT

画面に何も表示されないときは

メモリが正しく取り付けられていないと、パソコンの電源を入れたとき画面に何も表示されない場合があります。

その場合は、パソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた後、メモリを取り付け直してください。

2 Windows が起動したら、「スタート」ボタンをクリックします。

3 「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 丸で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

画面は、512MBのメモリ2枚に交換して、1GBに増やした例です。

このパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、実際のメモリ容量より少なく表示されます。

SCSIカードの増設などお使いのシステム構成によっては、さらに1～2MB少なく表示される場合があります。

5 「OK」をクリックします。

メモリ容量の数値が増えていなかった場合は、次のことを確認してください。

- ・増やしたメモリがこのパソコンで使える種類のものか
「取り付けられるメモリ」(●▶P.173)
- ・メモリがメモリスロットにきちんと差し込まれているか
「メモリを増やす」(●▶P.175)
- ・正しいスロットに取り付けられているか
「メモリの取り付け場所」(●▶P.172)
- ・メモリを正しく組み合わせているか
「メモリの組み合わせ表」(●▶P.173)

4 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定

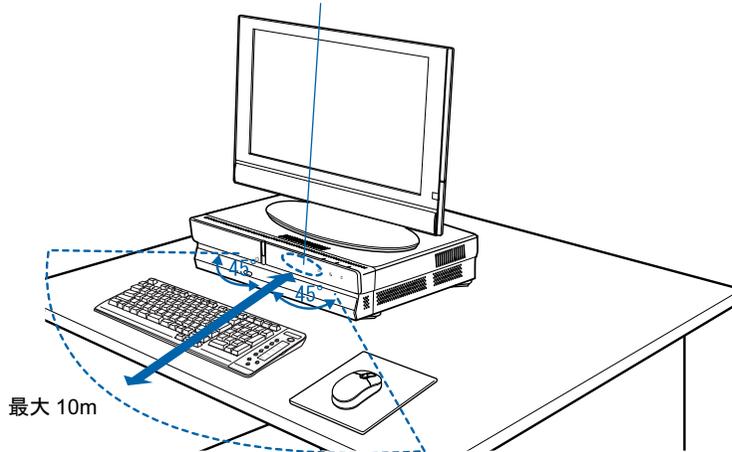
ここでは、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID を設定する方法などを説明します。

使用に適した配置

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号を受けるキーボード／マウスアンテナは、パソコン本体に内蔵されています。ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスは、次のような場所でお使いください。

- ・机の上など平らで安定した場所
- ・パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に十分なスペースが取れる場所
- ・パソコン本体から最大 10m（3m 以内を推奨）、左右約 45 度の範囲

キーボード／マウスアンテナ

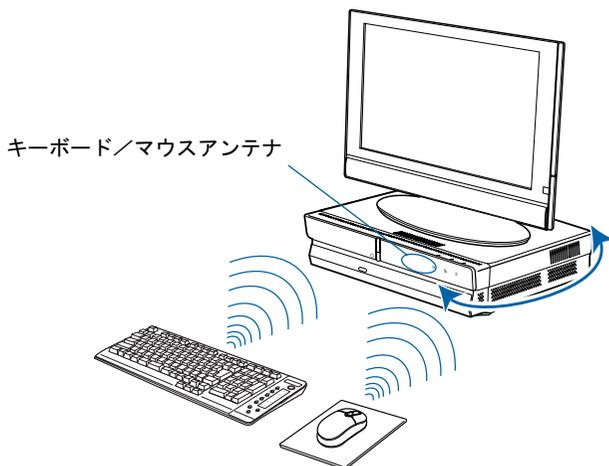


重要

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いになるときの注意事項

- ・ 次のような環境では、周囲からの電波を受けて、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。
 - ・ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの送信部とキーボード／マウスアンテナとの距離が離れすぎている場合
 - ・ パソコン本体とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの間に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合
 - ・ パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
 - ・ 周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
 - ・ パソコン本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
 - ・ 周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合（パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など）
 - ・ パソコン本体を電子レンジの近くに置いている場合
 - ・ ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合

このような場合には、パソコン本体の向きや位置を変えたり、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID を設定し直したりすることによって、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが正常に動作する状態でお使いください。

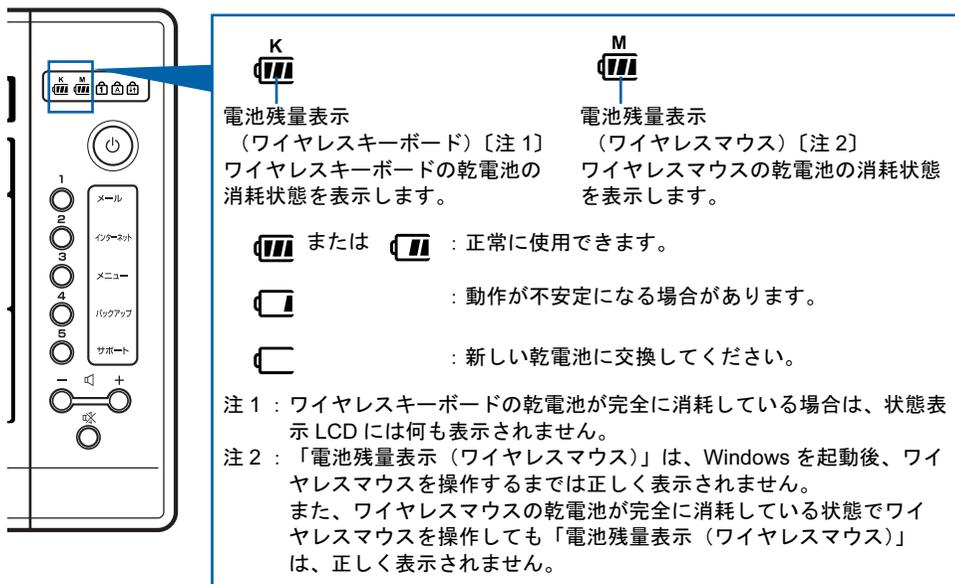


- ・ ワイヤレスマウスは電池の消耗を抑えるため、動かさない状態が約 10 秒続くと光学センサーを完全に消灯しスリープモードに入りますが、振動の検出によりスリープモードから復帰します。そのため、ワイヤレスマウスには振動を検出するためのモーションセンサーが内蔵されています。ワイヤレスマウスを振るとカラカラという音がしますが、これはモーションセンサーの振動検出機構の音であり、故障ではありません。そのままお使いください。

乾電池について

このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの乾電池について説明します。

- ・ **必ずアルカリ乾電池をお使いください。**
アルカリ乾電池以外の乾電池（マンガン乾電池、充電式乾電池など）はお使いにならないでください。十分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。
- ・ **ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。**
すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。
- ・ **乾電池の寿命の目安は、毎日2時間の使用で、ワイヤレスキーボードは約6ヶ月、ワイヤレスマウスは約3ヶ月です。**
ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。乾電池の交換時には、市販の単3型アルカリ乾電池2本をご使用ください。
- ・ **パソコンを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。**
パソコン本体の電源が入っていても、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが動作していると乾電池が消費されます。また、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの上に物を載せたままにしないようご注意ください。
- ・ **長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。**
ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスを使用せずに放置していても、乾電池が消費されます。長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ **ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの乾電池の消耗状態は、ワイヤレスキーボードの状態表示LCDに表示されるインジケータをご覧になり、消耗している場合はお早めに新しい乾電池に交換してください（表示は目安です）。なお、ワイヤレスキーボードの乾電池が完全に消耗している場合は、状態表示LCDには何も表示されません。**



乾電池を交換する

⚠ 注意



・電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。



・使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの乾電池を交換する方法については、「キーボード／マウスを準備する」(▶P.41)をご覧ください。

🔍 POINT

乾電池の使用推奨期限を確認してください

乾電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

ID 設定をする

このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの ID 設定方法について説明します。

ID は、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの電波の混信や誤動作を避けるため、対となっているパソコン本体との間でしかワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが動作しないように設定する識別子です。ご購入時は ID は設定されていませんので、ご使用前に必ず設定してください。設定を行わないと使用できません。

また、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、それぞれ固有の ID を使用しているため、別々に設定が必要です。

👉 重要

設定をする前に確認してください

- ・「使用上のお願い」(▶P.27) をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。
- ・パソコンの電源を入れた状態で設定してください。パソコンの電源が入っていないときや、省電力機能が働いているときは設定することはできません。

乾電池の交換などで乾電池を抜いても ID 設定は保持されます

乾電池の交換などで乾電池を抜いても、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID 設定値は保持されます。再設定する必要はありません。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが使えなくなったときなどは

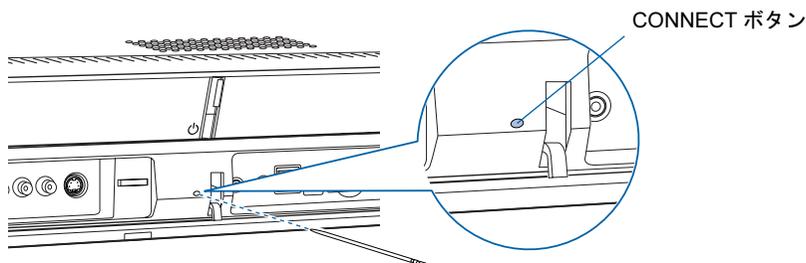
ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが使えなくなったときや、このパソコンを複数台お使いの場合で混信や誤動作するときは、再度 ID 設定を行ってください。

ワイヤレスキーボードの ID 設定をする

1 パソコン本体前面の CONNECT ボタンを 1 回押します。

フラップを開き、CONNECT ボタンに電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

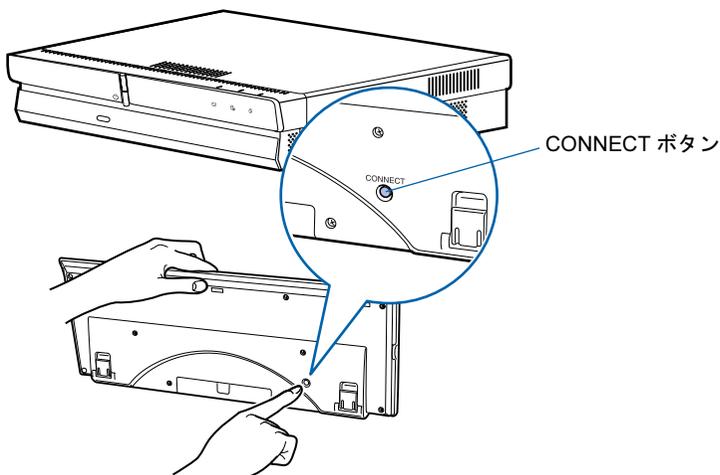
■ パソコン本体前面



2 パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから約 10 秒以内に、ワイヤレスキーボード裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押し、すぐに離してください。

CONNECT ボタンを押す際は、キーボードのキーやボタンを押さないように気をつけてください。

キーボード上面の状態表示 LCD が数回点滅した後、ID が自動的に設定されます。



3 ワイヤレスキーボードを操作します。

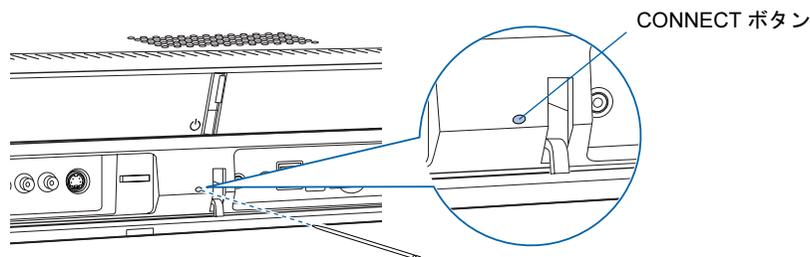
ワイヤレスキーボードの  などを押して正常に動作すれば設定完了です。キーボードが正常に動作しない場合は、一度乾電池を出し入れし、手順 1（●▶P.183）からもう一度設定を行ってください。

ワイヤレスマウスの ID 設定をする

1 パソコン本体前面の CONNECT ボタンを 1 回押します。

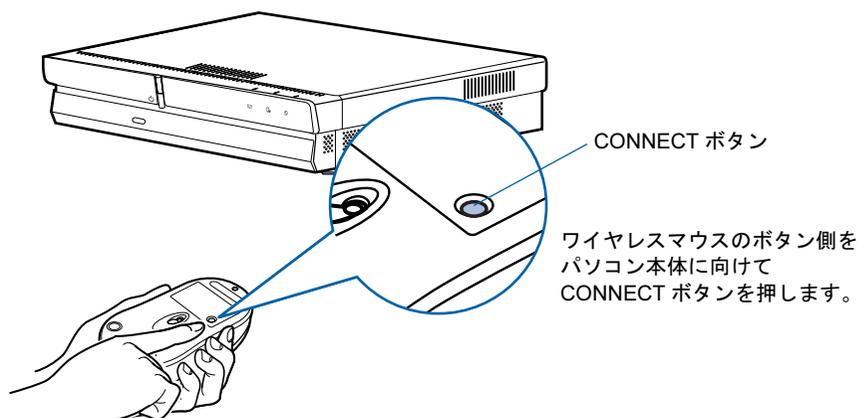
フラップを開き、CONNECT ボタンに電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

■ パソコン本体前面



2 パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから約 10 秒以内に、ワイヤレスマウス裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押し、すぐに離してください。

CONNECT ボタンを押す際は、マウスのボタンを押さないように気をつけてください。光学式センサーの赤い光が数回点滅した後、ID が自動的に設定されます。



3 ワイヤレスマウスを操作します。

マウスを動かし、正常にマウスポインタが動けば設定完了です。正常に動作しない場合は、一度乾電池を出し入れし、手順 1（▶P.184）からもう一度設定を行ってください。

5 リモコンについて

ここではリモコンをお使いになる際の注意事項、乾電池の交換方法について説明しています。

重要

添付のリモコンを使用してください

本製品に添付のリモコンを使用して操作してください。

乾電池を交換する

注意



・電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。



・使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。

リモコンの乾電池を交換する方法については、「リモコンに乾電池を入れる」(▶P.49)をご覧ください。

リモコンをお使いになる場合の注意

リモコンをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

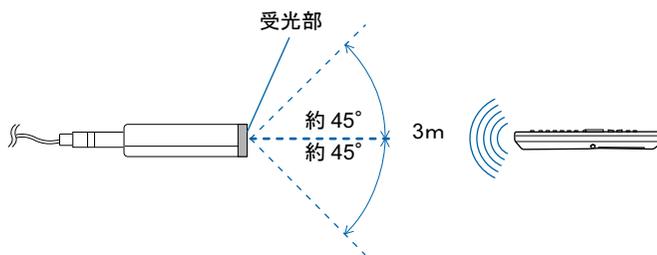
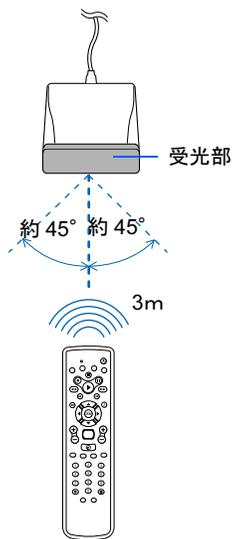
- ・パソコンに添付のリモコン受光器をお使いください。ディスプレイのリモコン受光部はお使いになれません。
- ・信号が受けやすいように、リモコンをリモコン受光器の受光部に向けてください。
- ・リモコン受光器の受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- ・直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- ・リモコンをプラズマディスプレイ／プラズマテレビ／ハロゲンヒーターなどの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。これはプラズマディスプレイ／プラズマテレビ／ハロゲンヒーターなどから放射される赤外線により、リモコンとリモコン受光器の受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。このようなときは、リモコン受光器またはプラズマディスプレイ／プラズマテレビ／ハロゲンヒーターなどの設置場所を変更してください。
- ・パソコン本体に接続したリモコン受光器が赤外線制御ケーブルの発光信号を受信すると、誤動作の原因となります。

赤外線制御ケーブルを取り付けるときは、セットトップボックスのリモコン受光部のすぐ近くに取り付け、発光信号がパソコン本体に接続したリモコン受光器に向かないようにしてください。

リモコン受光器の受光部使用可能範囲

水平 約 45° (左右共)

垂直 約 45° (上下共)



7

第7章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	188
2 その他の仕様	192

1 パソコン本体の仕様

製品名称		FMV-DESKPOWER H70RW/C
CPU		インテル® Pentium® D プロセッサ 820 2.8GHz
キャッシュメモリ		(1次: 12K μ Ops 実行トレース+ 16KB データ、2次: 1MB) \times 2 (CPU 内蔵)
チップセット		インテル® 945G+ICH7DH チップセット
システム・バス		800MHz
メインメモリ		標準 512MB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし注1 最大 2GB 注2
メモリスロット		\times 2 (空きスロットなし)
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	最大 128MB (メインメモリと共用) 注3
	ディスプレイ注4	20.1 型ワイドデジタル液晶 (スピーカー内蔵)
	解像度/発色数	最大 1680 \times 1050 ドット/最大 1677 万色注5
フロッピーディスク ドライブ注6		FDD ユニット (USB) (別売)
ハードディスク ドライブ注7		500GB (250GB \times 2 シリアル ATA/300) 注8
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ注9
オーディオ機能	オーディオコントロール ローラ	チップセット内蔵 + High Definition Audio コーデック
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 96kHz、24 ビットステレオ、44 チャンネル (再生時)、 サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、24 チャンネル (録音時)、 同時録音再生対応
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート
通信機能	モデム	データ: 最大 56kbps (V.90 規格準拠) 注10 / FAX: 最大 14.4kbps
	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠注11
テレビ機能	テレビチューナー	受信チャンネル注12: VHF (1~12ch)、UHF (13~62ch)、CATV (C13~C63ch) ステレオ、 音声多重対応
	録画形式注13	MPEG2 (ハードエンコード) 注14
	高画質化機能	3次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II \times 2 スロット または Type III \times 1 スロット (CardBus 対応)
	SD カード / メモリー スティック / xD-ピク チャーカード注15	\times 1 スロット
	ディスプレイ注16	アナログ RGB ミニ-D-SUB 15 ピン 付属ディスプレイ専用コネクタ 30 ピン注17 映像出力 (S ビデオ \times 1、NTSC) 映像出力 (D1/D2/D3/D4 映像 \times 1) 注18
	キーボード	PS/2 準拠 Mini-DIN 6 ピン \times 1 (キーボード用)
	USB注19	USB2.0 準拠 \times 6 (前面 \times 2、背面 \times 4)
	IEEE1394 (DV)	4 ピン \times 1 (S400)
	モデム	RJ-11 \times 2 (LINE \times 1、PHONE \times 1)
	LAN	RJ-45 \times 1
	テレビ	アンテナ入力 (F 型同軸) \times 1、ビデオ入力注20 (S ビデオ \times 2、コンポジット \times 2)、 ビデオ音声入力 (右/左) \times 2
	オーディオ	マイク: ϕ 3.5mm ミニジャック (入力: 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10k Ω 以上 (DC) 2k Ω 以上)、ヘッドホン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック (出: 1mW 以上、負荷インピーダンス 32 Ω)、光デジタルオーディオ出力: 角形、ラインイン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」 (**▶ P.190) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER H70RW/C
拡張スロット数		PCI × 2 (うち1つにTVチューナーカード搭載)
電源/周波数		AC100V 50/60Hz
消費電力	電源OFF時 ^{注21}	4W以下
	動作時	通常約120W ^{注22} 最大310W ^{注22} スタンバイ時約5W ^{注22} ディスプレイ消費電力: 最大56W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 ^{注23}		P区分 0.00023
省エネルギー基準達成率		AAA
外形寸法		横置き時 W446 × D410 × H102mm (フット(横置き用)・突起部含む) 縦置き時 W237 × D410 × H471mm (フット(縦置き用設置台)含む)
質量		約12kg (フット(縦置き用設置台)を除く)
盗難防止用ロック		あり
温湿度条件		温度 10 ~ 35 °C / 湿度 20 ~ 80%RH (動作時)、温度 -10 ~ 60 °C / 湿度 20 ~ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS		Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005
サポート OS		Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.190)をご覧ください。

仕様一覧の注記について

- 注 1 : メモリについては、533MHzの周波数で動作します。
- 注 2 : ・メインメモリの最大容量は拡張 RAM モジュール 1GB を 2 枚搭載した場合です。また、デュアルチャネルで動作させるには当社指定の純正オプションが必要です。
・このパソコンに取り付けるメモリは、PC2-4200 対応 (DDR2) または PC2-4300 対応 (DDR2) のものをお使いください。
- 注 3 : Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) を使用しているため、パソコンの動作状況により、メモリ容量が自動的に変化します。
- 注 4 : 液晶ディスプレイの特性について
・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります (有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示する全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています)。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 注 5 : グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表現されます。
- 注 6 : ・このパソコンにはフロッピーディスクドライブは内蔵されていません。オプション品の FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) をお買い求めの上、お使いください。
なお、FDD ユニットの接続と取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) を接続すると、デスクトップの  (マイコンピュータ) 内にドライブが表示され、フロッピーディスクドライブとして使うことができます。
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) では、次のフロッピーディスクは使用できません。
・OASYS 文書フロッピー
・640KB でフォーマットしたフロッピーディスク
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) では、次のフロッピーディスクは、データの読み書きはできませんが、フォーマットはできません。
・1.25MB でフォーマットしたフロッピーディスク
・1.23MB でフォーマットしたフロッピーディスク
・720KB でフォーマットしたフロッピーディスク
- 注 7 : このマニュアルに記載のディスク容量は、1MB=1000²byte、1GB=1000³byte 換算によるものです。Windows 上で 1MB=1024²byte、1GB=1024³byte 換算で表示される容量は、このマニュアルに記載のディスク容量より少なくなります。
また、ハードディスク領域サイズの変更は、サポートしていません。
- 注 8 : C ドライブは「マイリカバリ」用に、約 300MB の領域が占有されています。
そのため、「マイコンピュータ」のハードディスクの総容量は、マニュアルの記載よりも約 300MB 少なく表示されます。
なお、ハードディスクの区画の数や種別を変更したり、外付けドライブを接続した状態では、「マイリカバリ」が正常に動作しなくなります。ご了承ください。
- 注 9 : ドライブの主な仕様は次の通りです。
スーパーマルチドライブ

CD/DVD	読出速度 (最大)	書込速度 (最大)	書換速度 (最大)
CD-ROM	40 倍速	—	—
CD-R	40 倍速	40 倍速	—
CD-RW	24 倍速	10 倍速	10 倍速
DVD-ROM	16 倍速	—	—
DVD-R	10 倍速	16 倍速	—
DVD-R DL	8 倍速	4 倍速	—
DVD-RAM	5 倍速 (4.7/9.4GB) 1 倍速 (2.6/5.2GB)	5 倍速 (4.7/9.4GB)	—
DVD-RW	8 倍速	6 倍速	6 倍速
DVD+R	10 倍速	16 倍速	—
DVD+R DL	8 倍速 (8.5GB)	4 倍速 (8.5GB)	—
DVD+RW	8 倍速	8 倍速	8 倍速

- 注 10 : ・56000bps は、V.90 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。
詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「10. 関連するマニュアル」→「内蔵モデム」をご覧ください。
・本モデムは、電気通信事業法による技術基準適合認定を取得しています。
回線認定番号 : A04-0001005
- 注 11 : 本パソコンには 1000BASE-T の LAN が搭載されています。
本パソコンの LAN 機能は、100BASE-TX の次期規格として規定される 1000BASE-T に対応し、1Gbps (1000Mbps) の高速なデータ通信をサポートします。
また、従来の 100BASE-TX、10BASE-T もサポートしているため、通信速度の自動認識を行い、既存のローカル・エリア・ネットワーク (LAN) にそのまま接続することができます。
- 注 12 : 地上デジタル放送、BS/CS 放送のチャンネルは受信できません。
- 注 13 : Windows が起動しているときに録画することができます。
- 注 14 : ・テレビ番組の録画などは、お客様個人またはご家庭で楽しむ目的でのみ、ご利用ください。
・ビデオなどコピーガード信号を含んだ映像を、録画することはできません。
また、ビデオ入力 (S ビデオ) 端子やビデオ入力 (コンボジット) 端子に接続した一部のビデオ機器では、メニューや操作画面においてコピーガード信号を出しています。このような場合も、映像を録画することはできません。
・ビデオ出力 (S ビデオ) 端子に機器を接続していない場合は、コピーガード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することができます。ビデオ出力 (S ビデオ) 端子に機器を接続している場合は、コピーガード信号を含んだ映像をパソコン側で表示することはできません。

- 注 15 : ・「SD メモリーカード」、「メモリースティック」、「xD-ピクチャーカード」の同時使用はできません。
・「マジックゲート」機能が必要なデータの記録／再生はできません。
・マルチメディアカード (MMC) には対応していません。
・SD メモリーカード、miniSD カードは、著作権保護機能 (CPRM) に対応しています。
このパソコンでは「MOOCS PLAYER」や「SD-Jukebox」というソフトウェアで SD-Audio 形式でファイルの読み書きを行うときに、SD メモリーカード、または miniSD カードの著作権保護機能 (CPRM) が有効になります。
「MOOCS PLAYER」や「SD-Jukebox」については次のページをご覧ください。
・「MOOCS PLAYER」(<http://moocs.com/>)
・「SD-Jukebox」(<http://panasonic.jp/support/software/sdjb/index.html>)
- 注 16 : アナログ RGB ミニ D-SUB、付属ディスプレイ専用コネクタの同時使用はできません。
- 注 17 : 付属のディスプレイ以外は接続しないでください。
- 注 18 : D3 または D4 出力では、著作権保護付きの DVD や、著作権保護のための信号が含まれた映像は、著作権への配慮により再生することができません。
- 注 19 : すべての USB 対応周辺機器について動作するものではありません。
- 注 20 : 著作権保護用の信号が記録されている映像は、視聴や録画ができません。
- 注 21 : 電源 OFF 時の消費電力を回避するには、パソコンとディスプレイの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 注 22 : パソコン本体から添付の液晶ディスプレイに供給する電力を含んだ値です。
- 注 23 : エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

2 その他の仕様

LCD 内蔵スピーカー

方式	バスレフ方式
スピーカーユニット口径	φ 30mm
定格入力	3W/ch
再生周波数	170Hz ~ 15kHz

LAN 機能

LAN コントローラ	Intel 82573V
送受信バッファ用 RAM	送受信 各 40kbyte
外部インターフェース	ISO8802-3 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
伝送媒体	ツイストペアケーブル ^{注1} (1Gbps : カテゴリ 5E 以上、100Mbps : カテゴリ 5、10Mbps : カテゴリ 3 ~ 5)
伝送方式	ベースバンド
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度	1Gbps、100Mbps、10Mbps
配線形態	スター型
セグメント最大長	100m
最大ノード数/セグメント	ハブユニット ^{注2} による

注1 : ネットワークを 100Mbps で確実に動作させるには、非シールド・ツイスト・ペア (UTP) カテゴリ 5 またはそれ以上のデータ・グレードのケーブルをお使いください。カテゴリ 3 のケーブルを使うと、データ紛失が発生します。

注2 : ハブユニットとは、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T のコンセントレータです。

POINT

ネットワークのスピードについて

LAN はネットワークのスピードに自動で対応します。ハブユニットの変更などでネットワークのスピードが変更される場合、スピードに対応した適切なデータグレードのケーブルを必ずお使いください。

高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード

割り込み (IRQ)	PCI システムによる自動設定
メモリマッピング	PCI システムによる自動設定
NTSC 入力仕様	NTSC コンポジット : 1V p-p 75Ω S ビデオ : 1V p-p 75Ω
コネクタ	コネクタビデオ音声入力端子 (右) : CA ピンジャック×2 ビデオ音声入力端子 (左) : RCA ピンジャック×2 ビデオ入力 (コンポジット) 端子 : RCA ピンジャック×2 ビデオ入力 (S ビデオ) 端子 : ミニ DIN4 ピンジャック×2 アンテナ入力 (F 型同軸) 端子 : F 型コネクタ×1
TV 音声仕様	ステレオ、音声多重対応
RF 入力端子	75ΩF 型コネクタ

リモコン

通信方式	赤外線方式	
使用可能距離	正面で約 3m	
乾電池の寿命の目安	約 6ヶ月 (マンガン乾電池使用時)	
使用可能範囲	水平	約 45° (左右共)
	垂直	約 45° (上下共)
使用電池	単 3 形乾電池 2 本	
受光器インターフェース	USB Ver1.1 準拠	

ワイヤレスキーボード (ワンタッチボタン付、105 キー、無線方式、抗菌^注)

キー配列	105 キー (テンキー付) + ワンタッチボタン (8 ケ) + パソコン電源ボタン
インタフェース	RF (無線) 方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m (3m 以内を推奨)、左右約 45 度 (ただし、設置環境により短くなる場合があります)
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
乾電池の寿命の目安	毎日 2 時間の使用で約 6ヶ月 (ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります)
外形寸法 (W × D × H)	約 437mm × 約 170mm × 約 35mm (チルト未使用時)
質量	約 1200g (乾電池含まず)

注 : 抗菌処理部分 : キーボードのキートップ部分 (キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く)

ワイヤレスマウス（光学式）

セレクトスイッチ動作形式	2 押ボタン、1 ホイール
インタフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m(3m 以内を推奨)、左右約 45 度 (ただし、設置環境により短くなる場合があります)
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
乾電池の寿命の目安	毎日 2 時間の使用で約 3ヶ月 (ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります)
外形寸法 (W × D × H)	約 60mm × 約 114mm × 約 35mm
質量	約 90g (電池含まず)

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→

「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

索引

A

Application ボタン 23

C

CD/DVD 取り出しボタン 20

CONNECT ボタン 20

D

DDR2 173

DIMM 173

E

ECC 173

F

FAX モデムカード 22

I

ID 設定 182

IEEE1394 (DV) 端子 20

L

LAN コネクタ 21

LINE 端子 21

M

Media Center 106

Mute (消音) ボタン 23

N

Norton AntiVirus 90

P

PC カードスロット 20

PC カード取り出しボタン 20

PHONE 端子 21

S

SDRAM 173

SPD 173

U

USB コネクタ 20, 21

W

Windows

ー使用許諾契約書 64

ーセットアップ 57

Windows Update 82

あ行

アップデートナビ 100

アナログ RGB コネクタ 21

アンテナ入力 (F 型同軸) 端子 21

インターネット 80

インターネットボタン 23

インレット 21

ウイルス 80

ウイルス対策 90

液晶ディスプレイのお手入れ 30

音量調節ボタン 23

か行

拡張スロット 22

各部名称 19

ーパソコン本体前面 20

ーパソコン本体内部 22

ーパソコン本体背面 21

ーワンタッチボタン 23

キーボード

ーID 設定 182

ー乾電池 181

ー準備 41

キーボードコネクタ 21

キーボード/マウスアンテナ 20

機種名 26

クリック 62

光学式マウス 63

さ行

サービスアシスタント 72

サポートボタン 23

仕様

ーLAN 機能 192

ーLCD 内蔵スピーカー 192

ー高画質ハードエンコーダ付 TV チューナーカード 193

ーパソコン本体 188

ーリモコン 193

ーワイヤレスキーボード 193

ーワイヤレスマウス 194

スーパーマルチドライブ 20, 22

セキュリティ対策 80

接続する 37

セットアップ 57

た行

退席中モード 106

ダイレクトメモリスロット (SD カード、メモリスティック、xD-ピクチャーカード)	20	保証書	34
通風孔	21	ボリュームボタン (+)	23
ディスプレイの接続	43	ボリュームボタン (-)	23
電源		ま行	
- 入れる	77	マイク端子	20
- 切る	74	マイリカバリ	103
- 切れない場合	76	マウス	
電源ケーブルの接続	50	- ID 設定	182
電源ボタン	20	- 乾電池	181
電源ユニット	22	- 準備	41
電源ランプ	20	- 持ち方	62
盗難防止用ロック取り付け穴	21	メール着信ランプ	20
な行		メールボタン	23
内蔵ハードディスク	22	メニューボタン	23
は行		メモリ	172
ハードディスク / CD アクセスランプ	20	- 組み合わせ	173
初めて電源を入れる	56	- 取り付け	175
パソコン本体内部のお手入れ	30	- 持ちかた	174
バックアップボタン	23	メモリスロット	22
光デジタルオーディオ出力端子	21	メモリバスクロック	173
ビデオ音声入力端子 (左)	20, 21	や行	
ビデオ音声入力端子 (右)	20, 21	ユーザー登録をする	104
ビデオ出力 (D1/D2/D3/D4 映像) 端子	21	ら行	
ビデオ出力 (S ビデオ) 端子	21	ラインアウト端子	21
ビデオ入力 (S ビデオ) 端子	20, 21	ラインイン端子	21
ビデオ入力 (コンポジット) 端子	20, 21	わ行	
品名	26	ワンタッチボタン	23
付属ディスプレイ専用コネクタ	21		
フラップ	20		
ヘッドホン端子	20		

Memo

Memo

FMV-DESKPOWER H70RW/C

パソコンの準備

B6FH-8341-02-00

発行日 2006年5月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。